

## 設置の趣旨等を記載した書類

### 資料目次

資料①	金城大学と白山市及びその他自治体との連携事業	3
資料②	金城大学と白山市や白山商工会議所等との地域連携包括協定書	6
資料③	第2次白山市総合計画 2017～2026（抜粋）	10
資料④	第2期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（抜粋）	21
資料⑤	白山市 SDGs 未来都市計画（2021～2023）（抜粋）	28
資料⑥	石川県環境総合計画（抜粋）	32
資料⑦	金城大学「総合政策学部総合経済学科」の新設に関する要望書	34
資料⑧	総合経済学部総合経済学科の養成する人材像と3ポリシーとの対応表	35
資料⑨	総合経済学部総合経済学科カリキュラムマップ	36
資料⑩	総合経済学部総合経済学科の教育課程と ディプロマ・ポリシーとの対応表	37
資料⑪	総合経済学部総合経済学科の教育課程と カリキュラム・ポリシーとの対応表	46
資料⑫	金城大学総合経済学部連携企業一覧	55
資料⑬	総合経済学部就職支援スケジュール	59
資料⑭	総合経済学部総合経済学科カリキュラム表	60
資料⑮	経済学を基盤とした総合的な学びイメージ	61
資料⑯	総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ツリー	62
資料⑰	総合経済学部総合経済学科の履修モデル	68
資料⑱	国際交流センターの留学生支援スケジュール	72
資料⑲	3年次編入学生の既修得単位読替表	73
資料⑳	3年次編入学生の履修モデル	74
資料㉑	総合経済学部企業実習受入れ先一覧	75
資料㉒	連携協定書様式	78
資料㉓	実習受入承諾書様式	80
資料㉔	実習先との連携体制	81
資料㉕	実習配置、巡回指導担当教員割振	82
資料㉖	企業実習評価票	85
資料㉗	アドミッション・ポリシーと入学者選抜方法との対応表	91
資料㉘	金城大学入学者選抜規程	93

資料⑳	金城大学入学者選抜実施組織	96
資料㉑	金城大学科目等履修生規程	97
資料㉒	金城大学定年規程	100
資料㉓	定年を超える教育職員の採用に関する特例を適用する教員一覧	101
資料㉔	金城大学定年退職者の再雇用に関する規程	102
資料㉕	定年を超える教育職員の採用 (総合経済学部総合経済学科)に関する特例	104
資料㉖	令和9年度金城大学時間割	105
資料㉗	図書等整備計画	118
資料㉘	学校法人金城学園管理運営規程、金城大学管理運営規程	149
資料㉙	総合経済学部開設後の管理運営組織図	159
資料㉚	金城大学学部内連絡会議規程	160
資料㉛	金城大学教授会規程、金城大学拡大教授会規程、金城大学代議員会規程、 金城大学教授会の構成及び運営に関する細則	161
資料㉜	FD・SD研修会実施一覧	169
資料㉝	総合経済学部総合経済学科就職支援体制	170

## 金城大学と白山市及びその他自治体との連携事業

### 1 金城大学の地域連携事業：7つのプロジェクト

#### I. ゆうがく広場 \* 白山市

世代間交流事業として、地域の高齢者を本学に招き、アクティビティ・プログラムや介護予防のためのプログラムを実施している。

#### II. 悠遊健康サークル \* 白山市

地域の知の拠点としての機能強化、地域に根付いた活動や地域住民との交流の拡大を図ることで、地域住民一人ひとりの主体的な心身の健康づくりを支援している。

#### III. 足のけんこう教育プロジェクト \* 白山市

白山市内を中心とした幼稚園、保育所（園）、小学校、中学校、高等学校と緊密な連携のもと、幼児、児童、生徒の足と靴の調査および経時的変化を追跡、分析し、足の健全化を図る地域連携事業を実施している。

#### IV. B-assist プロジェクト \* 白山市、野々市市

石川県内の高校・中学校を対象に「部活動支援プロジェクト」を実施している。B-Assist プロジェクトは、医療健康学部がもつ知識・技術を生かし、学校部活動場面での競技能力の向上、ケガの発生・再発の予防などを支援している。

#### V. 脳わかわかくらぶ \* 野々市市

各地域コミュニティへ出向き、地域高齢者の認知症予防の一助になることを目的に、高齢者の認知機能チェックと予防体操を実施している。

#### VI. やまの保健室 \* 白山市

白山麓地域の高齢者が、住み慣れた地域で健康生活を目指すために、地域連携事業として「やまの保健室」を開設し、健康生活の維持活動などの様々な事業を実施している。

#### VII. 地域健康長寿プロジェクト \* 白山市、野々市市

健康長寿達成者を対象に調査を実施し、地域住民の介護予防と健康増進活動に繋げる取組として、①生活歴、②口腔・嚥下機能の評価、③フレイル（虚弱）状態の評価、④生活機能の評価等、徐々に健康長寿の達成に向けた関連要因の把握を行っている。



## 2 イオンモール白山との連携「KINJO健康キャンパス」

悠遊健康サークルを中心とした、上記7つの研究プロジェクトが共同し、イオンモール白山の施設を活用し、地域住民向けのイベントの企画、運営を行っている。このイベントを通して、高齢者の健康増進や地域貢献につなげていく。

## 3 白山市大学パートナーシップ事業による支援

はくさんタニタ健康クラブの会員を対象に、体力テスト（サルコペニア・ロコモ・フレイルの診断にもなる）を開催している。

## 4 SDGs 活動 \* 白山市

- (1) 白山市、千代野公民館、クリーンビーチいしかわ（エフエム石川）と協働し、徳光海岸清掃や稚魚の放流、レクリエーションとしてビーチサンダル飛ばし大会を開催している。SDGs の認知度向上や啓発活動を実施し、白山市 SDGs 推進大使のタレント「ぶんぶんボウル」も協力している。
- (2) 白山市企画課 SDGs・地方創生推進室協力のもと、金城大学公衆衛生看護学専攻科において「公衆衛生看護でSDGsを考える」をテーマとした講義を行っている。
- (3) 金城大学看護学部と白山市千代野公民館が共同し、SDGs の認知度向上を図ることや地域連携活動の一環として「SDGs カードゲーム」を開催している。

## 5 「いいとこ白山鉄道まつり2022」 \* 白山市

白山総合車両所や令和6年春開業予定のビジターセンターをはじめとした鉄道に関わる施設等を有する白山市を「鉄道のまち」として全国へ魅力を発信するため、白山市と白山商工会議所青年部が「いいとこ白山鉄道まつり2022」を企画し、金城大学の施設を会

場として本学も運営に関わり開催した。

## 6 KINJO およこひろば「たんぱりん」

本事業は、金城大学と金城大学短期大学部の連携事業として令和4年度4月に開設された金城子育て支援センターが運営する子育てひろばである。保育者養成課程の学科と附属幼稚園を持つ本学の特色を生かし、お子さん・ご家族と学生・スタッフ・附属幼稚園児・地域の方々が様々な形で関わりながら、子育て・子育ての楽しさや喜びを共有しともに育つ場を創造していく。

## 7 白山市社会福祉協議会と金城大学との共同ボランティアセンター \*白山市

「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結し、本学の松キャンパスを福祉避難所としている。また、白山市社会福祉協議会と「白山市災害ボランティアセンターの設置に関する協定書」を締結し、大規模災害時には笠間キャンパス内にボランティアセンターを設置する。

## 8 地産地消の促進 \*白山市

白山市地産地消課と金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科が共同し、地元白山の地産地消を促していくため、「なぞなぞかるた」「地産地消を促す紙芝居」を制作、幼稚園や保育園などで実演などを行っている。

## 9 あたまとからだの健康増進事業

事業プログラム認証委員会において、運動プログラムの開発や検証、身体機能と認知機能の評価尺度を設定し、本事業における介入効果について、科学的根拠に基づいた評価を行う。

## 10 金城大学公開講座 \*白山市、野々市市

白山市、野々市市などの後援のもと、市民を対象とした公開講座を毎年実施している。

## 11 金城大学保健・医療・福祉創造フォーラム \*白山市、野々市市

白山市や野々市市及び地域の各種団体との共催により、平成19年より毎年開催し、地域の福祉・健康・医療・教育などに関するテーマを掲げ、行政、市民とともに、その問題点や課題を探っている。

## 12 その他

本学教員が、各々の専門分野の知見を活かし、白山市や地元経済界の各種審議会委員や、各種研修会や講演会の講師などを務め、地域に根差した高等教育機関として、産官との連携を通じて、地域貢献活動を行っている。

白山市と学校法人金城学園並びに金城大学及び金城大学短期大学部との連携に関する協定書

白山市と学校法人金城学園並びに金城大学及び金城大学短期大学部（以下「金城学園」という。）とは、相互の発展に資するため連携を図りながら協力することに合意し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、白山市と金城学園が包括的な連携の下、それぞれの人的、知的資源の交流と物的資源の活用を図りながら、幅広い分野で連携を図りながら協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。

（連携及び協力する事項）

第2条 白山市と金城学園は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携を図りながら協力する。

- (1) 福祉及び医療の向上に関する事項
- (2) 保育及び幼児教育の向上に関する事項
- (3) 文化、芸術及び経済の発展及び振興に関する事項
- (4) 大学の教育及び学術研究並びに社会活動の推進に関する事項
- (5) 地域コミュニティの発展に関する事項
- (6) ボランティアに関する事項
- (7) まちづくり及び人材育成に関する事項
- (8) その他この協定の目的を達成するために必要な事項

（定期的な協議）

第3条 白山市と金城学園は、本協定による連携の円滑な推進を図るため、定期的に協議を実施し、連携事業の企画立案、進行管理等を行うものとする。そのために、それぞれ連絡調整に関する担当部署を定める。

（守秘義務）

第4条 白山市と金城学園は、この協定に基づく活動において知り得た情報については、それぞれ秘密を保持する。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りでない。

（有効期間）

第5条 本協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、有効期間満了の2か月前までに、白山市と金城学園のいずれからも改廃の申し入れがないときは、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

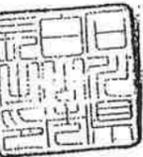
（その他）

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の運用に関し疑義が生じた場合は、両者協議の上決定するものとする。

本協定締結の証として本協定書を4通作成し、それぞれ署名押印の上、各々1通を保有する。

平成23年3月28日

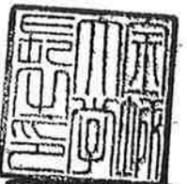
白山市長

作野 広昭 

学校法人金城学園 理事長

加藤 晃 

金城大学 学長

本田 昂 

金城大学短期大学部 学長

中山 治男 

## 産学連携包括協定書

学校法人金城学園、金城大学、金城大学短期大学部（以下「甲」という）と白山市経済団体連絡協議会（以下「乙」という）は、産学連携に関する包括協定を以下の通り締結する。

### （目的）

第1条 甲と乙は、相互にそれぞれの人的・物的資源の交流・活用を図ることにより、地域経済の発展、学術文化の振興、人材の育成等に努めることとする。

### （連携する事項）

第2条 甲と乙は前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携を図る。

- (1) 地域経済の発展に関する事項
- (2) 地域貢献、地域振興に関する事項
- (3) 学術文化の振興に関する事項
- (4) 地域文化・伝統の継承に関する事項
- (5) 人材の育成に関する事項
- (6) その他この協定の目的を達成するために必要な事項

### （連絡及び協議）

第3条 甲及び乙は、本連携事業の推進のため定期的に連絡協議の場を設ける。

### （守秘義務）

第4条 甲及び乙は、本協定に基づく連携事業において知り得た情報について守秘義務を負う。

### （経費）

第5条 連携事業にかかる経費負担は、甲乙協議の上定める。

(個別協定)

第6条 連携事業の実施にあたり、必要な場合は個別協定を締結する。

(有効期間)

第7条 本協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、有効期間満了の3か月前までに甲乙いずれからも改定若しくは終了の申し出がないときは、さらに1年間更新するものとし、以後も同様とする。

(その他)

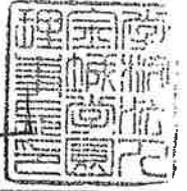
第8条 本協定に定めのない事項又は本協定の運用に関し疑義が生じた場合は、甲乙協議のうえ決定する。

本協定成立の証として本書8通を作成し、それぞれ押印のうえ、各自1通を保有する。

平成23年9月14日

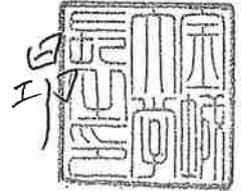
学校法人 金城学園 理事長

加藤 晃



金城大学 学長

本田 昂



金城大学短期大学部 学長

中山 治男



白山市経済団体連絡協議会 会長

高松喜与心



白山商工会議所 会頭

高松喜与心



美川商工会 会長

吉田 隆



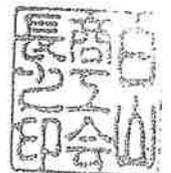
鶴来商工会 会長

角 永孝一



白山商工会 会長

林 繁



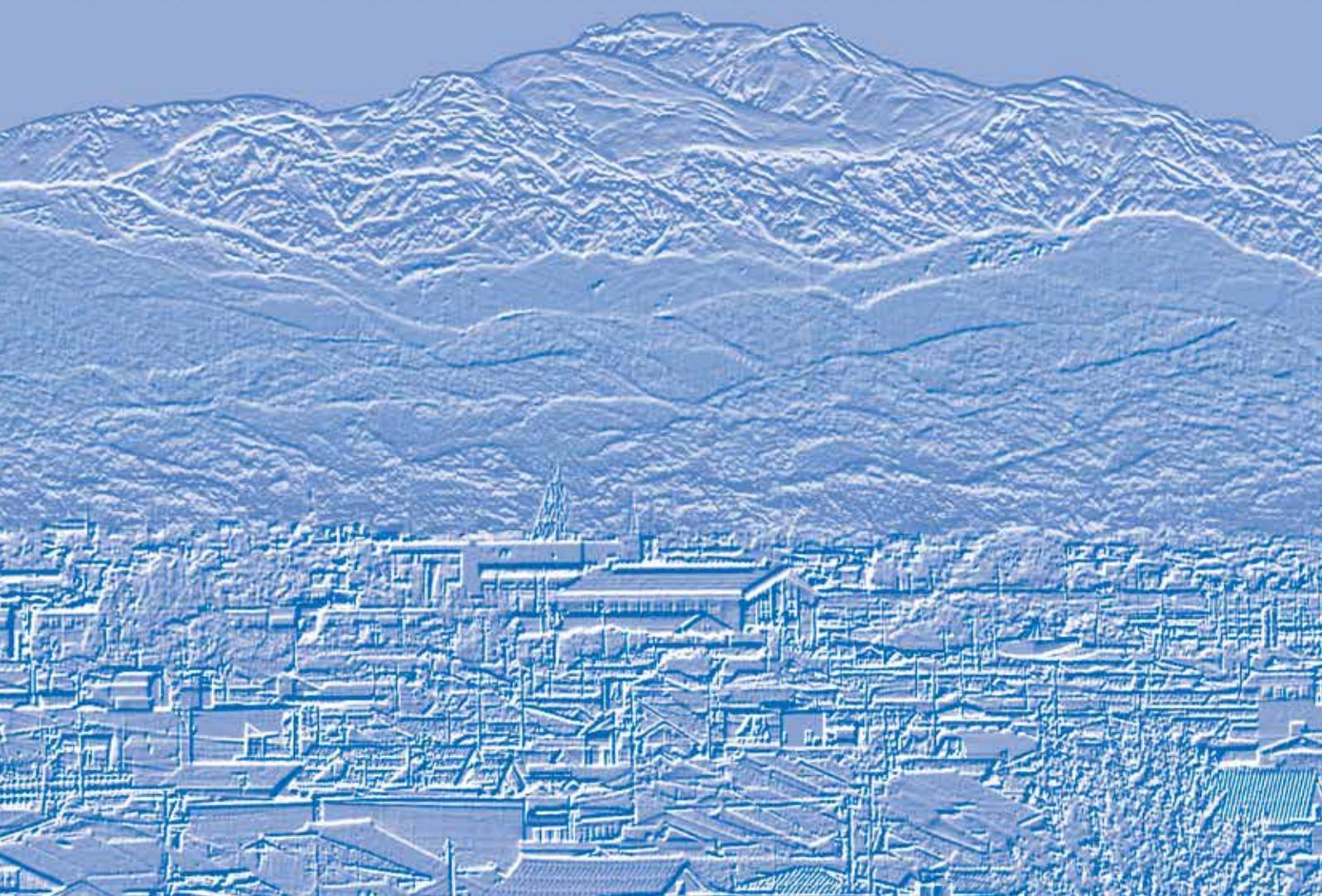
健康

笑顔

元気

# 第2次白山市総合計画

2017～2026



白山市

## 2節 基本理念

### 健康 …… 市民一人ひとりが健康で活躍するまち

まちづくりの主役は、白山市で生まれ育った人、白山市に新たに住む人、白山市を訪れる人、白山市で働く人、白山市を愛する人など、全ての「市民」です。

全ての「市民」が、家庭や地域、社会などの様々な舞台で個性を発揮し、一人ひとりが心も体も健康で、活躍するまちをめざします。

### 笑顔 …… 地域や世代を超えた交流による笑顔あふれるまち

県内最大の市域を誇る白山市には、様々な地域があり、多様な価値観をもった「市民」が生活を営んでおり、様々な可能性に満ちあふれています。

これら様々な可能性の具現化に向け、全ての「市民」が、ふるさと白山市への郷土愛を持ち、互いを尊重し、協力し合いながら、自ら楽しみチャレンジすることにより、地域や世代を超えた交流が生まれ、笑顔あふれるまちをめざします。

### 元気 …… 人も自然も産業も元気なまち

白山市には、白山、手取川、日本海などの自然の恵みに育まれた歴史、伝統、文化、産業、そして「市民」の活動があり、多くの魅力が凝縮されています。

この多様な魅力を最大限に引き出し、育むとともに、新たな魅力を創造することで、人も自然も産業も元気に輝き、活力みなぎるまちをめざします。

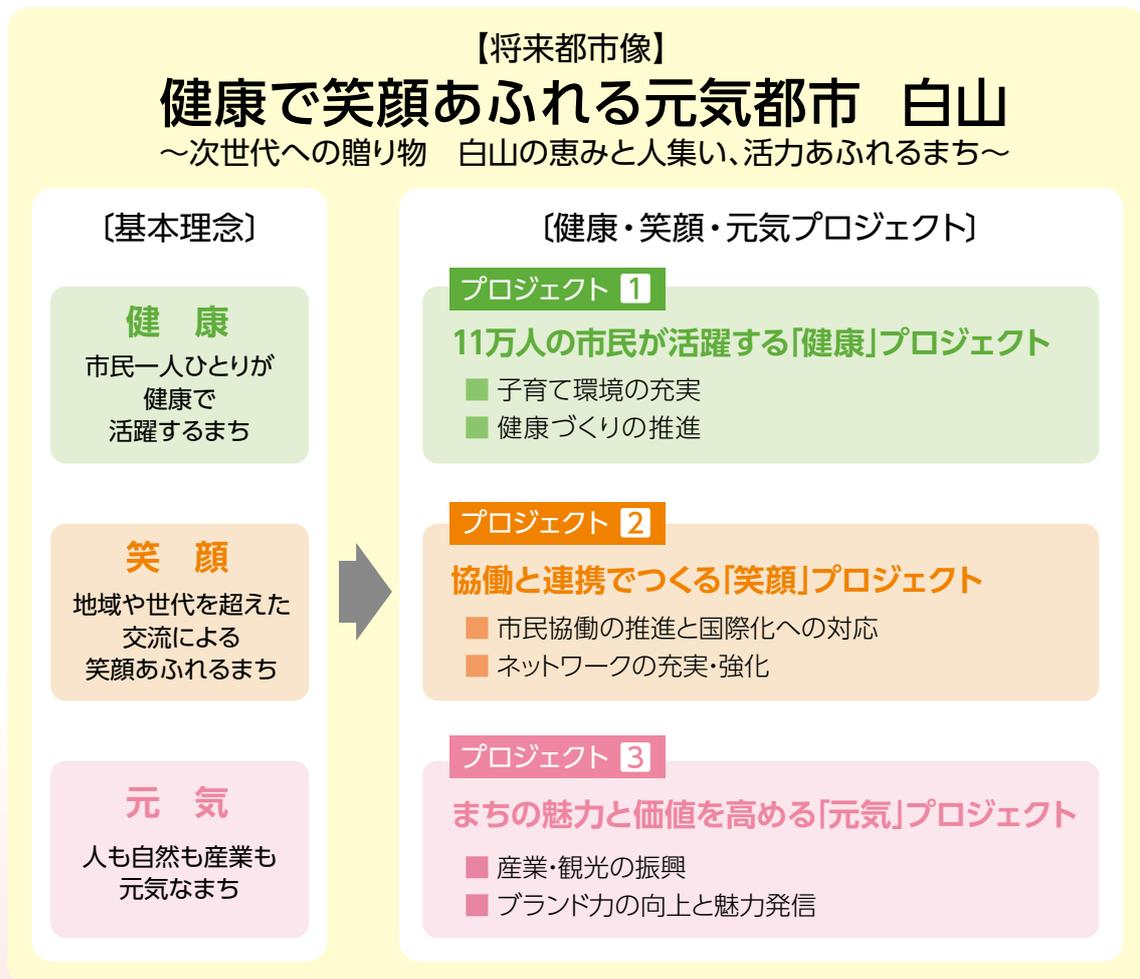


## ● 重点プロジェクト

### 健康・笑顔・元気プロジェクト

第2次白山市総合計画では、今後の10年先を見据えた視点から、少子高齢化や人口減少に対応し、未来に明るく、夢と希望にあふれた、活力あるまちを目指すため、基本計画の各章に掲げる各種施策を推進するほか、各章を横断した重点的な施策を展開することにより、将来都市像である「健康で笑顔あふれる元気都市 白山 ～次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち～」を実現させるため、本計画の基本理念である「健康」「笑顔」「元気」の視点から、次の3つのプロジェクトを設定します。

このプロジェクトについては、平成27年度に実施した市民1万人アンケートの調査結果や市民会議、まちづくり会議などを通していただいた様々な市民の声を反映するとともに、将来都市像の実現に向けて実施する様々な施策の中でも、優先度の高い取り組みとして位置づけるものです。



## 1-4-1 市民主体による健康づくりの推進

### 現状・課題

■ 少子高齢化や疾病構造の変化が進む現在、健やかで心豊かに生活できる社会の実現に向け、生活習慣や社会環境の改善が求められています。特に、高齢化が進む中で、健康寿命の延伸に向け、生活習慣病の予防が重要となっており、自身の健康状態を把握した上で適切な生活習慣を心がけることが大切です。

今後は、市民一人ひとりが健康に関心を持ち、ライフステージに応じた心身機能を維持し、生活習慣病を予防するため、各種健診の受診者を増やす必要があります。

また、個人の健康を社会全体で支える環境整備として、健康づくり意識の高揚を図りながら、健康づくりグループの育成・強化が必要です。

### 基本的方向

#### 1. 健康寿命の延伸

健康寿命を延ばすための大きな要因である生活習慣病の予防に向け、健康状態を把握し、適切な生活習慣に取り組みめるよう、健康診査受診者を増やすとともに、検査内容等の充実を図るほか、白山石川医療企業団では、人間ドックの検査内容等について、市民ニーズを把握しながら充実を図ります。

また、白山ののいち医師会等と連携を図りながら、糖尿病性腎症などの重症化予防対策を強化するとともに、がんによる死亡者数を減らすため、がん検診受診者の増加に取り組みます。

さらに、健康生活支援企業と連携して市民の健康づくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域資源を活かした新たな健康づくり事業の展開や健康づくり支援団体の育成に努めます。



健康ウォーキング



健康セミナー

## 1-5-1 健全な公的保険制度の運営

### 現状・課題

- 本市の国民健康保険は、被保険者は減少していますが、医療費は伸びています。  
このため、国民皆保険の根幹をなす国民健康保険の運営をより安定化させ、今後も安心して医療を受けることができるよう取り組む必要があります。
- 超高齢社会を見据え、「介護」を社会全体で解決すべき問題と捉え、社会保険制度として誕生した介護保険制度は、保険給付を円滑に実施するために、その時代に応じて様々な制度改革が行われています。  
今後も引き続き、介護を必要とする全ての高齢者が必要かつ十分なサービスを受けることができるよう、介護保険に関する制度の安定に向けて取り組む必要があります。

### 基本的方向

#### 1. 国民健康保険事業の健全運営

健全な保険運営を目指し、医療費に関する通知やレセプト点検により、医療費の適正化を図ります。  
また、白山ののいち医師会等と連携しながら、特定健診及びがん検診の受診者の増加を図るとともに、重症化予防への取り組みを推進します。

#### 2. 介護保険事業の健全運営

要介護認定者数や特別養護老人ホーム等の施設入所待機者数等の推移や介護サービス利用意向等を把握し、必要なサービスの確保に努めます。  
また、パンフレットの配布やまちかど市民講座等を通じ、介護保険事業に関する周知活動を行います。



特定健診の実施風景



特定保健指導の個別指導

## 施策の展開

基本的方向	施策の概要（★印は重点項目）	実施時期		実施主体
		前期	後期	
1. 国民健康保険事業の健全運営	医療費の適正化	→	→	市
	★生活習慣病の発症及び重症化予防【再掲 1-4-1】	→	→	市、医師会
2. 介護保険事業の健全運営	介護保険制度の理解促進	→	→	市
	給付内容分析と適正化の推進	→	→	市
	サービス供給体制の充実	→	→	市、市民、事業者
	福祉人材の育成・確保	→	→	市、国、県、事業者、大学

## 市民協働に向けて

- 健診や保健指導により市民の健康意識を高め、市民自ら生活改善に取り組めるよう支援します。
- 一人ひとりの医療費の適正化に向けた意識づけや介護保険制度の仕組み等の周知により、社会保障制度の適正な運営に向けた理解と意識啓発を図ります。

## 目標指標

指 標	単位	現況値	目標値		備 考
		(年度)	2021年度 (H33)	2026年度 (H38)	
特定健診の受診率	%	51.7 (H27)	62.0	62.5	
特定保健指導の指導率	%	78.0 (H27)	79.5	81.0	

## 5-1-3 地産地消の推進とブランドの育成

### 現状・課題

- 本市では、稲作を中心としながら、その地域に応じた多様な農林水産業が営まれています。地域で生産された農林水産物を地域で消費する「地産地消」の取り組みとして、地元農林水産物のブランド認証を図るとともに、地元産品の紹介と調理方法の提案をはじめ、地元の旬の食材を食べることによる市民の健康づくりへの取り組みに努めるなど、地産地消の推進を図ってきました。今後は、平成27年3月に策定した「第2次地産地消推進計画」に掲げた各種取り組みを推進するとともに、生産者やJA、関係機関との連携や市外に向けた働きかけを促進することで、「地産地消」を通じた地域の交流・活性化につなげることが大切です。
- これまでの地産地消や食育の取り組みに加え、商業や観光業などの他分野との連携を進めることにより、地元農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化による新商品の開発支援のほか、道の駅をはじめとする各種販売施設における販売支援などを通して、地元農林水産物のさらなる消費の拡大と農業所得の向上を図る必要があります。



第2次地産地消推進計画

### 基本的方向

#### 1. 地産地消や食育の推進

生産者や事業者との連携による食のイベントの開催などにより、地元農林水産物の認知度の向上及び販売活動を促進します。また、学校給食での地元産農林水産物のさらなる使用量の増加に向け、集配手段の確保などのサポート体制の強化を図るとともに、地元生産者と学校との連携を支援し、食育の推進に努めます。

#### 2. 6次産業化の推進、新たな特産品づくり

国や県の6次産業化の支援制度に加え、6次産業化にチャレンジしようとする生産者などを対象とした市独自の支援策を設け、新たな特産品づくりを推進します。また、特に優れた6次産品については、ブランドとして認証し、市内外へ幅広くPRするなど、販売促進活動を展開します。



ふれあい給食

## 5-2-2 企業への支援による活力の創出

### 現状・課題

■ 本市には、機械金属、IT、化学工業などの業種のモノづくり産業を中心とした企業の集積が進んでいます。一方、情報化の進展や経済のグローバル化により、今後さらに、国際競争に対応する技術力の向上や新しい分野における工業展開、企業体質の改善が求められています。

加えて、地球温暖化や高齢化等を背景として、低炭素・省エネ型社会や安全・安心型社会の実現への要請が高まっていることから、今後は、将来の成長を見据えた次世代有望分野への戦略的な取り組みが必要です。

■ 本市や近隣自治体には、高等教育機関が多数立地し、「知」の集積が図られています。

今後は、これらの立地条件を生かした付加価値の高い製品開発を行うため、産学官金連携や異業種交流を図るとともに、新しい技術や人材の育成を図る必要があります。

■ 経済のグローバル化や人口減少を背景とした国内市場の縮小など、中小企業を取り巻く経済・社会構造は変化しており、これまでの大企業の下請けといった取引関係ではなく、自らが市場の需要を獲得する必要性に迫られています。

このため、中小企業への各種経営支援や融資制度などの育成・支援により、経営革新や販路開拓等に取り組みやすい環境づくりが求められています。

一方で、海外の中間層・富裕層が増加する中、海外展開も視野に入れた販路開拓が求められています。

### 基本的方向

#### 1. 先端産業・次世代産業の創出支援

今後、市場の拡大が見込まれる分野において、炭素繊維や医療産業等の先端的製品・技術、福祉や環境などの産業の創出・育成を推進し、先端産業及び次世代産業の創造を図ります。

さらに、既存産業とIoT技術などのIT産業との融合を推進します。

#### 2. 産学官金連携・異業種間交流の促進

国際競争力の向上や産業の活性化のため、産学官金の連携や異業種の交流を促進し、企業の技術力の向上を図るとともに、新たな製品・技術の開発を支援します。

また、高等教育機関との連携のもと、産学官金の人的交流や情報の共有化を進め、人材の育成や資金の融通を図るとともに、新たな産業の創出に努めます。

#### 3. 経営革新・販路開拓等への支援

中小企業が今日的な経営課題に即応するためには、経営革新や新しい取引先の確保が必要です。

このため、販路開拓セミナーの開催支援やアンテナショップによる販路開拓を進めるほか、商工振興強化事業を推進します。

また、市内の中小企業等による海外市場の開拓や企業の国際化対応に向け、国際見本市等への自社製品の出展に際して奨励金を交付します。

## 5-2-3 商業の振興によるまちの賑わいの創出

### 現状・課題

■ 本市の中心市街地の商店街は、それぞれ古くからの商業や文化など、多様な都市機能が集積し、人々の交流の場として賑わいを形成してきた「まちの顔」ともいべき地域です。

しかし、近年の大型商業施設の郊外立地など商業を取り巻く環境の変化や経営者の高齢化、後継者不足などに伴い、既存店舗の存続も危惧される状況にあり、その対策が必要です。

■ 本市では、駅付近や既存商店街でも空き家・空き店舗等が多く存在するなど、中心市街地の空洞化が懸念されており、その対策が必要です。

また、白山ろく地域では、空き家率が高いことから、空き家の発生が地域の魅力低下や居住者の減少に直結してしまう恐れがあり、早急な対策が必要となっています。

■ 全国的に商店街の衰退・空洞化問題が深刻化する中、多様化する消費者ニーズに対応した魅力ある商店街づくりが求められています。

このため、利用しやすい地域密着型の商店街の拡充に向け、各商店街の実情に即した効率的な活性化対策が必要です。

また、地域での消費を喚起するためのしかけづくりや地域ビジネスの振興など、地域内の経済循環による持続的な地域経済活性化の仕組みづくりが求められています。

### 基本的方向

#### 1. 後継者育成など事業承継の支援

店舗として存続できるよう、商店街等が活性化のために自主的に行う研修等に対して支援するとともに、経済団体と連携を図り、後継者育成など、事業承継の支援を推進します。

#### 2. 空き家・空き店舗の活用などの出店しやすい環境づくり

商店街や白山ろく地域において、新規出店する者に対し、空き家・空き店舗の利活用に向けた支援を行うことにより、生活基盤と働く場の創出を促進します。

#### 3. 地域内経済循環の確立

商店街については、歩道のバリアフリー化やポケットパークの整備、良好な景観の保全など、来訪者や市民が歩いてまちなかを巡ることのできる環境の整備を進めるとともに、各種イベントを開催し、賑わいの創出を図ります。

また、増加する高齢者の購買ニーズに応えるため、民間企業の移動販売への参画や公共交通の利便性向上など、買い物弱者対策の強化を図ります。

さらに、商工業連携による異業種交流を支援し、技術に加え、商業やサービスの視点も含む事業連携を促進し、地域に根ざしたビジネスの振興を図ります。

## 5-3-1 若者の地元就職の促進と安定した雇用の確保

### 現状・課題

■ 県内には、大学をはじめとする高等教育機関が複数立地しています。

今後はさらに、インターンシップの受け入れを通して、企業と大学の交流促進を図るとともに、学生と企業のマッチング機会を提供することで、より多くの地元大学生の定着化が求められています。

■ 本市では、これまでに県外大学等に進学した若い世代のUIJターンを図るため、合同就職説明会を開催し、市内及び県内外の大学生等に対して、市内企業のPRに努めてきましたが、大学生等が希望する業種と市内企業とのミスマッチや大学生の大手企業、首都圏等への就職志向など、市内企業の人材確保には課題があります。

今後、若者の地元就職に向けた効果的な取り組みが求められています。

■ 本市は、県内でも有数の工業従業者数・製造品出荷額を上げており、女性の就業率も県内最高水準となっています。

今後は、本市の基幹産業である機械、電子関連などの既存産業の維持・成長を図りつつ、新たな企業誘致による産業の種類の拡大を図るとともに、中小企業の経営支援などを通して、地域の雇用と経済の維持・拡大を図ることが求められています。

■ 本市には、牛首紬、美川仏壇、加賀獅子頭などの伝統工芸がありますが、需要の低迷や後継者不足など、厳しい状況にあり、知名度の向上や後継者育成など、伝統工芸の継承を図るための取り組みが求められます。

また、農産品を中心とした特産品の開発やブランド化に向けた支援を行い、産業の一層の活性化による雇用確保が求められます。

### 基本的方向

#### 1. 企業と大学の交流促進、インターンシップの実施

大学、県、関係機関等と連携を図り、市内企業における大学生のインターンシップの受け入れを実施することにより、就業意識の醸成を図るほか、地元定着を支援します。

#### 2. UIJターンの促進

首都圏等を含めた大学生の市内企業への就労の拡大と人材の確保を図るため、UIJターン希望者や北陸三県、首都圏の大学等に通う学生に対し、合同就職説明会を開催するほか、県の「いしかわ就職・定住総合サポートセンター（ILAC）」と連携を図り、市内企業の各種情報を提供します。

また、企業に対し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスなどに対する意識高揚を促し、労働環境の向上に向けた支援を行います。

#### 3. 企業誘致の推進と既存企業への支援

企業誘致を推進するとともに、各企業が有する技術や製品について、国内外に向けた販路開拓活動を支援するとともに、新製品の開発やIoT化など新たな事業活動の促進による産業の活性化を図ります。

また、地域の雇用と経済を支える市内中小企業の近代化・生産性向上による経営基盤の安定化を図るとともに、人材の確保・育成を支援します。

#### 4. 伝統産業等の継承

本市の伝統工芸品について、全国への情報発信を行うとともに、後継者の育成などに努め、伝統工芸の継承を図ります。

また、特産物の生産拡大を図るほか、開発した商品の白山ブランドの確立を支援します。

## 6-2-2 自然や歴史のブランド力の向上

### 現状・課題

■ 白山と周辺地域の世界文化遺産登録への取り組みは、国内暫定リストへの追加記載を目指し、提案書を提出しましたが、主題の再整理、構成資産の組み換え、さらなる比較研究等が必要との評価を受けたことから、共同提案した自治体と連携し、主題や構成資産について検討する必要があります。

また、市内全域をエリアとする白山手取川ジオパークは、平成23年9月に日本ジオパークの認定を受けました。ジオパークの推進には市民と一体となった活動の積み重ねが重要であり、資源の保護・保全、教育・研究、ツーリズムによる地域振興等の継続した活動が求められるほか、ユネスコ世界ジオパークの認定に向けては、さらなる情報発信やガイド育成等の取り組みの強化が必要です。

さらに、白山ユネスコエコパークは、白山を取り巻く4県7市村の環白山地域をエリアとして昭和55年に登録され、平成28年3月に拡張登録が承認されました。10年ごとに定期報告が必要であり、ユネスコエコパークの掲げる3つの機能（保護機能、学術的研究支援、経済と社会の発展）を果たすために、構成する環白山地域との連携のもと、持続可能な活動の推進が必要となっています。

■ 本市ではこれまで、白山温泉郷や白山菊酒などの重要な観光資源のブランド化を進め、観光客の誘客に取り組んできました。

今後、引き続き本市特有の自然や文化などの観光資源について、さらに魅力を発掘しつつ、ブランド力の向上を図り、他との差別化による誘客力の向上を目指すことが重要です。

### 基本的方向

#### 1. 世界に向けた活動の推進

ジオパークをツールとして、自然資源や地域遺産の保護・保全、ツーリズムの基盤づくり、教育・科学の普及などの取り組みを推進する一方、ふるさと学習を通して私たちの地域の魅力アップに努めます。

そして、ユネスコの正式プログラムとなったユネスコ世界ジオパークの認定を目指していきます。

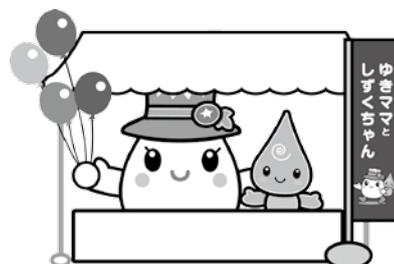
また、ユネスコエコパークの継続的な普及啓発活動に努めるとともに、白山の自然や文化を伝える取り組みや活動への支援及び管理運営計画の策定を促進し、環白山地域のさらなる連携を深めていきます。

世界文化遺産登録においては、厳しい評価の現状のなか、これらの活動の積み重ねにより、その道筋を見極めていきます。

#### 2. 観光資源のブランド力の向上

自然や歴史遺産をはじめ、観光拠点のブランド化に向け、各種関係団体の連携を深め、地域ぐるみの活動を盛り上げるとともに、官民が連携して観光のPR活動を展開します。

特産品や地元食品等を販売する事業者と連携し、観光拠点内での販売、観光PR会場での販売等を行い、ブランド力の向上を図ります。



白山手取川ジオパークイメージキャラクター  
ゆきママとしずくちゃん

# 第2期 白山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

健康で 笑顔あふれる 白山市

-持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の実現を目指して-

令和2年3月

## 4) 目標の達成に向けた重点的な取り組み

人口ビジョンで掲げる 2060 年に人口 10 万人の確保を実現するため、総合戦略の目標年次である 2024（令和 6）年には概ね 111,000 人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標及び重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。

### 基本目標 1

しごと

商工業の集積と農林水産資源を活かした  
「仕事・雇用」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)

- 市内従業者数 54,992 人 ⇒ 55,900 人
- 女性の就業率 53.3% ⇒ 54.6%

<重点的な取り組み>

- 6次産業化の取り組み支援
- 創業支援の推進
- 企業誘致の推進

### 基本目標 2

ひと

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を  
活かした「観光・交流」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)

- 人口の社会増減数 +511 人 ⇒ +2,500 人(5年間)
- 観光入込客数 485 万人 ⇒ 520 万人

<重点的な取り組み>

- ◎(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備
- ◎高等教育機関との連携による Society5.0 等を活用した地域産業の振興
- ◎地域と多様に関わる関係人口の拡大
- ◎白山の魅力の発信
- 市外からの定住者への住宅購入費等の支援
- 土地区画整理事業による宅地の整備促進

## 健康で 笑顔あふれる 白山市

目標人口：2024年で約111,000人  
⇒2060年に10万人確保

### 基本目標 3

ひと

安心して子どもを産み育て生涯活躍できる  
「健康・福祉・教育」創生戦略

<成果指標> 基準(H30) 目標(R6)

- 合計特殊出生率 1.59 ⇒ 1.67
- 健康寿命(男性) 80.4 歳 ⇒ 80.6 歳  
(女性) 84.8 歳 ⇒ 85.0 歳
- 要介護・要支援者の割合 16.7% ⇒ 18.4%

<重点的な取り組み>

- ◎女性の活躍の場の創出
- ◎共生のまちづくりの推進
- 健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進
- 子育てに関する切れ目のない支援
- 若年層の新築住宅の購入への支援
- 新婚者への家賃補助
- 三世代同居・近居の支援

### 基本目標 4

まち

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らし  
を守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

<成果指標> 基準(R1) 目標(R6)

- 住み良いと感じる割合 72% ⇒ 現状維持

<重点的な取り組み>

- ◎新たな地域コミュニティ組織による市民協働で創るまちづくりの推進
- ◎白山ろく地域の活性化に向けた地域資源の活用による個性の発揮
- 公共交通の利便性の向上
- 空き家対策の推進
- 連携中枢都市圏の推進
- 鳥獣害対策の推進

〔凡例〕◎… 第2期からの新たな取り組み

**(4) 地元の大学や企業等との連携による地域活性化の推進**

①市内・県内での進学や就職の促進

・魅力ある大学づくり等への支援により地元大学への進学を促進するとともに、学生と企業のマッチングにより学生の定着化を促進する。
<b>内 容</b>
○大学等の魅力向上による地元大学への進学促進
○市内就職を促進する求人確保とマッチング機会の提供

②大学と地域や企業等との連携の強化

・県内の大学と企業等の連携により、地域の課題解決に取り組み、地域経済の活性化を図る。
<b>内 容</b>
○SDGs 未来都市計画関連事業の推進
○大学等との連携による Society5.0 を活用した地域産業の振興
○再生可能エネルギー <sup>※1</sup> の導入と利用促進
○日本版CCRC <sup>※2</sup> の推進（多世代交流・多機能型拠点の整備）
○薬草産地化 <sup>※3</sup> の促進

※1 再生可能エネルギー：太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどのエネルギー源として持続的に利用することができるもの（白山ろく自然資源の活用を調査検討する取り組み）

※2 CCRC：健康時から介護時まで継続的ケアを提供するコミュニティ（Continuing Care Retirement Community）

※3 薬草産地化：薬草を通じた学生と地域住民との交流・教育・研究・商品化に関する取り組み。

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
市内大学卒業者の市内企業就職率	12.6%	15%
SDGs 関連事業	1件	10件
SDGs の認知度	44%	75%
大学・地域等の連携事業数	57件	70件

## (2) 子どもから高齢者まで生涯学び続けられる教育環境の充実

### ①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進

・健康を維持・向上する体力づくりを推奨するとともに、新聞を活用した授業を取り入れ、豊かな自然や文化に触れるなど、本市独自の教育活動等を通じ、郷土を思う意識や愛着を深める教育を推進する。

内 容
○市内高等学校の魅力アップ支援
○情操豊かで互いに思いやる心の育成
○新聞を活用した学校教育の推進
○野外体験活動の機会増加の推進
○地域の文化や自然への理解を深める体験活動の推進
○スポーツに親しめる環境づくり及びジュニア競技の育成・強化の推進
○野球場などのスポーツ施設の整備及び活用

### ②誰もが安心して学べる環境の整備

・経済的な理由や通学が困難な地域の児童・生徒等に対する各種支援や学習環境の充実を図るとともに、パソコン配備によるICT化など、誰もが安心して学べる環境づくりを推進する。

内 容
○学習環境に対するきめ細かい支援（少人数教育の推進・外国語教育の充実等）
○小中学校のICT化の推進
○教育の経済的負担に対する各種支援
○遠距離通学者への支援

### ③生涯学習の推進

・様々な生活環境や地域に根差した歴史や文化があり、そこに暮らす子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた生涯学習を推進する。

内 容
○学習機会の充実
○生涯学習ネットワークの構築
○図書館サービスの充実

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
白山ろく地域高等学校通学費助成の利用率	73%	80%
図書館の利用人数	505,062人	505,000人

**(3) 女性や中高齢者・障害者などが安心して活躍できる環境の充実**

①仕事と家庭の両立の支援

・保育サービスの多様化や放課後児童クラブの運営の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う企業の表彰や、経営者への意識啓発により働き方の改善を促進することで、仕事と家庭の両立を支援する。
<b>内 容</b>
○育児・介護休業や職場復帰等がしやすい環境づくりの促進
○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む事業所の促進
○経営者への意識啓発

②共生のまちづくりの推進

・全ての市民が障害の有無にかかわらず、人格と個性を尊重し、共に生きる環境づくりに向け、普及啓発による理解促進のほか、各種相談や支援体制を充実する。
<b>内 容</b>
○コミュニケーション手段の普及啓発
○障害者等の就労に関する理解促進
○保育や教育における相談、支援体制の充実

③誰もが活躍できるまちづくり

・女性をはじめ、中高齢者などが安心して活躍できる環境を整備する。
<b>内 容</b>
○女性の社会参加と活躍できる環境整備への支援
○単身中高齢者が安心して生活できる支援体制の充実
○高齢者の社会参加への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
延長保育を行う保育所数	31 か所	33 か所
病児・体調不良児保育を行う保育所数	20 か所	24 か所
放課後児童クラブ入所希望者の入所率	100%	100%維持
子ども食堂の運営団体数	11 団体	15 団体
審議会等の女性登用率	30.4%	40%

(4) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

①医療体制の充実

・医療機関の受診が困難な方の適切な医療を確保するとともに、祝休日等でも診察を受けられる医療環境の充実を図る。
内 容
○地域医療体制の充実
○緊急医療体制の充実
○広域による夜間小児科診療の充実

②健康寿命の延伸

・生活習慣病の早期発見及び保健指導による生活習慣の改善並びに生涯スポーツ、健康生活支援企業との連携や食を通じた健康づくりにより、健康寿命の延伸を図る。 ・元気なうちから様々な社会活動への参加や、ウォーキング・健康器具等を用いた健康づくり、介護予防体操等に取り組むことで、介護予防の推進を図る。 ・働くことやボランティアなど高齢者の活躍の場を提供・支援し、社会参加を促進することにより、高齢者の生きがいがいづくりと健康寿命の延伸を図る。
内 容
○各種検診や保健指導の充実
○食を通じた健康づくりの推進
○介護予防の推進
○健康生活支援企業と連携した健康づくりの推進
○生涯スポーツやウォーキング・健康器具・遊具を活用した健康づくりの推進

③支え合いの体制づくり

・地域包括ケアシステムの推進などにより、住み慣れた場所で、安心して暮らし続けられる福祉体制の充実を図る。
内 容
○福祉団体活動の充実
○地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みの推進

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H30）	目標値（R6）
特定健診の受診率	51.7%	62.3%
がん検診受診者数	23,324人	24,756人
地域ケア会議の開催回数	5年間で 173回	5年間で 350回

### (3) 魅力と愛着のある地域づくりの推進

#### ①市民協働で創るまちづくりの推進

・地域の課題解決やコミュニティ力の向上に向け、人材育成や新しい地域コミュニティ組織の設立等に取り組むことで、市民との協働によるまちづくりを推進する。
内 容
○地域の課題解決に向けた人材の育成
○新しい地域コミュニティ組織の設立及び支援

#### ②連携中枢都市圏の推進

・近隣市町と連携し、圏域全体の経済成長や高次の都市機能の集積・強化を図るとともに、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。
内 容
○圏域全体の経済成長のけん引
○高次の都市機能の集積・強化
○生活関連機能サービスの向上

#### ③コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出<sup>にぎ</sup>

・コミュニティ活動を支える人材や団体の育成を図るとともに、公民館及び地域コミュニティを中心とした地域づくりや食などの特色あるテーマを題材とした活動の促進などにより、地域の活性化を図る。
内 容
○公民館活動の支援及び地域コミュニティへの支援
○地域づくり団体や青少年団体の育成
○イベントの開催による地産地消の推進

#### ④特色のある文化活動の振興

・各種文化・芸能活動の促進による文化の振興や、同じ地域に住む市民の多文化共生を図る。
内 容
○地域の文化活動への支援
○国際交流・多文化共生の推進

# 白山市 SDGs未来都市計画 (2021～2023)

白山の恵みを次世代へ贈る「白山市SDGs未来都市ビジョン」

## 白山市

## ② 今後取り組む課題

高度成長期と共に目まぐるしい経済成長を遂げたことにより、人々の価値観が「経済」に偏りすぎる中で、社会活動の拠点が平野部の都市へと移行し、2005年の合併以後、平野部の人口は増加傾向にあるものの、山間部では2割以上の人口減(2020年10月末現在5,488人)となっている。また、平野部と山間部では、年少人口割合が平野部で14.7%、山間部で8.5%、老年人口割合が平野部で25.6%、山間部で46.7%(平成27(2015)年国勢調査)となっており、地域間の格差は広がり、市民の一体感が生まれにくい状況下にある。

さらに山間部では、人口減少と高齢化による過疎化に伴い、自然環境が放置され、サルやイノシシによる鳥獣被害が増加し、その被害額は昨今増加傾向にある。2015年5月に手取川源流部での大規模な地すべりが発生し、高濃度の濁水は下流の農業、漁業等に大きく影響をもたらしたほか、2014年4月と2015年6月には、地域経済や生活を支える唯一の幹線道路である国道157号(東二口地内)で法面が崩落し、一時通行止めになり、その脆弱性が浮き彫りになるなど、土砂災害による新たな課題が発生しているが、根本的な解決に至らない状況にある。

かつては、山間部のみならず平野部を含む白山周辺一帯で、白山の水の恵みを受けて生活する多くの人々が「白山の水をいただく」という感覚で山を仰いでは感謝の祈りを捧げてきた時代があった。今一度、白山市民が一体となって、白山の恵みに感謝するとともに「次世代の価値観」を醸成し、「経済」「社会」「環境」が調和し、特に女性の活躍により、地域が発展し続ける次世代の都市の循環を、世界基準で再形成しなければならない。

本市では、このような課題に対し、SDGsの視点に基づく取組の必要性を認識し、全庁横断的かつ効果的に推進するため、2018年3月19日に市長を本部長とする「白山市SDGs推進本部」を設置し、全部局でSDGsの取組を推進していくこととしている。

また、2019年度にはSDGs・地方創生推進室を新設し、より一層の普及啓発の取組とともに、全庁を挙げてSDGsを推進する体制を強化した。

2013年5月に白山市と包括的な連携協定を締結した金沢工業大学は、2018年4月には本市の山間部に白山麓キャンパスを開設した。金沢工業大学では、「自ら考え行動する技術者の育成」を教育目標に掲げ、2016年に就任した大澤敏学長が、「世代・分野・文化を超えた共創教育研究の推進」という新たなビジョンを打ち出しており、大学の新たなブランディング事業の一環として、新設される白山麓キャンパスに産学官民連携の拠点「KITイノベーションハブ」を設置すると共に、学長自らが所長を務める「地方創生研究所」を開設した。

2017年末には、SDGs推進センターを設立するとともに、これまでの社会と連携した教育研究やASEAN諸国との大学連携による教育研究を推進してきた成果が認められ、「第1回ジャパンSDGsアワード」において、SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞を受賞しており、大学全体でSDGsの推進に尽力している金沢工業大学との包括的な連携協定を基盤とし、白山市SDGs未来都市の実現に向け取り組んでいく。

### (3) ステークホルダーとの連携

#### 1. 域内外の主体

##### **【NPO 法人白山しらみね自然学校】**

市民参画による地域資源の保全と活用策の企画や事業化、エコツアーガイドの養成等を行うトータルサポート型組織として、これまで取り組んできた、自律的で持続可能な地域振興策のノウハウから、「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」で実践するSDGsプロジェクトの推進をサポートする。

NPO 法人白山しらみね自然学校との連携を強化することで、山間部の自律的で持続可能な地域振興策を、市民参画によってすべての地域に繋げることが可能となる。

##### **【金沢工業大学 (石川県野々市市)】**

本事業における産学連携の推進や市民・学生への充実した学習機会を提供し、市民参画によるまちづくりへの参画意識の醸成を図る。金沢工業大学の白山麓キャンパスは、本事業を推進する上での拠点として活用することが可能になると共に、これまでのSDGsの要素を取り入れた教育研究実績やノウハウを活用することで、白山未来都市の基盤整備から事業の実施までスピード感をもって実施することが可能となる。

また、金沢工業大学で学ぶ学生にとって、白山麓キャンパス周辺の白山ろく地域で活動することは、イノベティブな企業やポジティブな市民と共にバックキャストिंगの思考に基づいて社会課題の解決や新たな価値の創造に取り組むことが可能となり、学生自身を大きく成長させる重要な機会となる。また、教員がこれまで取り組んできた研究成果を、産学連携によって社会課題解決の要素として落とし込む機会にも繋がる。

##### **【金城大学】**

金城大学看護学部が本市の山間部においてこれまで推進してきた、「やまの保健室」事業を中心に、看護学部の学生ボランティアと教員、さらには「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」の実現に向けて参画する企業、市民との共創から、健康寿命延伸等をテーマとしたSDGsプロジェクトの推進を図る。これまでの「やまの保健室」事業の成果を、技術的な側面やデータ活用の側面からもさらに高度に発展させることが可能となる。

##### **【社会福祉法人 佛子園】**

国内において、地方創生の先行事例として、年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、さまざまな人びとと一緒に暮らせる町づくりに取り組む佛子園との連携から、SDGsプロジェクトで創出されたソリューション等を含め、「白山手取川流域コミュニティ(=白山ソサエティ)」のモデルを、白山市内に点在する地域コミュニティへと展開を図る。佛子園が有するノウハウを共有することで、スピード感をもって展開を図ることが可能となる。

##### **【株式会社 NTT ドコモ (東京都 千代田区)】**

金沢工業大学と株式会社 NTT ドコモは、「白山市 IoT 推進ラボ」を推進し、地方創生を実現するにあたっての基本合意書を2017年6月に締結している。白山市 IoT 推進ラボにおける

## 4 地方創生・地域活性化への貢献

本市のSDGs未来都市計画は、人口減少や少子高齢化が急速に進む本市山間部において、産学官民が連携し、5G・ICTといった情報通信技術の利活用により社会課題の解決を探るほか、地域の資源を保全・活用しながら、経済の活性化させ、人や企業を呼び寄せる仕組みをつくり、その成果を白山市全体に還元するサイクルを確立を目指すものである。

本計画が実現されることで、山間部の集落機能が保たれ、農地・森林の適切な維持管理を通じて、平野部の災害防止や本市のみならず多くの石川県民の水源の保全にもつながり、山間部の過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を維持することができるとともに、本市が併せ持つ山間部と平野部が共生する互惠関係を構築し、山間部の地域振興に貢献する。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自然の中で生活することや教育をうけることに関心を持つ人が増加している。特に、自然の中でSDGsに関する教育・学習を受けられることに対する他地域の教育機関からの関心は高まっており、修学旅行先としての受け入れ要請等、具体的なニーズが顕在化している。本計画の実現により、本市がこれまで重視し、取り組みを発展してきた自然資産の保全に関する取り組みを、上記のような新たなニーズとうまく合致させることで、都心部とは異なる魅力を際立たせ、更なる地方創生・地域活性化を推進する。

# 石川県環境総合計画

The Comprehensive Environment Plan of Ishikawa

石川県環境総合計画



石川県環境総合計画  
推進キャラクター



再生紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。



石川県生活環境部環境政策課

石川県

令和2年 石川県©

—設置の趣旨(資料) —32—

石川県



## 2 地域資源を活用した持続可能な地域づくり

### 【現状】

- 我々の経済活動や社会活動は、地域の多様な資源の上に成立しています。  
地域資源には、地域のエネルギーや自然資源、都市基盤、産業集積等に加え、文化、風土、組織・コミュニティなど様々なものが含まれ、地域が持続可能であるためには、経済活動や社会活動によって、資源の過剰な採取や、環境に負荷のかかる物質の排出をできる限り抑えることが重要です。
- 他方で、近年は、**少子高齢化や人口減少が地域経済の疲弊や里山里海の荒廃による生物多様性の低下にも影響を与えるなど、環境・経済・社会面の課題が相互に関連し、複雑化しています。**
- 国は、**環境政策を通じ、経済・社会に関する諸課題の同時解決を図る手段として、地域循環共生圏を提唱し、その創造を通じて、持続可能な社会の形成を目指すこととしています。**
- 各地域においても、地域資源を活用し、環境に関する課題解決を図りながら、経済・社会面の向上を図る取組の推進が求められています。

### 【課題】

- 地球温暖化の防止だけでなく、地域の産業振興や災害対策等の課題解決も図る取組として、地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入を推進する必要があります。
- 廃棄物の最終処分量を減少させるだけでなく、循環産業の活性化等も図る取組として、循環資源の活用を促進する必要があります。
- 自然環境を保全するだけでなく、**里山などの資源を活用し、地域の活性化や生業の創出も図る取組を推進する必要があります。**
- 地域内での課題解決にあたって、不足する人材等を他地域から補完するため、都市と農山漁村の交流を促進していく必要があります。

### 【目指すべき環境の姿】

- 地域資源の有効活用と循環が図られるとともに、他の地域との交流による資源の補完が図られることにより、持続可能な地域づくりが進んでいます。

### 【取組の方向性】

- 地域のエネルギー・バイオマス資源の活用

#### 【再生可能エネルギー】

- 再生可能エネルギーの導入推進により、温室効果ガスの排出抑制だけでなく、地域の活性化や産業振興・農業振興、災害・防災対策等も図ります。

### 【食品廃棄物等】

- 食品廃棄物等の排出抑制だけでなく、たい肥化による農業振興やフードバンク・フードドライブの周知による社会貢献も図ります。

### 【家畜排せつ物】

- 家畜排せつ物をたい肥化し、循環資源としての有効利用を促進することで、家畜排せつ物の管理の適正化による水質汚濁の防止だけでなく、農業振興も図ります。

### 【木質バイオマス】

- 未利用材の木質バイオマス資源としての有効利用を促進し、健全な森林経営だけでなく、化石燃料からの代替エネルギーの地産地消も図ります。

### ●地域の自然資源の活用

- 里山里海の豊かな自然を保全するとともに、里山里海における地域資源の魅力発信や生業の創出を図ります。

### ●都市と農山漁村の交流促進

- 企業やNPO、都市部に住む人々などの多様な主体の参画による里山里海保全活動を促進するとともに、里山里海の地域資源を活用し、スローツーリズムによる農村地域への誘客を促進します。

### 【行動目標】

No	指標名	現状	目標値
78 再掲	下水汚泥の有効利用率	54.7 % (平成30年度末)	73 %
79 再掲	捕獲イノシシのジビエ利活用率	7 % (平成30年度)	10 %
80 再掲	スローツーリズム(農家民宿・レストラン)の年間利用者数	19,180人 (平成30年度末)	20,000人

令和4年8月18日

学校法人金城学園  
理事長 加藤 真一 様

白山商工会議所  
会頭 高松 喜与志



### 金城大学「総合政策学部総合経済学科」の新設に関する要望書

白山商工会議所は、地域における商工業の総合的な改善発達を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、地域経済社会の総合的な改善発達を図るための諸事業を展開しています。令和2年度には、第4次中期事業計画「for サスティナブル・Hakusan」を策定し、中小零細企業の活性化と地域経済の活力強化のため、健康経営及び産業観光の推進、持続可能な地域社会の創造（SDGs）を目指しています。

近年、地方創生 SDGs の実現と地域経済の持続的発展のためには、中小企業の競争力の維持・向上が求められており、その達成に向けては、「AI や IoT などのデジタル技術活用による DX 推進・生産性向上」、「環境に配慮した活動の促進及びカーボンニュートラルの達成」、「大学等と連携し学生や教員を巻き込んだ商品開発や PR 活動等」が有効であると言えます。しかしながら、当商工会議所会員企業の多くでは、それらの十分な活用や推進が進んでいない現状にあります。この状況を打破するには、多様化する経営の課題解決に向けたデジタル技術活用に対応した人材育成、地域の環境保護に取り組む企業経営の推進、産官学連携による様々な活動の推進、地元大学からの就業率の向上等が必要不可欠と考えます。

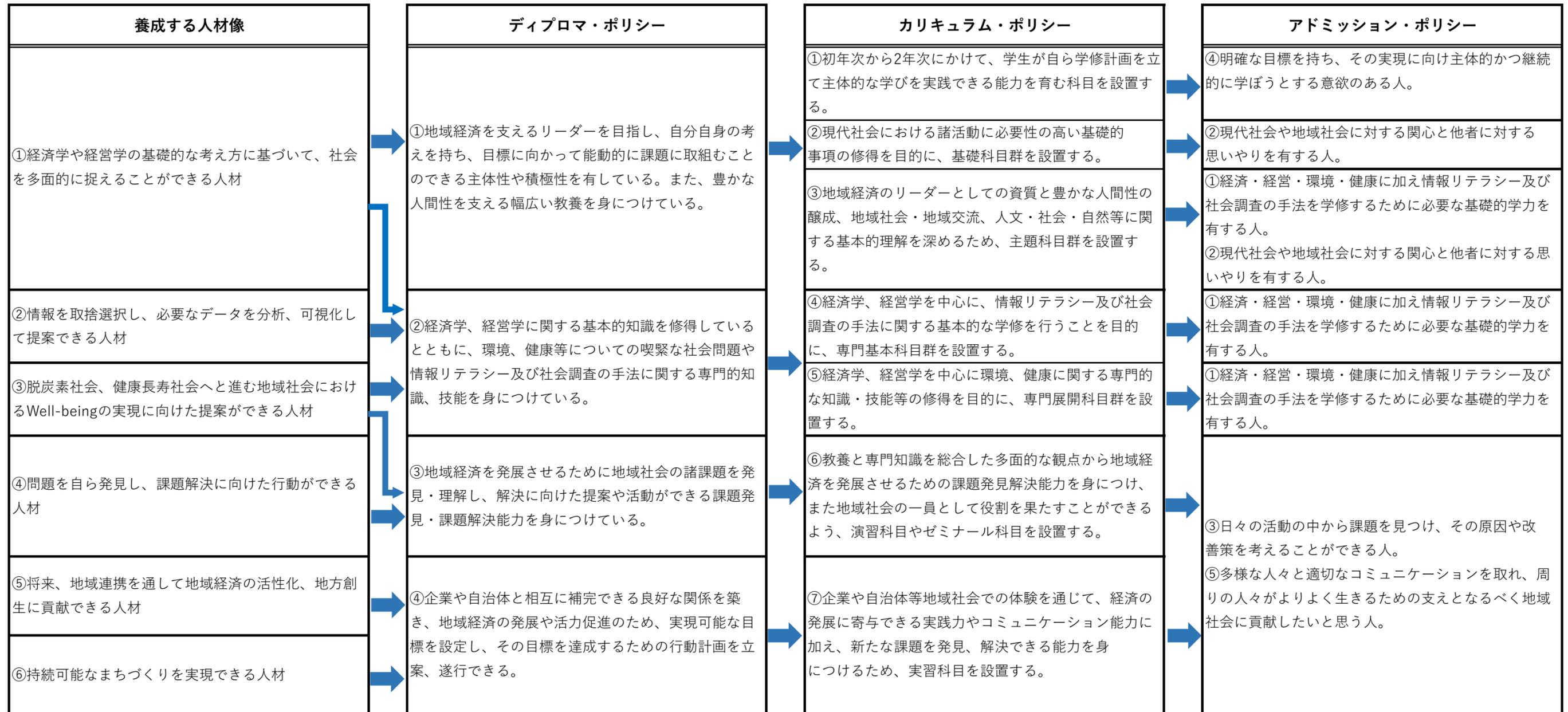
こうした状況を踏まえ、当商工会議所は、令和6年4月の金城大学総合政策学部総合経済学科の設置を切に要望いたします。地元白山市の4年制大学として地域に根差した教育経験から、幅広い基礎教養と経済学、経営学を基盤に、これからの社会で求められるカーボンニュートラル等の環境への配慮、健康経営、DX化に対応できる情報リテラシーを有した課題発見・解決力を身につけた人材の養成を期待します。

新学部の設置は、当該分野への進学を希望する高校生が地元の大学に進学できるだけでなく、他の市町や他県からの学生による雇用創出や4年制大学卒業者の地元定着率の向上、更には、大学との協働による教育・研究活動や教職員・学生との接点から生まれる社会的・経済的効果が期待できるとともに、学生が増えることにより賑わいが増加し、地域への活力となり、周辺のまちづくりにも波及して、更なる地域の活性化に繋がります。また、地域産業の振興を担い、社会的な課題解決に貢献できる人材を輩出するなど、地域で様々な視点を持った人材が活躍することが期待されます。

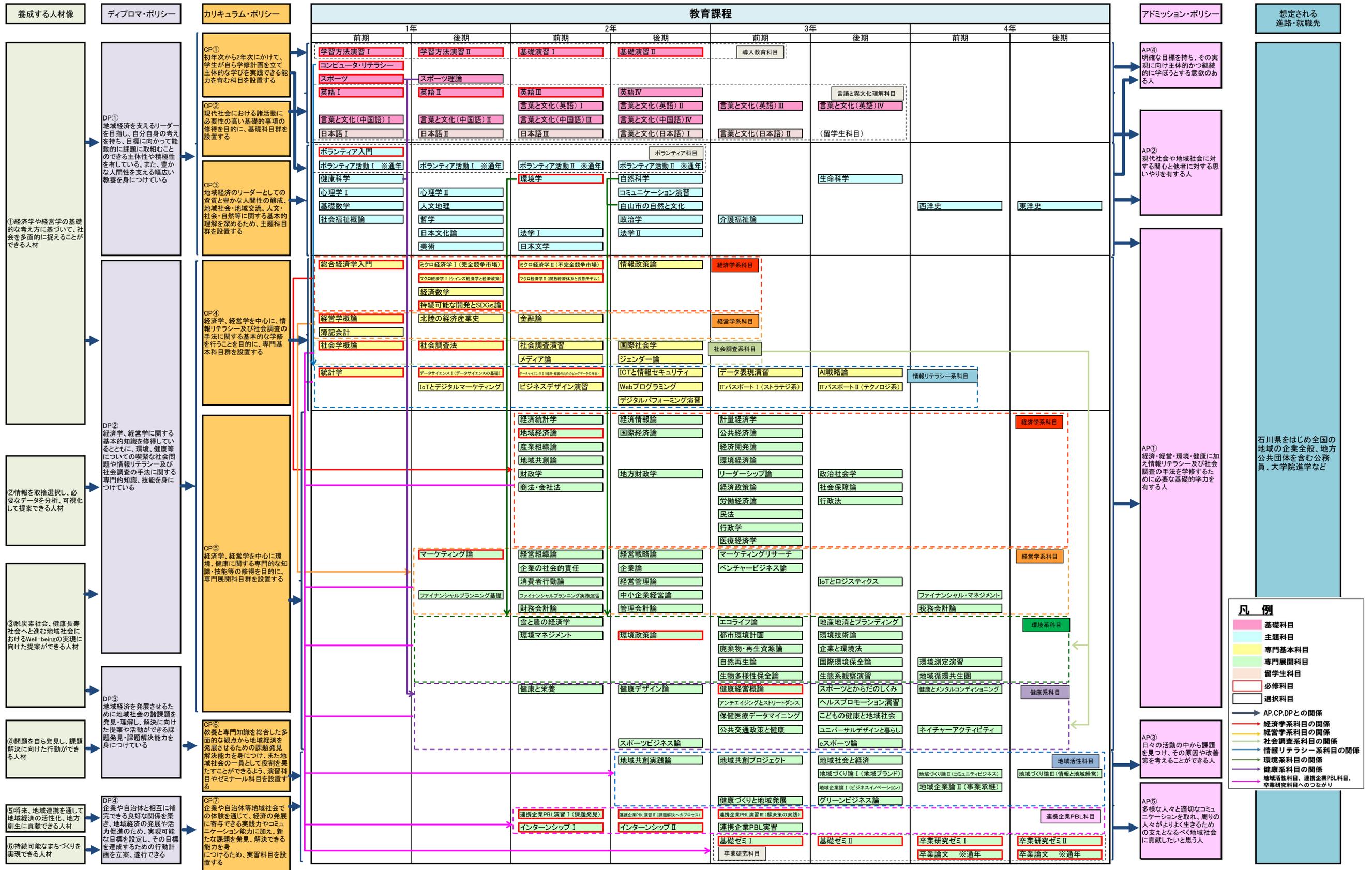
当商工会議所は、貴学園に対し、この取組の実現に向けて早急に取り組まれることを強く要望いたします。

以上

# 総合経済学部総合経済学科の養成する人材像と3ポリシーとの対応表



総合経済学部総合経済学科カリキュラムマップ



## 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	スポーツ	1前	1			○			
	スポーツ理論	1後		2		○			
	英語 I	1前	1			○			
	英語 II	1後	1			○			
	英語 III	2前	1			○			
	英語 IV	2後		1		○			
	言葉と文化（英語） I	2前		1		○			
	言葉と文化（英語） II	2後		1		○			
	言葉と文化（中国語） I	1前		1		○			
	言葉と文化（中国語） II	1後		1		○			
	言葉と文化（英語） III	3前		1		○			
	言葉と文化（英語） IV	3後		1		○			
	言葉と文化（中国語） III	2前		1		○			
	言葉と文化（中国語） IV	2後		1		○			
	コンピュータ・リテラシー	1前	1			○			
	学習方法演習 I	1前	1			○			
	学習方法演習 II	1後	1			○			
	基礎演習 I	2前	1			○			
	基礎演習 II	2後	1			○			
小計（19科目）	—	—	9	11	0				

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
主題科目	ボランティア入門	1前	2			○			
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		○			
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1		○			
	美術	1後		2		○			
	健康科学	1前		2		○			
	生命科学	3後		2		○			
	自然科学	2後		2		○			
	基礎数学	1前		2		○			
	環境学	2前	2			○			
	人文地理	1後		2		○			
	心理学Ⅰ	1前		2		○			
	心理学Ⅱ	1後		2		○			
	コミュニケーション演習	2後		1		○			
	白山市の自然と文化	2後		2		○			
	社会福祉概論	1前		2		○			
	介護福祉論	3前		2		○			
	哲学	1後		2		○			
	東洋史	4後		2		○			
	西洋史	4前		2		○			
	政治学	2後		2		○			
法学Ⅰ	2前		2		○				
法学Ⅱ	2後		2		○				

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
主題科目	日本文学	2前		2		○			
	日本文化論	1後		2		○			
	小計 (24科目)	—	4	41	0				
専門基本科目	総合経済学入門	1前	2				○		
	ミクロ経済学Ⅰ (完全競争市場)	1後	2				○		
	ミクロ経済学Ⅱ (不完全競争市場)	2前	2				○		
	マクロ経済学Ⅰ (ケインズ経済学と経済政策)	1後	2				○		
	マクロ経済学Ⅱ (開放経済体系と長期モデル)	2前	2				○		
	経済数学	1後		2			○		
	北陸の経済産業史	1後		2			○		
	持続可能な開発とSDGs論	1後	1				○		
	金融論	2前		2			○		
	情報政策論	2後		2			○		
	経営学概論	1前	2				○		
	簿記会計	1前		2			○		
	社会学概論	1前	2				○		
	社会調査法	1後	2				○		
	社会調査演習	2前		1			○		
	メディア論	2前		2			○		
ジェンダー論	2後		2			○			

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門基本科目	国際社会学	2後		2			○		
	統計学	1前	2				○		
	データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）	1後	2				○		
	データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）	2前	2				○		
	IoTとデジタルマーケティング	1後		2			○		
	ビジネスデザイン演習	2前		1			○		
	ICTと情報セキュリティ	2後		2			○		
	Webプログラミング	2後		1			○		
	デジタルパフォーミング演習	2後		1			○		
	データ表現演習	3前		1			○		
	AI戦略論	3後		2			○		
	ITパスポートⅠ（ストラテジ系）	3前			2				
	ITパスポートⅡ（テクノロジー系）	3後			2				
小計（30科目）	—	23	27	4					
専門展開科目	経済学系科目	経済統計学	2前		2		○		
		地域経済論	2前	2			○		
		産業組織論	2前		2		○		
		地域共創論	2前		2		○		
		財政学	2前		2		○		
		経済情報論	2後		2		○		
		国際経済論	2後		2		○		
		地方財政学	2後		2		○		

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門展開科目	計量経済学	3前		2			○		
	公共経済論	3前		2			○		
	経済開発論	3前		2			○		
	環境経済論	3前		2			○		
	リーダーシップ論	3前		2			○		
	経済政策論	3前		2			○		
	労働経済論	3前		2			○		
	商法・会社法	2前		2			○		
	民法	3前		2			○		
	行政学	3前		2			○		
	政治社会学	3後		2			○		
	社会保障論	3後		2			○		
	医療経済学	3前		1			○		
行政法	3後		2			○			
小計（22科目）		—	2	41	0				
専門展開科目	マーケティング論	1後	2				○		
	経営組織論	2前		2			○		
	企業の社会的責任	2前		2			○		
	消費者行動論	2前		2			○		
	企業論	2後		2			○		
	経営戦略論	2後		2			○		
	経営管理論	2後		2			○		

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP				
			必修	選択	自由	①	②	③	④	
経営学系科目	中小企業経営論	2後		2			○			
	ベンチャービジネス論	3前		2			○			
	マーケティングリサーチ	3前		2			○			
	IoTとロジスティクス	3後		1			○			
	ファイナンシャル・マネジメント	4前		2			○			
	ファイナンシャルプランニング基礎	1後		1			○			
	ファイナンシャルプランニング実務演習	2前		1			○			
	財務会計論	2前		2			○			
	管理会計論	2後		2			○			
	税務会計論	4前		2			○			
	小計 (17科目)	—	2	29	0					
	専門展開科目	環境系科目	食と農の経済学	2前		2		○		
			環境マネジメント	2前		2		○		
			環境政策論	2後	2			○		
			エコライフ論	3前		2		○		
			都市環境計画	3前		2		○		
			廃棄物・再生資源論	3前		2		○		
自然再生論			3前		2		○			
生物多様性保全論			3前		2		○			
国際環境保全論			3後		2		○			
環境技術論			3後		1		○			
企業と環境法	3後		1		○					

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
環境系科目	地産地消とブランディング	3後		2			○		
	生態系観察演習	3後		1			○		
	環境測定演習	4前		1			○		
	地域循環共生圏	4前		2			○		
	小計 (15科目)	—	2	24	0				
専門展開科目 健康系科目	健康と栄養	2前		2			○		
	スポーツビジネス論	2後		2			○		
	健康デザイン論	2後		2			○		
	健康経営概論	3前	2				○		
	保健医療データマイニング	3前		2			○		
	アンチエイジングとストリートダンス	3前		1			○		
	公共交通政策と健康	3前		2			○		
	スポーツとからだのしくみ	3後		2			○		
	ヘルスプロモーション演習	3後		1			○		
	こどもの健康と地域社会	3後		2			○		
	ユニバーサルデザインと暮らし	3後		2			○		
	eスポーツ論	3後		2			○		
	健康とメンタルコンディショニング	4前		2			○		
	ネイチャーアクティビティ	4前		1			○		
小計 (14科目)	—	2	23	0					
地域 活性 科目	地域共創実践論	2後		2				○	○
	地域共創プロジェクト	3前		1				○	○
	地域社会と経済	3後		2				○	○

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
地域 活性化 科目	地域づくり論Ⅰ（地域ブランド）	3後		2				○	○
	地域づくり論Ⅱ（コミュニティビジネス）	4前		2				○	○
	地域づくり論Ⅲ（情報と地域経営）	4後		2				○	○
	地域企業論Ⅰ（ビジネスイノベーション）	3後		2				○	○
	地域企業論Ⅱ（事業承継）	4前		2				○	○
	グリーンビジネス論	3後		2				○	○
	健康づくりと地域発展	3前		2				○	○
小計（10科目）	—	0	19	0					
専門 展開 科目	連携企業PBL演習Ⅰ（課題発見）	2前	1					○	
	連携企業PBL演習Ⅱ（課題解決へのプロセス）	2後	1					○	
	連携企業PBL演習Ⅲ（解決策の実践）	3前	1					○	
	インターンシップⅠ	2前	1					○	○
	インターンシップⅡ	2後	1					○	○
	連携企業PBL実習	3前		3				○	○
	小計（6科目）	—	5	3	0				
卒業 研究 科目	基礎ゼミⅠ	3前	1					○	○
	基礎ゼミⅡ	3後	1					○	○
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1					○	○
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1					○	○
	卒業論文	4通	4						○
小計（5科目）	—	8	0	0					

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。

②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。

③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。

④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とディプロマ・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			DP			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2		○			
	日本語Ⅱ	1後		2		○			
	日本語Ⅲ	2前		2		○			
	言葉と文化（日本語）Ⅰ	2前		1		○			
	言葉と文化（日本語）Ⅱ	2後		1		○			
	小計（5科目）	—	0	8	0				
合計（167科目）		—	57	226	4				

## 【総合経済学部総合経済学科のディプロマ・ポリシー】

- ①地域経済を支えるリーダーを目指し、自分自身の考えを持ち、目標に向かって能動的に課題に取り組むことのできる主体性や積極性を有している。また、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。
- ②経済学、経営学に関する基本的知識を修得しているとともに、環境、健康等についての喫緊な社会問題や情報リテラシー及び社会調査の手法に関する専門的知識、技能を身につけている。
- ③地域経済を発展させるために地域社会の諸課題を発見・理解し、解決に向けた提案や活動ができる課題発見・課題解決能力を身につけている。
- ④企業や自治体と相互に補完できる良好な関係を築き、地域経済の発展や活力促進のため、実現可能な目標を設定し、その目標を達成するための行動計画を立案、遂行できる。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

【資料】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP												
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦						
基礎科目	スポーツ	1前	1				○											
	スポーツ理論	1後		2			○											
	英語Ⅰ	1前	1				○											
	英語Ⅱ	1後	1				○											
	英語Ⅲ	2前	1				○											
	英語Ⅳ	2後		1			○											
	言葉と文化（英語）Ⅰ	2前		1			○											
	言葉と文化（英語）Ⅱ	2後		1			○											
	言葉と文化（中国語）Ⅰ	1前		1			○											
	言葉と文化（中国語）Ⅱ	1後		1			○											
	言葉と文化（英語）Ⅲ	3前		1			○											
	言葉と文化（英語）Ⅳ	3後		1			○											
	言葉と文化（中国語）Ⅲ	2前		1			○											
	言葉と文化（中国語）Ⅳ	2後		1			○											
	コンピュータ・リテラシー	1前	1				○											
	学習方法演習Ⅰ	1前	1				○	○										
	学習方法演習Ⅱ	1後	1				○	○										
	基礎演習Ⅰ	2前	1				○	○										
	基礎演習Ⅱ	2後	1				○	○										
小計（19科目）	—	—	9	11	0													

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP								
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
主題科目	ボランティア入門	1前	2					○						
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1		○		○						
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1		○		○						
	美術	1後		2				○						
	健康科学	1前		2				○						
	生命科学	3後		2				○						
	自然科学	2後		2				○						
	基礎数学	1前		2				○						
	環境学	2前	2					○						
	人文地理	1後		2				○						
	心理学Ⅰ	1前		2				○						
	心理学Ⅱ	1後		2				○						
	コミュニケーション演習	2後		1				○						
	白山市の自然と文化	2後		2				○						
	社会福祉概論	1前		2				○						
	介護福祉論	3前		2				○						
	哲学	1後		2				○						
	東洋史	4後		2				○						
	西洋史	4前		2				○						
	政治学	2後		2				○						
法学Ⅰ	2前		2				○							
法学Ⅱ	2後		2				○							

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを实践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要な性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP								
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
主題科目	日本文学	2前		2				○						
	日本文化論	1後		2				○						
	小計 (24科目)	—	4	41	0									
専門基本科目	総合経済学入門	1前	2						○					
	ミクロ経済学Ⅰ (完全競争市場)	1後	2						○					
	ミクロ経済学Ⅱ (不完全競争市場)	2前	2						○					
	マクロ経済学Ⅰ (ケインズ経済学と経済政策)	1後	2						○					
	マクロ経済学Ⅱ (開放経済体系と長期モデル)	2前	2						○					
	経済数学	1後		2					○					
	北陸の経済産業史	1後		2					○					
	持続可能な開発とSDGs論	1後	1						○					
	金融論	2前		2					○					
	情報政策論	2後		2					○					
	経営学概論	1前	2						○					
	簿記会計	1前		2					○					
	社会学概論	1前	2						○					
	社会調査法	1後	2						○					
	社会調査演習	2前		1					○					
メディア論	2前		2					○						
ジェンダー論	2後		2					○						

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP							
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
専門基本科目	国際社会学	2後		2					○				
	統計学	1前	2						○				
	データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）	1後	2						○				
	データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）	2前	2						○				
	IoTとデジタルマーケティング	1後		2					○				
	ビジネスデザイン演習	2前		1					○				
	ICTと情報セキュリティ	2後		2					○				
	Webプログラミング	2後		1					○				
	デジタルパフォーミング演習	2後		1					○				
	データ表現演習	3前		1					○				
	AI戦略論	3後		2					○				
	ITパスポートⅠ（ストラテジ系）	3前			2								
	ITパスポートⅡ（テクノロジー系）	3後			2								
小計（30科目）	—	23	27	4									
専門展開科目	経済統計学	2前		2					○				
	地域経済論	2前	2						○				
	産業組織論	2前		2					○				
	地域共創論	2前		2					○				
	財政学	2前		2					○				
	経済情報論	2後		2					○				
	国際経済論	2後		2					○				
	地方財政学	2後		2					○				
	計量経済学	3前		2					○				
公共経済論	3前		2					○					

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要な性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP						
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
専門展開科目 経済学系科目	経済開発論	3前		2						○		
	環境経済論	3前		2						○		
	リーダーシップ論	3前		2						○		
	経済政策論	3前		2						○		
	労働経済論	3前		2						○		
	商法・会社法	2前		2						○		
	民法	3前		2						○		
	行政学	3前		2						○		
	政治社会学	3後		2						○		
	社会保障論	3後		2						○		
	医療経済学	3前		1						○		
	行政法	3後		2						○		
小計(22科目)	—	2	41	0								
専門展開科目 経営学系科目	マーケティング論	1後	2							○		
	経営組織論	2前		2						○		
	企業の社会的責任	2前		2						○		
	消費者行動論	2前		2						○		
	企業論	2後		2						○		
	経営戦略論	2後		2						○		
	経営管理論	2後		2						○		
	中小企業経営論	2後		2						○		
	ベンチャービジネス論	3前		2						○		
	マーケティングリサーチ	3前		2						○		

**【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】**

①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを实践できる能力を育む科目を設置する。

②現代社会における諸活動に必要な性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。

③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。

④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。

⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。

⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。

⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP						
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
経営学系科目	IoTとロジスティクス	3後		1						○		
	ファイナンシャル・マネジメント	4前		2						○		
	ファイナンシャルプランニング基礎	1後		1						○		
	ファイナンシャルプランニング実務演習	2前		1						○		
	財務会計論	2前		2						○		
	管理会計論	2後		2						○		
	税務会計論	4前		2						○		
	小計 (17科目)	—	2	29	0							
専門展開科目	環境系科目	食と農の経済学	2前		2					○		
		環境マネジメント	2前		2					○		
		環境政策論	2後	2						○		
		エコライフ論	3前		2					○		
		都市環境計画	3前		2					○		
		廃棄物・再生資源論	3前		2					○		
	環境系科目	自然再生論	3前		2					○		
		生物多様性保全論	3前		2					○		
		国際環境保全論	3後		2					○		
		環境技術論	3後		1					○		
		企業と環境法	3後		1					○		
		地産地消とブランディング	3後		2					○		
生態系観察演習	3後		1					○				

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要な性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP						
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
環境系科目	環境測定演習	4前		1						○		
	地域循環共生圏	4前		2						○		
	小計 (15科目)	—	2	24	0							
専門展開科目	健康系科目	健康と栄養	2前		2					○		
		スポーツビジネス論	2後		2					○		
		健康デザイン論	2後		2					○		
		健康経営概論	3前	2						○		
		保健医療データマイニング	3前		2					○		
		アンチエイジングとストリートダンス	3前		1					○		
		公共交通政策と健康	3前		2					○		
		スポーツとからだのしくみ	3後		2					○		
		ヘルスプロモーション演習	3後		1					○		
		こどもの健康と地域社会	3後		2					○		
		ユニバーサルデザインと暮らし	3後		2					○		
		eスポーツ論	3後		2					○		
		健康とメンタルコンディショニング	4前		2					○		
		ネイチャーアクティビティ	4前		1					○		
小計 (14科目)	—	2	23	0								
地域活性科目	地域共創実践論	2後		2							○	○
	地域共創プロジェクト	3前		1							○	○
	地域社会と経済	3後		2							○	○
	地域づくり論 I (地域ブランド)	3後		2							○	○

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP							
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
地域 活 性 科 目	地域づくり論Ⅱ（コミュニティビジネス）	4前		2							○	○	
	地域づくり論Ⅲ（情報と地域経営）	4後		2							○	○	
	地域企業論Ⅰ（ビジネスイノベーション）	3後		2							○	○	
	地域企業論Ⅱ（事業承継）	4前		2							○	○	
	グリーンビジネス論	3後		2							○	○	
	健康づくりと地域発展	3前		2							○	○	
	小計（10科目）	—	0	19	0								
	専 門 展 開 科 目	連携企業PBL演習Ⅰ（課題発見）	2前	1								○	○
		連携企業PBL演習Ⅱ（課題解決へのプロセス）	2後	1								○	○
		連携企業PBL演習Ⅲ（解決策の実践）	3前	1								○	○
インターンシップⅠ		2前	1								○	○	
インターンシップⅡ		2後	1								○	○	
連携企業PBL実習		3前		3							○	○	
小計（6科目）		—	5	3	0								
卒 業 研 究 科 目	基礎ゼミⅠ	3前	1								○	○	
	基礎ゼミⅡ	3後	1								○	○	
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1								○	○	
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1								○	○	
	卒業論文	4通	4								○	○	
	小計（5科目）	—	8	0	0								

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

# 総合経済学部総合経済学科の教育課程とカリキュラム・ポリシーとの対応表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			CP								
			必修	選択	自由	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2			○							
	日本語Ⅱ	1後		2			○							
	日本語Ⅲ	2前		2			○							
	言葉と文化（日本語）Ⅰ	2前		1			○							
	言葉と文化（日本語）Ⅱ	2後		1			○							
	小計（5科目）	—	0	8	0									
合計（167科目）		—	57	226	4									

## 【総合経済学部総合経済学科のカリキュラム・ポリシー】

- ①初年次から2年次にかけて、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる能力を育む科目を設置する。
- ②現代社会における諸活動に必要性の高い基礎的事項の修得を目的に、基礎科目群を設置する。
- ③地域経済のリーダーとしての資質と豊かな人間性の醸成、地域社会・地域交流、人文・社会・自然等に関する基本的理解を深めるため、主題科目群を設置する。
- ④経済学、経営学を中心に、情報リテラシー及び社会調査の手法に関する基本的な学修を行うことを目的に、専門基本科目群を設置する。
- ⑤経済学、経営学を中心に環境、健康に関する専門的な知識・技能等の修得を目的に、専門展開科目群を設置する。
- ⑥教養と専門知識を総合した多面的な観点から地域経済を発展させるための課題発見解決能力を身につけ、また地域社会の一員として役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。
- ⑦企業や自治体等地域社会での体験を通じて、経済の発展に寄与できる実践力やコミュニケーション能力に加え、新たな課題を発見、解決できる能力を身につけるため、実習科目を設置する。

## 金城大学総合経済学部連携企業一覧

No.	企業名	地区	業種
1	イオンモール株式会社(イオンモール白山)	白山市	小売業
2	株式会社クスリのアオキ	白山市	小売業
3	株式会社フクズミ	白山市	小売業
4	株式会社ベスト家具(リーファナカガワ)	白山市	小売業
5	株式会社ホンダサロン石川	白山市	小売業
6	株式会社歯愛メディカル	白山市	小売業
7	松任市農業協同組合	白山市	金融・保険業
8	一般社団法人FSVスポーツアカデミー	白山市	対個人サービス業
9	株式会社天祥閣	白山市	対個人サービス業
10	北崎自動車工業株式会社	白山市	対個人サービス業
11	アイナックス稲本株式会社	白山市	製造業
12	加賀味噌食品工業協業組合	白山市	製造業
13	ニッコー株式会社	白山市	製造業
14	ホクショー株式会社	白山市	製造業
15	北陸化成株式会社	白山市	製造業
16	賀谷ゼロファン株式会社	白山市	製造業
17	株式会社明石合銅	白山市	製造業
18	株式会社アクトリー	白山市	製造業
19	株式会社トランテックス	白山市	製造業
20	株式会社金沢シール	白山市	製造業
21	株式会社朝日電機製作所	白山市	製造業
22	高松機械工業株式会社	白山市	製造業
23	株式会社ケイエスディ	白山市	情報通信業
24	株式会社あさがおテレビ	白山市	情報通信業
25	株式会社グランドホテル白山	白山市	宿泊業
26	株式会社六星	白山市	農林漁業・鉱業
27	白山石川医療企業団	白山市	医療・福祉業
28	社会福祉法人佛子園	白山市	医療・福祉業
29	鶴来商工会	白山市	その他
30	白山市	白山市	その他

# 金城大学総合経済学部連携企業一覧

No.	企業名	地区	業種
31	白山商工会	白山市	その他
32	白山商工会議所	白山市	その他
33	美川商工会	白山市	その他
34	株式会社シ・ピ・エル	白山市	その他
35	株式会社トスマク・アイ	白山市	その他
36	石川県信用農業協同組合連合会	金沢市	金融・保険業
37	石川県農業協同組合中央会	金沢市	金融・保険業
38	全国共済農業協同組合連合会石川県本部	金沢市	金融・保険業
39	金沢信用金庫	金沢市	金融・保険業
40	株式会社北陸銀行	金沢市	金融・保険業
41	第一生命保険株式会社	金沢市	金融・保険業
42	野村證券株式会社金沢支店	金沢市	金融・保険業
43	株式会社エイム	金沢市	対個人サービス業
44	株式会社エクスプレッションズ	金沢市	対個人サービス業
45	株式会社フラワーガーデン	金沢市	対個人サービス業
46	株式会社アドバンス北陸サービス	金沢市	対事業所サービス業
47	北陸総合警備保障株式会社	金沢市	対事業所サービス業
48	近畿日本ツーリスト株式会社金沢支店	金沢市	対事業所サービス業
49	株式会社アーバンホーム	金沢市	不動産業
50	株式会社アイ・オー・データ機器	金沢市	製造業
51	株式会社金太	金沢市	製造業
52	タマダ株式会社	金沢市	製造業
53	株式会社辻鉄	金沢市	製造業
54	伸晃化学株式会社	金沢市	製造業
55	東亜電機工業株式会社	金沢市	製造業
56	株式会社きんでん中部支社	金沢市	情報通信業
57	株式会社石川コンピュータ・センター	金沢市	情報通信業
58	三谷産業株式会社	金沢市	情報通信業
59	株式会社北陸ソフト開発	金沢市	情報通信業
60	株式会社ホライズン・ホテルズ (ANAクラウンプラザホテル金沢)	金沢市	宿泊業

# 金城大学総合経済学部連携企業一覧

No.	企業名	地区	業種
61	株式会社オークラニックホテルマネジメント金沢 (ホテル日航金沢)	金沢市	宿泊業
62	株式会社金沢ニューグランドホテル	金沢市	宿泊業
63	全国農業協同組合連合会石川県本部	金沢市	農林漁業・鉱業
64	株式会社北國新聞社	金沢市	広告出版業
65	ヨシダ印刷株式会社	金沢市	広告出版業
66	金剛株式会社	金沢市	卸売業
67	株式会社双星設計	金沢市	建設業
68	黒崎産業株式会社	金沢市	建設業
69	兼六建設株式会社	金沢市	建設業
70	島屋建設株式会社	金沢市	建設業
71	高田舗装株式会社	金沢市	建設業
72	岸建販株式会社	金沢市	建設業
73	北川瀝青工業株式会社	金沢市	建設業
74	オリジナルサポート株式会社	金沢市	医療・福祉業
75	株式会社スパーテル	金沢市	医療・福祉業
76	株式会社宗重商店	金沢市	その他
77	石川県中小企業家同友会	金沢市	その他
78	セコム北陸株式会社	金沢市	対事業所サービス業
79	小松市農業協同組合	小松市	金融・保険業
80	ヨシダ自動車株式会社	小松市	対個人サービス業
81	コマニー株式会社	小松市	製造業
82	ライオンパワー株式会社	小松市	製造業
83	小松プラント株式会社	小松市	製造業
84	小松鋼機株式会社	小松市	卸売業
85	株式会社丸西組	小松市	建設業
86	萩野塗装株式会社	小松市	建設業
87	医療法人社団田谷会	小松市	医療・福祉業
88	株式会社ビルカン	小松市	その他
89	小松市	小松市	その他
90	小松商工会議所	小松市	その他

# 金城大学総合経済学部連携企業一覧

No.	企業名	地区	業種
91	株式会社コムレイド	小松市	その他
92	株式会社アース	加賀地区	飲食サービス業
93	株式会社絹川商事	加賀地区	不動産業
94	ウエルド株式会社	加賀地区	建設業
95	小松マテーレ株式会社	加賀地区	製造業
96	前田製菓株式会社	加賀地区	製造業
97	加賀商工会議所	加賀地区	その他
98	野々市市	加賀地区	その他
99	株式会社スギヨ	能登地区	製造業
100	株式会社加賀屋	能登地区	宿泊業
101	珠洲市	能登地区	その他
102	珠洲商工会議所	能登地区	その他
103	七尾市	能登地区	その他
104	輪島市	能登地区	その他
105	輪島商工会議所	能登地区	その他
106	コクヨ北陸新潟販売株式会社	富山市	卸売業
107	石友ホーム株式会社	富山市	建設業
108	株式会社トップシーン	関東地区	その他

## 総合経済学部就職支援スケジュール

＜令和6年度～令和9年度＞

実施時期		支援行事等名称
1年次	前期	キャリア開発講座①
	後期	キャリア開発講座②
2年次	前期	キャリア開発講座③
		接遇・マナー講座①
	後期	キャリア開発講座④
		キャリア開発講座⑤
通年	公務員採用試験対策講座（教養試験対策）	
3年次	前期	就職ガイダンス①（就職活動準備）
		就職活動基礎講座①（自己分析）
		就職活動基礎講座②（業界研究）
		接遇・マナー講座②
	後期	就職ガイダンス②（就職活動の進め方）
		内定者報告会
		個人面談・相談会①
		個人面談・相談会②
		就職活動基礎講座③（履歴書・エントリーシート）
		就職活動基礎講座④（面接）
		面接練習会
		履歴書用写真撮影
		小論文対策講座
	個別履歴書記入アドバイス	
通年	公務員採用試験対策講座（教養試験対策・専門試験対策）	
4年次	前期	就職ガイダンス③（就職活動の状況確認）
	通年	進路個別相談
		個別面接練習
		個別履歴書記入アドバイス

総合経済学部総合経済学科カリキュラム表

	1年				2年				3年				4年				
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
基礎科目	スポーツ	1	スポーツ理論	2	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1	言葉と文化(英語)Ⅲ	1	言葉と文化(英語)Ⅳ	1					
	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	言葉と文化(英語)Ⅰ	1	言葉と文化(英語)Ⅱ	1									
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	1	言葉と文化(中国語)Ⅱ	1	言葉と文化(中国語)Ⅲ	1	言葉と文化(中国語)Ⅳ	1									
	コンピュータ・リテラシー	1	学習方法演習Ⅱ	1	基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1									
	学習方法演習Ⅰ	1															
主題科目	ボランティア入門	2	ボランティア活動Ⅰ	1	ボランティア活動Ⅱ ※通年	-	ボランティア活動Ⅱ	1	介護福祉論	2	生命科学	2	西洋史	2	東洋史	2	
	ボランティア活動Ⅰ ※通年	-	美術	2	環境学	2	自然科学	2									
	健康科学	2	人文地理	2	法学Ⅰ	2	コミュニケーション演習	1									
	基礎数学	2	心理学Ⅱ	2	日本文学	2	白山市の自然と文化	2									
	心理学Ⅰ	2	哲学	2			政治学	2									
	社会福祉概論	2	日本文化論	2			法学Ⅱ	2									
専門基本科目	経済学系	総合経済学入門	2	ミクロ経済学Ⅰ(完全競争市場)	2	ミクロ経済学Ⅱ(不完全競争市場)	2	情報政策論	2								
				マクロ経済学Ⅰ(ケインズ経済学と経済政策)	2	マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2										
				経済数学	2												
				持続可能な開発とSDGs論	1												
	学経営系	経営学概論	2	北陸の経済産業史	2	金融論	2										
		簿記会計	2														
	学社会系	社会学概論	2	社会調査法	2	メディア論	2	国際社会学	2								
						社会調査演習	1	ジェンダー論	2								
	シテラ情報系	統計学	2	データサイエンスⅠ(データサイエンスの基礎)	2	データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2	ICTと情報セキュリティ	2	データ表現演習	1	AI戦略論	2				
				IoTとデジタルマーケティング	2	ビジネスデザイン演習	1	Webプログラミング	1	ITパスポートⅠ(ストラテジ系)	2	ITパスポートⅡ(テクノロジ系)	2				
専門展開科目	経済学系			経済統計学	2	経済情報論	2	計量経済学	2	政治社会学	2						
				地域経済論	2	国際経済論	2	公共経済論	2	社会保障論	2						
				産業組織論	2	地方財政学	2	経済開発論	2	行政法	2						
				地域共創論	2			環境経済論	2								
				財政学	2			リーダーシップ論	2								
				商法・会社法	2			経済政策論	2								
	経営学系			マーケティング論	2	経営組織論	2	企業論	2	ベンチャービジネス論	2	IoTとロジスティクス	1	ファイナンシャル・マネジメント	2		
				ファイナンシャルプランニング基礎	1	企業の社会的責任	2	経営戦略論	2	マーケティングリサーチ	2			税務会計論	2		
						消費者行動論	2	経営管理論	2								
						ファイナンシャルプランニング実務演習	1	中小企業経営論	2								
環境系					食と農の経済学	2	環境政策論	2	エコライフ論	2	国際環境保全論	2	環境測定演習	1			
					環境マネジメント	2			都市環境計画	2	環境技術論	1	地域循環共生圏	2			
									廃棄物・再生資源論	2	企業と環境法	1					
									自然再生論	2	地産地消とブランディング	2					
									生物多様性保全論	2	生態系観察演習	1					
健康系					健康と栄養	2	スポーツビジネス論	2	健康経営概論	2	スポーツとからだのしくみ	2	健康とメンタルコンディショニング	2			
							健康デザイン論	2	保健医療データマイニング	2	ヘルスプロモーション演習	1	ネイチャーアクティビティ	1			
									アンチエイジングとストリートダンス	1	こどもの健康と地域社会	2					
									公共交通政策と健康	2	ユニバーサルデザインと暮らし	2					
地域目活性							地域共創実践論	2	地域共創プロジェクト	1	地域社会と経済	2	地域づくり論Ⅱ(コミュニティビジネス)	2	地域づくり論Ⅲ(情報と地域経営)	2	
									健康づくりと地域発展	2	地域づくり論Ⅰ(地域ブランド)	2	地域企業論Ⅱ(事業承継)	2			
											地域企業論Ⅰ(ビジネスイノベーション)	2					
LP企連 目B業携					連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	1	連携企業PBL演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)	1	連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	1							
					インターンシップⅠ	1	インターンシップⅡ	1	連携企業PBL実習	3							
科研卒 目究業									基礎ゼミⅠ	1	基礎ゼミⅡ	1	卒業研究ゼミⅠ	1	卒業研究ゼミⅡ	1	
													卒業論文 ※通年	-	卒業論文	4	
		14/11		13/21		14/37		5/45		4/50		1/38		1/16		5/4	

卒業研究科目

基礎ゼミⅠ  
基礎ゼミⅡ

卒業研究ゼミⅠ  
卒業研究ゼミⅡ  
卒業論文

地域経済の活性化に貢献する持続可能なまちづくりを実現できる能力（実践知）

地域活性科目

地域共創実践論  
地域共創プロジェクト  
地域社会と経済  
地域づくり論Ⅰ（地域ブランド）  
地域づくり論Ⅱ（コミュニティビジネス）

地域づくり論Ⅲ（情報と地域経営）  
地域企業論Ⅰ（ビジネスイノベーション）  
地域企業論Ⅱ（事業承継）  
グリーンビジネス論  
健康づくりと地域発展

連携企業PBL科目

連携企業PBL演習Ⅰ（課題発見）  
連携企業PBL演習Ⅱ（課題解決へのプロセス）  
連携企業PBL演習Ⅲ（解決策の実践）

インターンシップⅠ  
インターンシップⅡ  
連携企業PBL実習

社会を多面的に捉える能力（総合知）

環境系科目

食と農の経済学  
環境マネジメント  
環境政策論  
エコライフ論  
企業と環境法  
都市環境計画  
廃棄物・再生資源論  
国際環境保全論  
環境技術論

環境経済論

経済統計学  
地域経済論  
地域共創論  
経済情報論  
国際経済論  
地方財政学  
計量経済学  
経済開発論

労働経済論  
財政学  
公共経済論  
産業組織論

リーダーシップ論  
経済政策論  
商法・会社法  
民法  
行政学  
政治社会学  
社会保障論  
行政法

マーケティング論  
経営組織論  
企業の社会的責任  
消費者行動論  
企業論  
経営戦略論  
経営管理論  
中小企業経営論  
ベンチャービジネス論

マーケティングリサーチ  
IoTとロジスティクス  
ファイナンシャル・マネジメント  
ファイナンシャルプランニング基礎  
ファイナンシャルプランニング実務演習  
財務会計論  
管理会計論  
税務会計論

医療経済学

スポーツビジネス論  
健康経営概論  
保健医療データマイニング  
公共交通政策と健康  
ユニバーサルデザインと暮らし

健康系科目

健康と栄養  
健康デザイン論  
アンチエイジングとストリートダンス  
スポーツとからだのしくみ  
ヘルスプロモーション演習  
こどもの健康と地域社会  
eスポーツ論  
健康とメンタルコンディショニング  
ネイチャーアクティビティ

経済学系科目

総合経済学入門  
ミクロ経済学Ⅰ（完全競争市場）  
ミクロ経済学Ⅱ（不完全競争市場）  
マクロ経済学Ⅰ（ケインズ経済学と経済政策）  
マクロ経済学Ⅱ（開放経済体系と長期モデル）  
経済数学  
情報政策論

経営学系科目

金融論  
経営学概論  
簿記会計  
北陸の経済産業史

持続可能な開発とSDGs論

地産地消とブランディング  
自然再生論  
生物多様性保全論  
生態系観察演習  
環境測定演習  
地域循環共生圏

国際社会学  
ジェンダー論

社会調査

社会学概論  
社会調査法  
社会調査演習  
メディア論

統計学

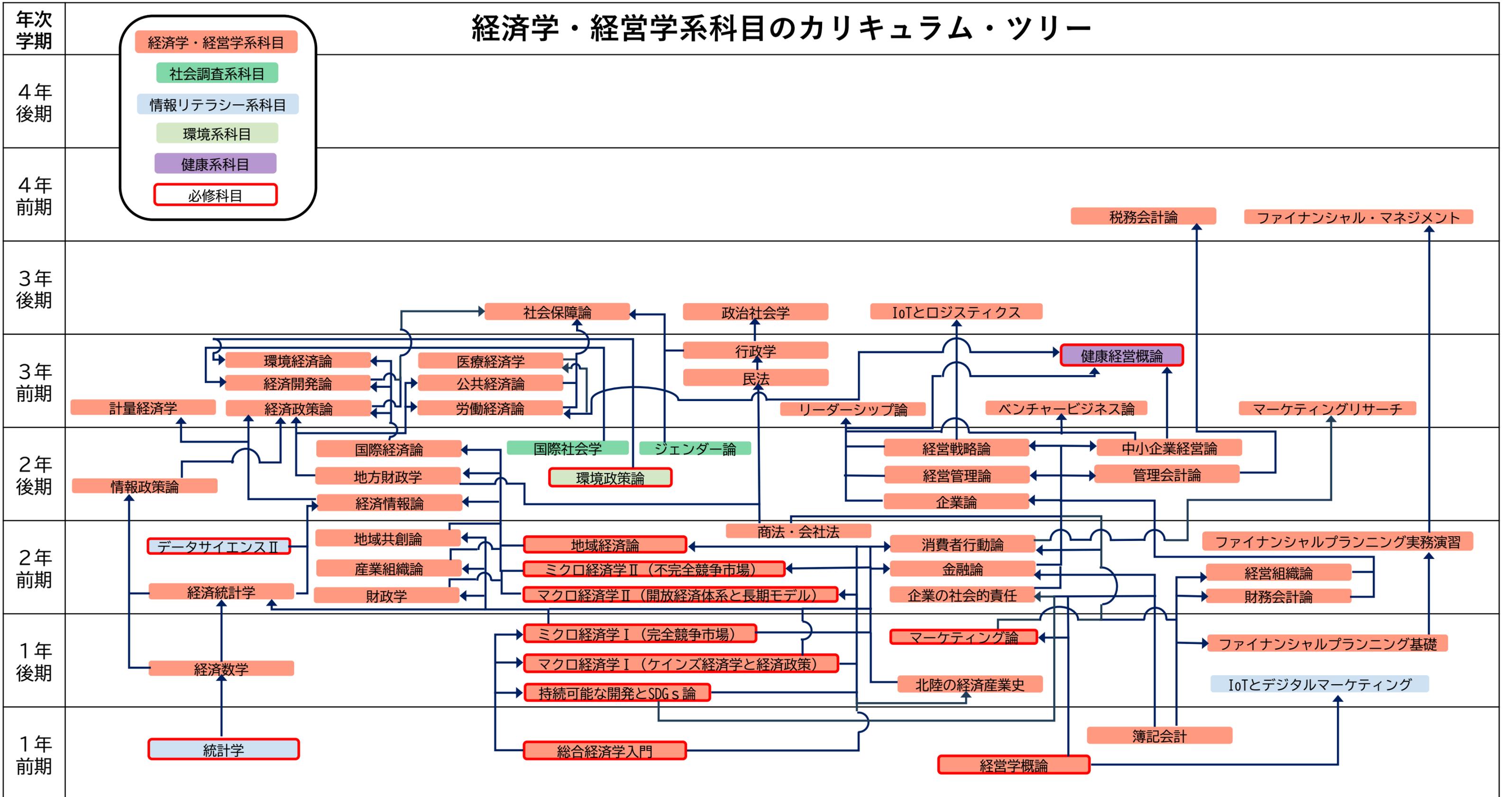
情報リテラシー

データサイエンスⅠ  
（データサイエンスの基礎）  
データサイエンスⅡ  
（経済・経営のためのビッグデータの分析）  
IoTとデジタルマーケティング  
ビジネスデザイン演習

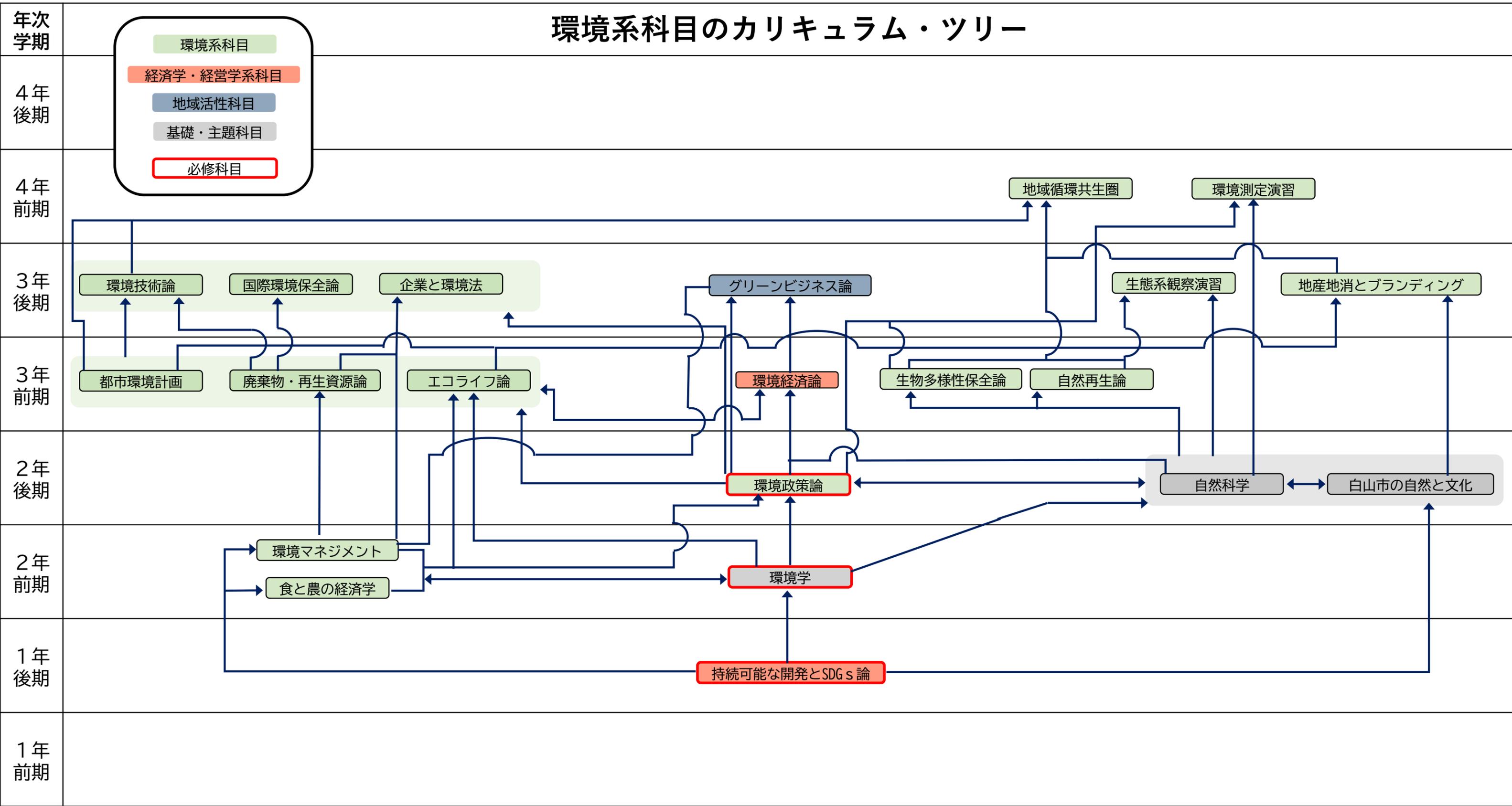
データ表現演習  
ICTと情報セキュリティ  
Webプログラミング  
デジタルパフォーマンス演習  
AI戦略論



# 経済学・経営学系科目のカリキュラム・ツリー



# 環境系科目のカリキュラム・ツリー



# 健康系科目のカリキュラム・ツリー

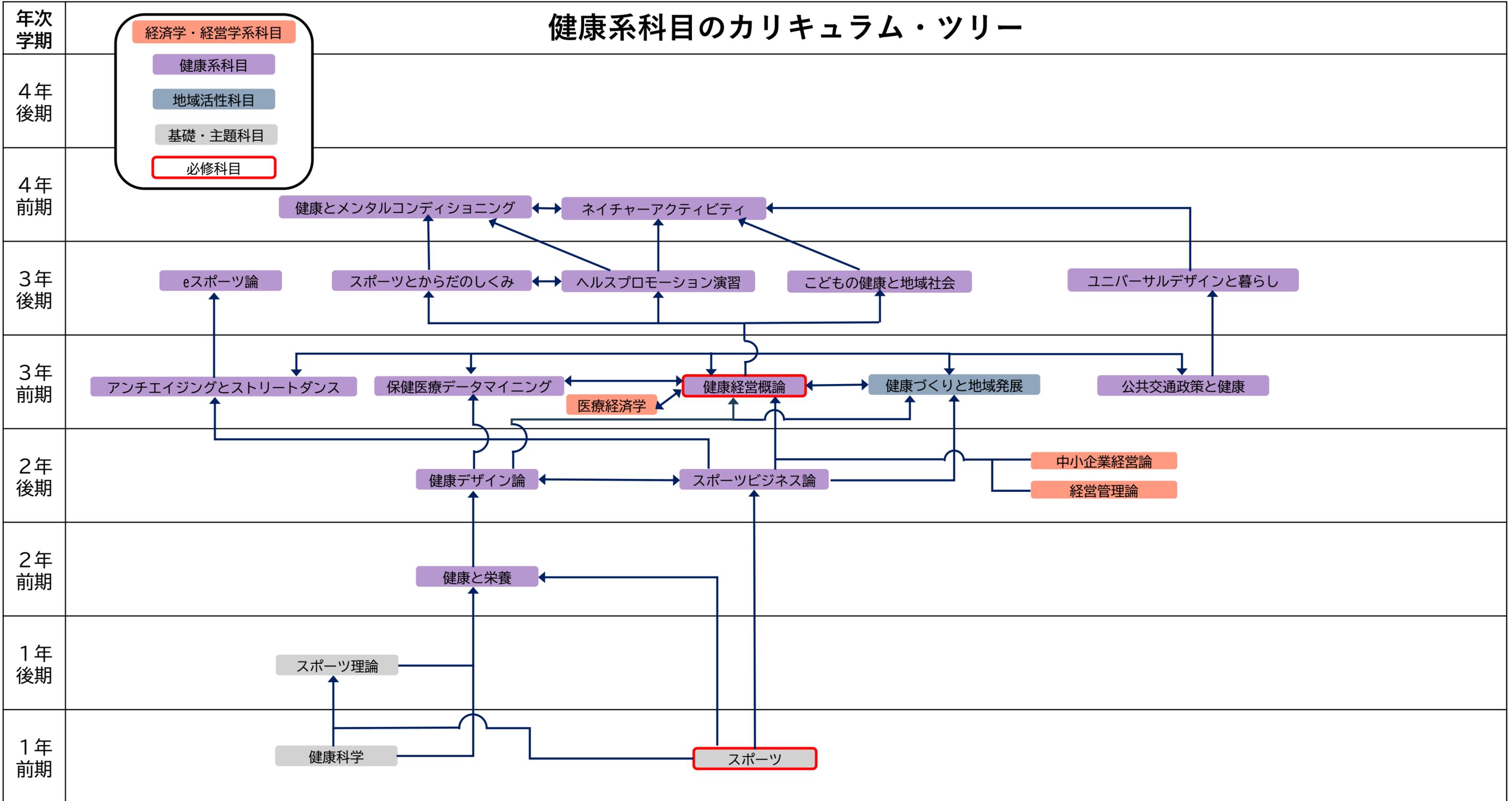
経済学・経営学系科目

健康系科目

地域活性科目

基礎・主題科目

必修科目



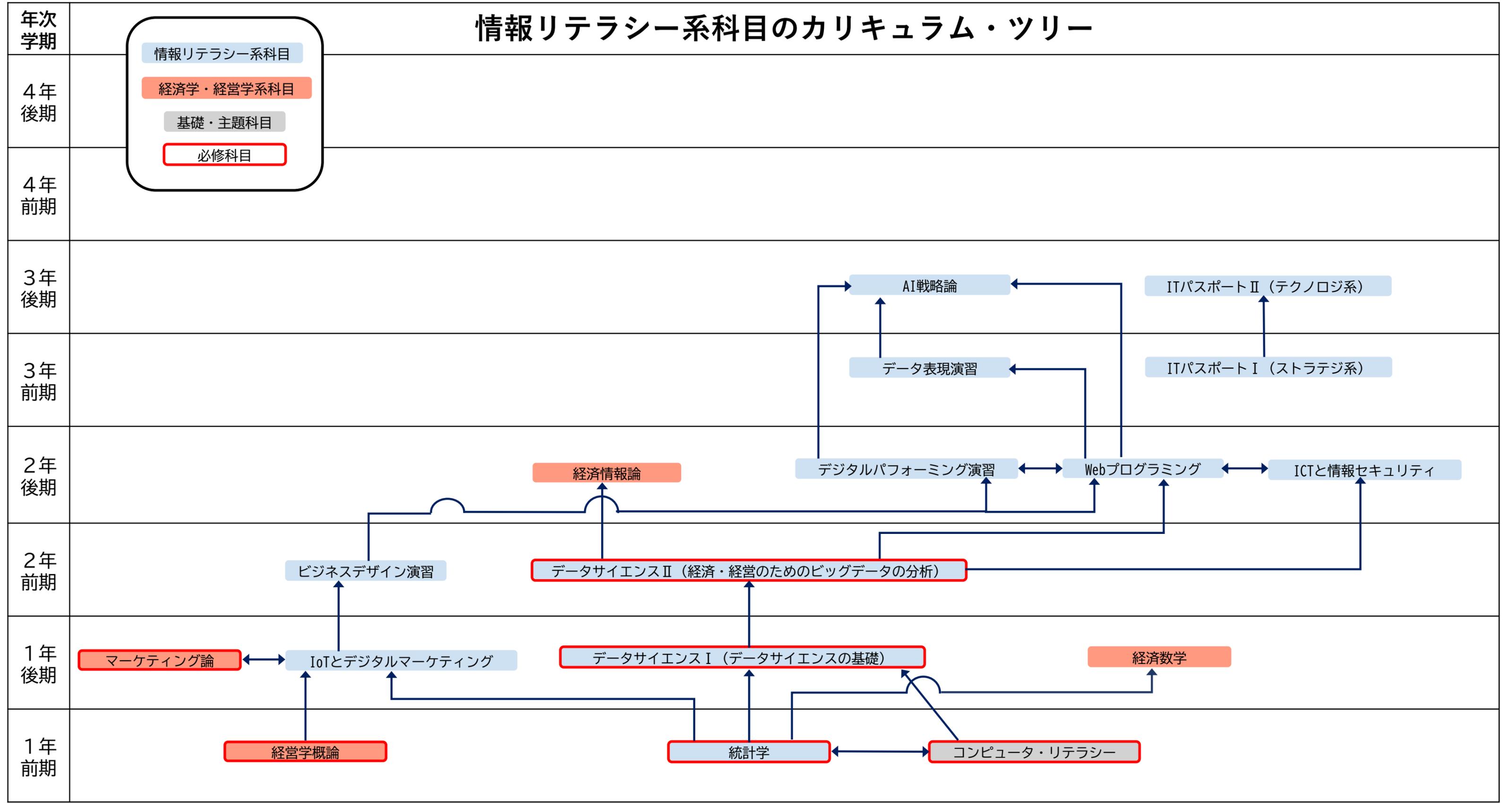
# 情報リテラシー系科目のカリキュラム・ツリー

情報リテラシー系科目

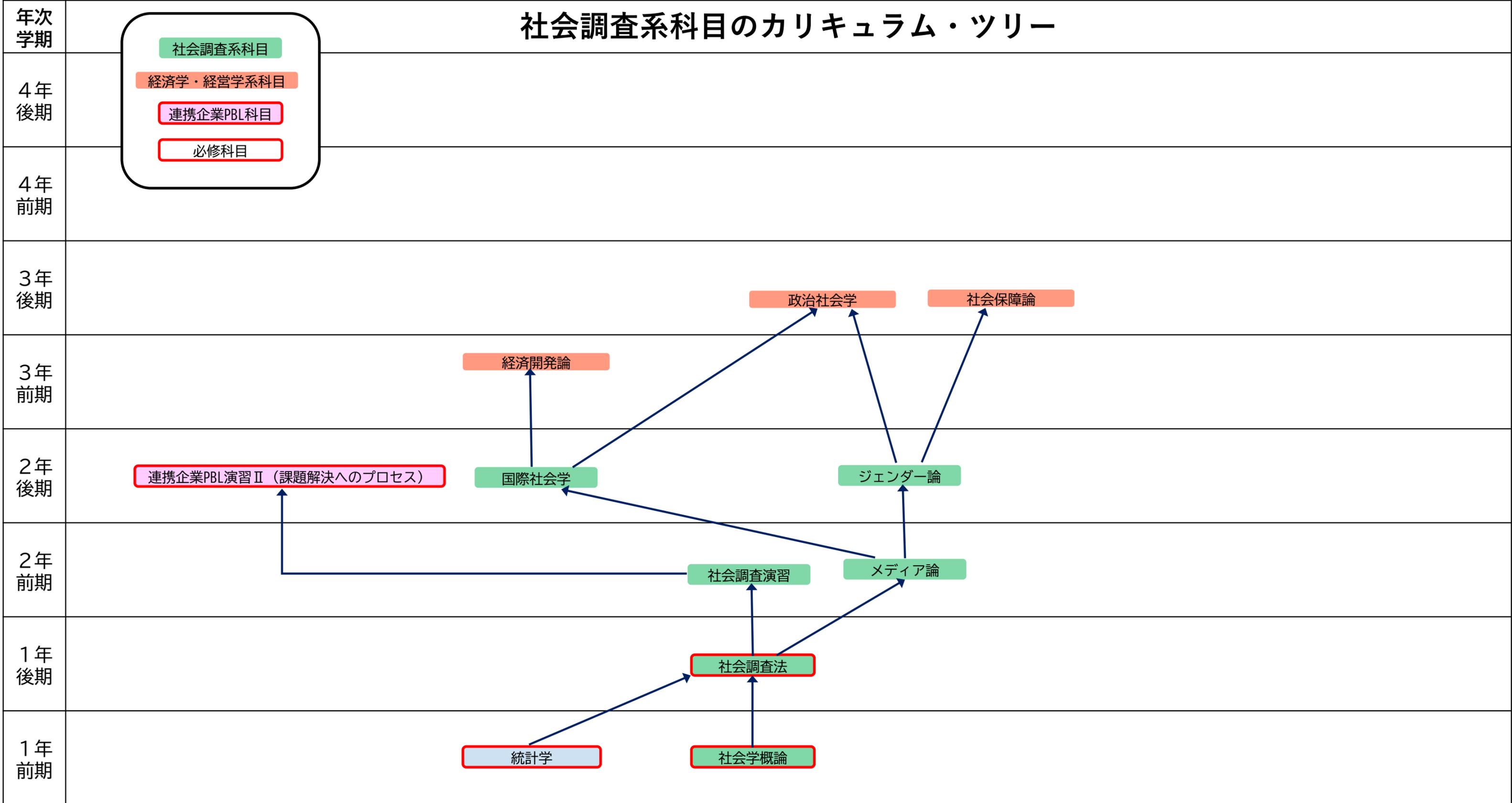
経済学・経営学系科目

基礎・主題科目

必修科目



# 社会調査系科目のカリキュラム・ツリー



総合経済学部総合経済学科 履修モデル(経済)

	1年				2年				3年				4年																		
	前期	必修	選択	後期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択										
基礎科目	スポーツ	1		英語Ⅱ	1		英語Ⅲ	1	基礎演習Ⅱ	1																					
	英語Ⅰ	1		言葉と文化(中国語)Ⅱ	1		基礎演習Ⅰ	1																							
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	1		学習方法演習Ⅱ	1																										
	コンピュータ・リテラシー	1																													
	学習方法演習Ⅰ	1																													
主題科目	ボランティア入門	2		ボランティア活動Ⅰ	1	環境学	2	政治学	2				西洋史	2	東洋史	2															
	ボランティア活動Ⅰ ※通年	-		日本文化論	2	法学Ⅰ	2	法学Ⅱ	2																						
	基礎数学	2																													
専門基本科目	総合経済学入門	2		ミクロ経済学Ⅰ(完全競争市場)	2	ミクロ経済学Ⅱ(不完全競争市場)	2	情報政策論	2																						
				マクロ経済学Ⅰ(ケインズ経済学と経済政策)	2	マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2																								
				経済数学	2																										
				持続可能な開発とSDGs論	1																										
学経営系	経営学概論	2		北陸の経済産業史	2																										
学社会系	社会学概論	2		社会調査法	2																										
シテラ情報系	統計学	2		データサイエンスⅠ(データサイエンスの基礎)	2	データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2																								
				IoTとデジタルマーケティング	2																										
専門展開科目	経済学系					経済統計学	2	経済情報論	2	計量経済学	2	政治社会学	2																		
						地域経済論	2	国際経済論	2	経済開発論	2	行政法	2																		
						地域共創論	2			リーダーシップ論	2																				
						財政学	2			経済政策論	2																				
	経営学系					マーケティング論	2			マーケティングリサーチ	2																				
	環境系						食と農の経済学	2	環境政策論	2																					
	健康系									健康経営概論	2																				
										保健医療データマイニング	2																				
地域目活性								地域共創実践論	2	地域共創プロジェクト	1	地域社会と経済	2	地域づくり論Ⅱ(コミュニティビジネス)	2																
												地域づくり論Ⅰ(地域ブランド)	2																		
L P 企連 目科 B 業携						連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	1	連携企業PBL演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)	1	連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	1																				
						インターンシップⅠ	1	インターンシップⅡ	1	連携企業PBL実習	3																				
科研卒 目業携									基礎ゼミⅠ	1	基礎ゼミⅡ	1	卒業研究ゼミⅠ	1	卒業研究ゼミⅡ	1	卒業論文	※通年	-	卒業論文	4										
1年前期単位数		14	3	1年後期単位数		13	10	2年前期単位数		14	10	2年後期単位数		5	12	3年前期単位数		4	18	3年後期単位数		1	8	4年前期単位数		1	4	4年後期単位数		5	2
		17				23				24				17				22				9				5				7	

【修得できる知識及び能力等】  
 社会科学分野の多角的な視点(特に経済学分野)から地域経済や地域社会の活性化について考えることができる知識や能力を身につける。「経済学系」及び「地域活性科目」の経済学領域の科目を中心に履修し、経済学や法学の基礎から専門領域までの理解を深め、同時に統計分析のスキルも身につける。さらに、自治体や企業と連携した地域共創社会の実現について実践的に学修していく。

総単位数 124

総合経済学部総合経済学科 履修モデル(経営)

	1年				2年				3年				4年									
	前期	必修	選択	後期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択	
基礎科目	スポーツ	1		スポーツ理論	2	英語Ⅲ	1	英語Ⅳ	1	言葉と文化(英語)Ⅲ	1	言葉と文化(英語)Ⅳ	1									
	英語Ⅰ	1		英語Ⅱ	1	言葉と文化(英語)Ⅰ	1	言葉と文化(英語)Ⅱ	1													
	コンピュータ・リテラシー	1		学習方法演習Ⅱ	1	基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1													
	学習方法演習Ⅰ	1																				
主題科目	ボランティア入門	2		心理学Ⅱ	2	環境学	2	コミュニケーション演習	1													
	心理学Ⅰ	2				法学Ⅰ	2	政治学	2													
専門基本科目	経済学	総合経済学入門	2	ミクロ経済学Ⅰ(完全競争市場)	2	ミクロ経済学Ⅱ(不完全競争市場)	2															
				マクロ経済学Ⅰ(ケインズ経済学と経済政策)	2	マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2															
				持続可能な開発とSDGs論	1																	
	学経営	経営学概論	2	北陸の経済産業史	2	金融論	2															
		簿記会計	2																			
	学社会	社会学概論	2	社会調査法	2																	
	シテラ	統計学	2	データサイエンスⅠ(データサイエンスの基礎)	2	データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2			データ表現演習	1											
				IoTとデジタルマーケティング	2																	
	専門展開科目	経済学系					地域経済論	2	地方財政学	2												
経営学系				マーケティング論	2	経営組織論	2	企業論	2	ベンチャービジネス論	2	IoTとロジスティクス	1	ファイナンシャル・マネジメント	2							
				ファイナンシャルプランニング基礎	1	ファイナンシャルプランニング実務演習	1	経営戦略論	2	マーケティングリサーチ	2			税務会計論	2							
						財務会計論	2	中小企業経営論	2													
環境系								環境政策論	2	エコライフ論	2	地産地消とブランディング	2									
健康系									スポーツビジネス論	2	健康経営概論	2										
地域目活性													地域づくり論Ⅰ(地域ブランド)	2	地域づくり論Ⅱ(コミュニティビジネス)	2						
												地域企業論Ⅰ(ビジネスイノベーション)	2	地域企業論Ⅱ(事業承継)	2							
L P 企 連 目 科 B 業 携							連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	1	連携企業PBL演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)	1	連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	1										
							インターンシップⅠ	1	インターンシップⅡ	1	連携企業PBL実習	3										
科研卒 目究業												基礎ゼミⅠ	1	基礎ゼミⅡ	1	卒業研究ゼミⅠ	1	卒業研究ゼミⅡ	1	卒業論文	4	
																卒業論文 ※通年	-	卒業論文	-			
		14 4		13 9		14 10		5 17		4 11		1 8		1 8		5 0						
		18		22		24		22		15		9		9		5						

【修得できる知識及び能力等】  
 社会科学分野の多角的な視点(特に経営学分野)から地域経済や地域社会の活性化について考えることができる知識や能力を身につける。「経営学系」及び「地域活性科目」の経営学領域の科目を中心に履修し、経営学の理論や企業・国への資金の流れ、北陸地域の経済事情等を学修する。また、マネジメントの基礎知識や企業組織の管理、IoTを活用したデジタルマーケティング、会計学の専門知識を身につける。さらに、自治体や企業と連携した地域ブランドの創出や地域経営について実践的に学修していく。

総単位数 124

## 総合経済学部総合経済学科 履修モデル(環境)

	1年				2年				3年				4年										
	前期	必修	選択	後期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択	前期	必修	選択	後期	必修	選択		
基礎科目	スポーツ	1		英語Ⅱ	1		英語Ⅲ	1		英語Ⅳ	1												
	英語Ⅰ	1		言葉と文化(中国語)Ⅱ	1		言葉と文化(英語)Ⅰ	1		言葉と文化(英語)Ⅱ	1												
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	1		学習方法演習Ⅱ	1		基礎演習Ⅰ	1		基礎演習Ⅱ	1												
	コンピュータ・リテラシー	1																					
	学習方法演習Ⅰ	1																					
主題科目	ボランティア入門	2		ボランティア活動Ⅰ	1		ボランティア活動Ⅱ ※通年	-		ボランティア活動Ⅱ	1		生命科学	2									
	ボランティア活動Ⅰ ※通年	-		日本文化論	2		環境学	2		自然科学	2												
	基礎数学	2								白山市の自然と文化	2												
専門基本科目	経済学	総合経済学入門	2		ミクロ経済学Ⅰ(完全競争市場)	2		ミクロ経済学Ⅱ(不完全競争市場)	2														
					マクロ経済学Ⅰ(ケインズ経済学と経済政策)	2		マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2														
					持続可能な開発とSDGs論	1																	
	学経営	経営学概論	2																				
	学社会	社会学概論	2		社会調査法	2		社会調査演習	1		国際社会学	2											
シテラ情報	統計学	2		データサイエンスⅠ(データサイエンスの基礎)	2		データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2		ICTと情報セキュリティ	2		データ表現演習	1		AI戦略論	2						
										Webプログラミング	1		ITパスポートⅠ(ストラテジ系)			ITパスポートⅡ(テクノロジ系)							
専門展開科目	経済学系						地域経済論	2		国際経済論	2		経済開発論	2									
													環境経済論	2									
	経営学系				マーケティング論	2								IoTとロジスティクス	1								
					ファイナンシャルプランニング基礎	1																	
	環境系							食と農の経済学	2		環境政策論	2		エコライフ論	2		国際環境保全論	2		環境測定演習	1		
								環境マネジメント	2					都市環境計画	2		環境技術論	1		地域循環共生圏	2		
														廃棄物・再生資源論	2		地産地消とブランディング	2					
														自然再生論	2		生態系観察演習	1					
	健康系							健康と栄養	2					健康経営概論	2								
地域目活性													地域共創プロジェクト	1		グリーンビジネス論	2				地域づくり論Ⅲ(情報と地域経営)	2	
L P 企 連 目 科 B 業 携							連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	1		連携企業PBL演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)	1		連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	1									
							インターンシップⅠ	1		インターンシップⅡ	1		連携企業PBL実習	3									
科研卒 目究業													基礎ゼミⅠ	1		基礎ゼミⅡ	1		卒業研究ゼミⅠ	1		卒業研究ゼミⅡ	1
																			卒業論文 ※通年	-		卒業論文	4
		14 3		13 5		14 8		5 14		4 19		1 13		1 3		5 2							
		17		18		22		19		23		14		4		7							

【修得できる知識及び能力等】  
 社会科学分野の多角的な視点(特に環境分野)から地域経済や地域社会の活性化について考えることができる知識や能力を身につける。「環境系科目」及び「地域活性科目」の環境領域の科目を中心に履修し、環境経済や環境政策、都市環境計画に関する専門知識を修得する。また、環境マネジメント、再生資源、グリーンビジネス等、環境と共生できる経済のあり方について具体的に学修するとともに、環境保全に関する知識や技術を身につける。さらに、自治体や企業と連携し、環境に配慮したビジネスの実現について実践的に学修していく。

総単位数 **124**



## 国際交流センターの留学生支援スケジュール

月	主な行事・取組
4月	留学生別科新入生受け入れ、履修指導
	第1回国際交流センター会議
5月	第1回留学生ミーティング
	・ビザの確認 ・授業履修状況等の確認面談
6月	留学生歓迎会
7月	第2回国際交流センター会議
	第2回留学生ミーティング
	・定期試験の注意事項説明
	・夏季休暇案内
	・日本語能力試験申込指導 ・留学生進路希望調査 ・留学生奨学金採用者選考面談
9月	日本語教員との懇談会（留学生別科）
	第3回国際交流センター会議
10月	第3回留学生ミーティング
	・授業履修状況等の確認面談
	・金城祭案内 ・日本語能力試験指導
12月	JLPT日本語能力試験 受験支援
	クリスマスパーティー開催支援
	留学生別科日本語会話力確認指導面談
1月	第4回国際交流センター会議
	第4回留学生ミーティング
	・定期試験の注意事項説明 ・留学生進路希望調査
	入国管理局諸手続（次年度入学予定の留学生の在留資格申請等）
随時	入国管理局所手続き（在籍留学生のビザ更新等）

その他日本人学生との交流事業

- ・留学生研修旅行

3年次編入学生の既修得単位読替表  
 (例：金城大学短期大学部ビジネス実務学科卒業生の場合)

既修得単位	
科目名称	単位数
経済学概論	2
会計実務演習Ⅰ	2
映像と音楽編集	1
スポーツと健康	2
インターンシップⅠ	1
個別認定の合計	8
個別認定対象外の合計	58
既修得単位数	66

総合経済学部総合経済学科読替		分類	備考
読替科目名称	単位数		
総合経済学入門	2	専基	必修
簿記会計	2	専基	選択
デジタルパフォーミング演習	1	専基	選択
スポーツとからだのしくみ	2	専展	選択
インターンシップⅠ	1	専展	必修
個別認定の合計	0	基礎	8
	0	主題	
	5	専基	
	3	専展	
包括認定(最大44単位)		34	
合計		42	

個別認定対象外の科目  
 (下記科目を基礎・主題科目群として34単位包括認定)

既修得単位	
科目名称	単位数
基礎教養Ⅰ	1
英語コミュニケーションⅠ	1
英語コミュニケーションⅡ	1
生活と科学	2
スポーツ	1
ゼミナールⅠ	1
ビジネス実務演習Ⅰ	2
ビジネス実務Ⅰ	1
ビジネス文書演習Ⅰ	1
秘書実務演習Ⅰ	2
秘書実務Ⅰ	1
表計算演習Ⅰ	1
表計算演習Ⅱ	1
キャリアデザイン演習Ⅰ	1
キャリアデザイン演習Ⅱ	1
日本語表現	1
ゼミナールⅡ	1
秘書実務Ⅱ	1
ビジネス実務Ⅱ	1
ビジネス実務演習Ⅱ	2
秘書実務演習Ⅱ	2
ビジネス文書演習Ⅱ	1
情報科学Ⅰ	2
情報科学Ⅱ	2

既修得単位	
科目名称	単位数
プレゼンテーション演習	1
サービス実務	1
社会福祉概論Ⅰ	2
社会福祉概論Ⅱ	2
介護福祉論	2
心理学	2
医療一般	1
医療事務演習Ⅰ	1
医療事務演習Ⅱ	1
医療保険演習	1
医事コンピュータ演習	1
医師事務補助演習	1
一般教養演習	1
実用マナー演習	1
ビューティ演習	1
生活デザイン	1
現代社会と法	2
医療秘書演習Ⅰ	1
医療秘書演習Ⅱ	1
クッキング演習	1
食と生活	1
ファッションと生活	1
計	58

総合経済学部総合経済学科 3年次編入学生の履修モデル

	3年						4年					
	前期		後期		必修		前期		後期		必修	
基礎科目												
主題科目												
専門基本科目	経済学			ミクロ経済学Ⅰ(完全競争市場)	2		ミクロ経済学Ⅱ(不完全競争市場)	2				
				マクロ経済学Ⅰ(ケインズ経済学と経済政策)	2		マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2				
				持続可能な開発とSDGs論	1							
	経営学	経営学概論	2									
学系	金融論		2									
	社会学	社会学概論	2	社会調査法	2							
情報系	メディア論		2									
	統計学	2		データサイエンスⅠ(データサイエンスの基礎)	2		データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2				
専門展開科目	経済学系	地域経済論	2	民法	2	経済開発論	2	国際経済論	2			
		商法・会社法		2			環境経済論	2				
		地域共創論		2			リーダーシップ論	2				
	経営学系	経営組織論	2	マーケティング論	2	マーケティングリサーチ	2					
						消費者行動論	2					
						ベンチャービジネス論	2					
	環境系			環境政策論	2			食と農の経済学	2			
								エコライフ論	2			
	健康系	健康経営概論	2	スポーツビジネス論	2	ネイチャーアクティビティ	1	健康デザイン論	2			
		アンチエイジングとストリートダンス		1								
地域目活性			地域共創実践論	2	地域共創プロジェクト	1	グリーンビジネス論	2				
L P 企 連 目 科 B 業 携	連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	1	連携企業PBL演習Ⅱ(課題解決へのプロセス)	1	連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	1						
			インターンシップⅡ	1								
科 研 卒 目 究 業	基礎ゼミⅠ	1	基礎ゼミⅡ	1	卒業研究ゼミⅠ	1	卒業研究ゼミⅡ	1				
					卒業論文 ※通年	-	卒業論文	4				
		12	11	16	6	8	14	5	10			
		3年前期単位数	23	3年後期単位数	22	4年前期単位数	22	4年後期単位数	15			

総単位数 82  
既修得単位の読替計 42  
単位数合計 124

## 総合経済学部企業実習受入れ先一覧

No.	企業等名称	インターシップⅠ 受入人数	インターシップⅡ 受入人数	連携企業 PBL実習 受入人数	所在地	業種	地区
1	イオンモール株式会社(イオンモール白山)	3	3	3	白山市横江町土地区画整理事業施行地区内1街区	小売業	白山市
2	株式会社フクズミ	3	3	3	白山市中町7	小売業	白山市
3	株式会社ベスト家具(リーファナカガワ)	2	2	2	白山市徳丸町512番地1	小売業	白山市
4	株式会社ホンダサロン石川	2	2	2	白山市乾町38-1	小売業	白山市
5	株式会社歯愛メディカル	3	3	3	白山市旭丘二丁目6番地	小売業	白山市
6	松任市農業協同組合	3	0	3	白山市村井町1776	金融・保険業	白山市
7	一般社団法人FSVスポーツアカデミー	2	2	2	白山市博労1丁目62番地2号	対個人サービス業	白山市
8	株式会社天祥閣	2	2	2	白山市倉光10丁目55番地	対個人サービス業	白山市
9	北崎自動車工業株式会社	3	3	3	白山市三浦町151	対個人サービス業	白山市
10	アイナックス稲本株式会社	3	3	3	白山工場 白山市源兵島町948	製造業	白山市
11	加賀味噌食品工業協業組合	3	3	3	白山市倉部町1080	製造業	白山市
12	ニッコー株式会社	10	10	0	白山市相木町383	製造業	白山市
13	北陸化成株式会社	2	2	2	白山市三浦町340	製造業	白山市
14	賀谷セロファン株式会社	5	5	5	白山市横江町1214-4	製造業	白山市
15	株式会社明石合銅	1	1	1	白山市横江町1484番地	製造業	白山市
16	株式会社アクトリー	3	3	3	白山市水澄町375番地	製造業	白山市
17	株式会社トランテックス	2	2	2	白山市徳丸町670番地	製造業	白山市
18	株式会社金沢シール	3	3	3	白山市横江町495番地	製造業	白山市
19	株式会社朝日電機製作所	3	3	3	白山市旭丘1丁目10番地	製造業	白山市
20	高松機械工業株式会社	2	2	2	白山市旭丘1丁目8番地	製造業	白山市
21	株式会社あさがおテレビ	1	1	0	白山市西新町235番地1	情報通信業	白山市
22	株式会社グランドホテル白山	2	2	2	白山市西新町152番地7	宿泊業	白山市
23	株式会社六星	3	3	3	白山市橋爪町104番地	農林漁業・鉱業	白山市
24	社会福祉法人佛子園	5	5	5	白山市北安田町548番地2	医療・福祉業	白山市
25	白山市	3	3	3	白山市倉光二丁目1番地	その他	白山市
26	白山商工会	3	3	3	白山市上野町ヤ74番地	その他	白山市
27	白山商工会議所	3	3	3	白山市西新町 159-2	その他	白山市
28	株式会社シ・ピ・エル	3	3	3	白山市村井町1675-5	その他	白山市
29	株式会社トスマク・アイ	3	3	3	白山市村井町330番地	その他	白山市
30	石川県信用農業協同組合連合会	3	0	0	金沢市古府1丁目220番地	金融・保険業	金沢市
31	石川県農業協同組合中央会	2	0	2	金沢市古府1丁目220番地	金融・保険業	金沢市
32	全国共済農業協同組合連合会石川県本部	0	2	2	金沢市古府1丁目220番地	金融・保険業	金沢市
33	金沢信用金庫	10	10	0	金沢市南町1-1	金融・保険業	金沢市
34	株式会社北陸銀行	3	3	3	金沢市南町5-28	金融・保険業	金沢市
35	野村證券株式会社金沢支店	3	3	0	金沢市上堤町3-21	金融・保険業	金沢市
36	株式会社エクスプレッションズ	2	2	2	金沢市入江2-54 中村ビル3F	対個人サービス業	金沢市
37	株式会社フラワーガーデン	3	3	3	金沢市藤江北4丁目210	対個人サービス業	金沢市
38	株式会社エイム	3	3	3	金沢市戸水2丁目140番地	対個人サービス業	金沢市
39	株式会社アドバンス北陸サービス	3	3	3	金沢市長田2丁目25番25号	対事業所サービス業	金沢市
40	北陸総合警備保障株式会社	3	3	3	金沢市松島1丁目41番地	対事業所サービス業	金沢市
41	株式会社アーバンホーム	3	3	3	金沢市泉本町6丁目81-1	不動産業	金沢市
42	株式会社アイ・オー・データ機器	3	3	3	金沢市桜田町3丁目10番地	製造業	金沢市
43	株式会社金太	3	3	3	金沢市泉本町5丁目61番地	製造業	金沢市
44	タマダ株式会社	3	3	2	金沢市無量寺町ハ61-1	製造業	金沢市
45	株式会社辻鉄	3	3	2	金沢市湊2丁目10番地	製造業	金沢市

# 総合経済学部企業実習受入れ先一覧

No.	企業等名称	インターシップⅠ 受入人数	インターシップⅡ 受入人数	連携企業 PBL実習 受入人数	所在地	業種	地区
46	東亜電機工業株式会社	3	3	3	金沢市増泉2-18-15	製造業	金沢市
47	株式会社きんでん中部支社	1	1	1	金沢市西念1丁目1番3号 コンフィデンス金沢5F	情報通信業	金沢市
48	三谷産業株式会社	3	0	0	金沢市玉川町1-5	情報通信業	金沢市
49	株式会社北陸ソフト開発	2	2	0	金沢市米泉町4丁目81-3 HSKビル 3F	情報通信業	金沢市
50	株式会社ホライズン・ホテルズ (ANAクラウンプラザホテル金沢)	3	3	3	金沢市昭和町16番3号	宿泊業	金沢市
51	株式会社オークラニックホテルマネジメント金沢 (ホテル日航金沢)	3	3	3	金沢市本町2丁目15-1	宿泊業	金沢市
52	株式会社金沢ニューグランドホテル	2	2	0	金沢市南町4番1号	宿泊業	金沢市
53	全国農業協同組合連合会石川県本部	2	2	2	金沢市古府1丁目220番地	農林漁業・鉱業	金沢市
54	株式会社北國新聞社	3	3	0	金沢市南町2番1号	広告出版業	金沢市
55	ヨシダ印刷株式会社	2	2	2	金沢市御影町19番1号	広告出版業	金沢市
56	金剛株式会社	1	1	1	金沢市広岡3丁目1-1 金沢パークビル8F	卸売業	金沢市
57	株式会社双星設計	1	1	1	金沢市広岡1丁目5番23号 金沢第一ビル	建設業	金沢市
58	黒崎産業株式会社	3	3	3	金沢市湊3丁目62番地	建設業	金沢市
59	兼六建設株式会社	3	3	3	金沢市松島2丁目20番地	建設業	金沢市
60	島屋建設株式会社	3	3	3	金沢市増泉3丁目16番18号	建設業	金沢市
61	高田舗装株式会社	3	3	3	金沢市東力4丁目83番1	建設業	金沢市
62	岸建販株式会社	3	3	3	金沢市西念2丁目29番地17号	建設業	金沢市
63	北川瀝青工業株式会社	3	3	0	金沢市千日町8番30号	建設業	金沢市
64	オリジナルサポート株式会社	3	3	3	金沢市額谷3-49	医療・福祉業	金沢市
65	株式会社スパホテル	3	3	3	金沢市古府2丁目50	医療・福祉業	金沢市
66	株式会社宗重商店	3	3	3	金沢市畝田西1丁目112番地	その他	金沢市
67	セコム北陸株式会社	2	0	0	金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ6F	対事業所サービス業	金沢市
68	小松市農業協同組合	3	3	3	小松市上小松町丙252	金融・保険業	小松市
69	ヨシダ自動車株式会社	4	4	2	小松市上小松町丙72番地1	対個人サービス業	小松市
70	コマニー株式会社	5	5	5	小松市工業団地1丁目93番地	製造業	小松市
71	ライオンパワー株式会社	2	2	2	小松市月津町ツ5番地	製造業	小松市
72	小松プラント株式会社	3	3	3	小松市長崎町3丁目41番地	製造業	小松市
73	小松鋼機株式会社	3	3	0	小松市光町20番地	卸売業	小松市
74	株式会社丸西組	3	3	3	小松市白江町ト121番地1	建設業	小松市
75	萩野塗装株式会社	3	3	2	小松市泉町14番地	建設業	小松市
76	医療法人社団田谷会	3	3	3	小松市園町二29-1	医療・福祉業	小松市
77	株式会社ビルカン	3	3	3	小松市白江町口72番地1	その他	小松市
78	小松市	3	3	3	小松市小馬出町91番地	その他	小松市
79	小松商工会議所	3	3	3	小松市園町二1番地	その他	小松市
80	株式会社コムレイド	3	3	3	小松市白江町口105-6	その他	小松市
81	株式会社アース	3	3	3	野々市市横宮町14-30 河端ビル2F	飲食サービス業	加賀地区
82	株式会社絹川商事	1	1	1	野々市市住吉町9番32号	不動産業	加賀地区
83	ウエルド株式会社	3	3	3	野々市市二日市1丁目110	建設業	加賀地区
84	前田製菓株式会社	2	2	1	能美市中ノ江町ほ50番地	製造業	加賀地区
85	加賀商工会議所	1	1	1	加賀市大聖寺菅生口17-3	その他	加賀地区
86	野々市市	3	3	3	野々市市三納1丁目1番地	その他	加賀地区
87	株式会社スギヨ	0	2	0	七尾市西三階町10号4-1	製造業	能登地区
88	株式会社加賀屋	5	5	0	七尾市和倉町ヨ部80番地	宿泊業	能登地区
89	珠洲市	3	3	3	珠洲市上戸町北方一字6番地の2	その他	能登地区
90	珠洲商工会議所	2	0	0	珠洲市飯田町1丁目1番地9	その他	能登地区

## 総合経済学部企業実習受入れ先一覧

No.	企業等名称	インターシップⅠ 受入人数	インターシップⅡ 受入人数	連携企業 PBL実習 受入人数	所在地	業種	地区
91	七尾市	3	3	3	七尾市袖ヶ江町イ部25番地	その他	能登地区
92	輪島市	3	3	3	輪島市二ツ屋町2字29番地	その他	能登地区
93	輪島商工会議所	3	3	3	輪島市河井町20部1番地1	その他	能登地区
94	コクヨ北陸新潟販売株式会社	1	0	0	富山市黒瀬北町2丁目17番地2	卸売業	富山県
95	石友ホーム株式会社	3	3	3	高岡市下牧野36-2	建設業	富山県
96	株式会社トップシーン	2	2	2	東京都渋谷区渋谷2-14-17 渋谷SSビル9F	その他	関東地区
実習受入人数 計		270	258	213			

## 金城大学と〇〇〇〇株式会社との連携に関する協定書

金城大学（以下、「甲」という。）と〇〇〇〇株式会社（以下、「乙」という。）は、教育研究活動を中心とした連携・協力を促進するため、以下のとおり合意する。

## （目的）

第1条 本協定は、甲と乙が授業等での連携・協力を図り、相互の発展に寄与することを目的とする。

## （連携・協力事業）

第2条 甲と乙は、前条に定める目的を実現するために、次に掲げる分野における取組みについて連携・協力する。

- （1） 「連携企業 PBL 演習」「インターンシップ」「連携企業 PBL 実習」等の授業運営及び研究での連携
- （2） その他、双方が必要と認める事業

## （連絡調整窓口）

第3条 甲と乙は、前条の事業を円滑かつ効果的に推進するために、それぞれ連絡調整の窓口を置く。

## （協議事項）

第4条 甲と乙は、本協定に基づく連携・協力の具体的内容及び成果の利用条件その他必要な事項について、その都度協議して定めるものとする。

## （学生の保険等）

第5条 甲は、本協定に係る学生の活動に対して起こり得る災害・事故への対応として、保険加入等、必要な手続きを実施するものとする。

## （情報保護）

第6条 甲と乙は、本協定に基づき連携・協力するにあたり、事前に相手方の同意を得た情報以外の情報を第三者に対して開示又は漏洩してはならない。ただし、法令に基づき開示請求された場合はこの場合に限らない。

## （有効期間）

第7条 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、本協定の有効期間満了の1か月前までに、甲乙いずれからも改廃の申入れがない場合は、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

2 甲及び乙は、有効期間内であっても、1か月前までに相手方に通知をすることにより、本協定

を解除することができる。

- 3 本協定が終了した場合は、その理由の如何を問わず、具体的な連携事項の取扱いについて、甲乙間で別途協議をする。

(その他)

第8条 本協定に基づく運用に疑義が生じた場合及び本協定に定めのない事項が発生した場合は、甲と乙が協議のうえ、その取扱いを決定するものとする。

本協定締結の証として、本協定書2通を作成し、記名押印の上、甲と乙各1通を所持する。

令和 年 月 日

甲 石川県金沢市本多町2-2-3  
学校法人金城学園  
理事長 加藤 真一

乙

〇〇〇〇株式会社  
〇〇〇〇長 〇〇 〇〇

## 実習受入承諾書

令和 年 月 日

金城大学  
学長 米島 學 殿

企業・団体名

企業・団体の長

印

金城大学総合経済学部総合経済学科が設置され、設置認可を受けた際は、下記のとおり実習施設として、令和7年4月から実習生を受け入れることを承諾します。

## 記

## 1 企業・団体名

( )

## 2 所在地

( )

## 3 従業員(正規社員)数

※支社、支店、営業所、出張所等での実習受入の場合、当該支社、支店、営業所、出張所等の従業員数

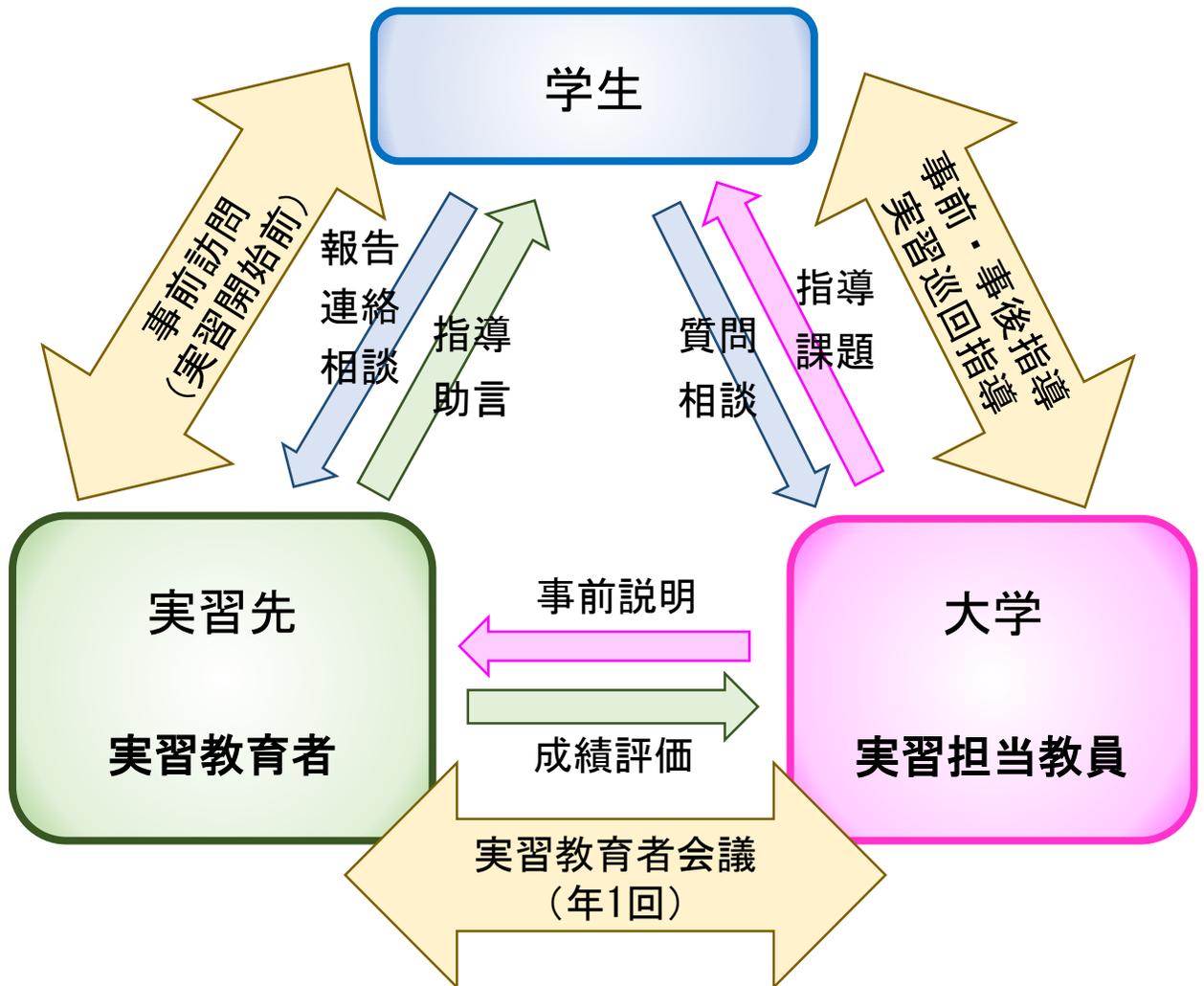
( )人

## 4 実習受入授業科目及び受入人数

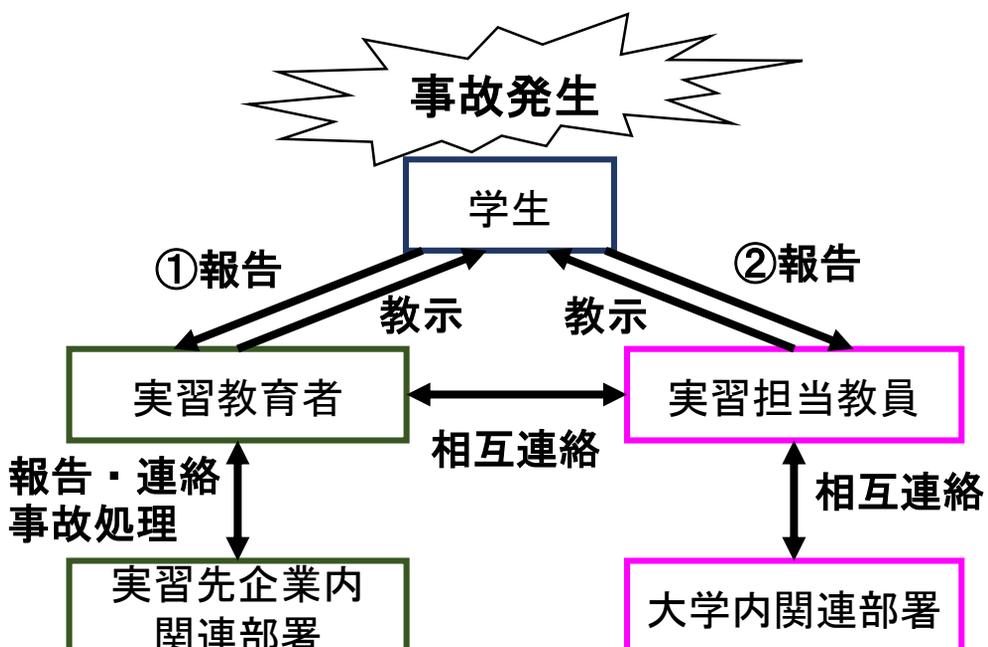
2年次前期「インターンシップⅠ」(4月～9月の間の3日間)・・・計( )人  
(令和7年度以降)2年次後期「インターンシップⅡ」(10月～3月の間の3日間)・・・計( )人  
(令和7年度以降)3年次前期「連携企業PBL実習」(4月～9月の間の10日間)・・・計( )人  
(令和8年度以降)

総合経済学部総合経済学科「インターンシップⅠ・Ⅱ」、  
「連携企業PBL実習」に係る実習先との連携体制

1. 実習中または実習前後における実習先との連携体制図



2. 実習中における事故発生時の連絡フローチャート



## 実習配置、巡回指導担当教員割振

No	施設名	学生配置 (1～150は学生の学籍番号を示す)			巡回指導担当教員	所在地
		インターンシップⅠ	インターンシップⅡ	連携企業PBL実習		
1	イオンモール株式会社（イオンモール白山）	1,2	150,149	74,75,76	藪下教授	白山市横江町土地区画整理事業施行地区内1街区
2	株式会社フクズミ	3	148,147	77,78		白山市中町7
3	株式会社ベスト家具（リーファナカガワ）	4	146	79		白山市徳丸町512番地1
4	株式会社ホンダサロン石川	5	145	80		白山市乾町38-1
5	株式会社歯愛メディカル	6,7	144,143	81,82,83		白山市旭丘二丁目6番地
6	松任市農業協同組合	8,9	—	84,85,86		白山市村井町1776
7	一般社団法人FSVスポーツアカデミー	10	142	87		白山市博労1丁目62番地2号
8	株式会社天祥閣	11	141	88		白山市倉光10丁目55番地
9	北崎自動車工業株式会社	12	140,139	89,90		白山市三浦町151
10	アイナックス稲本株式会社	13,14	138,137	91,92	松村教授	白山工場 白山市源兵島町948
11	加賀味噌食品工業協業組合	15	136,135	93,94		白山市倉部町1080
12	ニッコー株式会社	16,17	134,133	—		白山市相木町383
13	北陸化成株式会社	18	132	95		白山市三浦町340
14	賀谷ゼロファン株式会社	19,20	131,130	96,97,98		白山市横江町1214-4
15	株式会社明石合銅	21	129	99		白山市横江町1484番地
16	株式会社アクトリー	22,23	128,127	100,101		白山市水澄町375番地
17	株式会社トランテックス	24	126	102		白山市徳丸町670番地
18	株式会社金沢シール	25,26	125,124	103,104		白山市横江町495番地
19	株式会社朝日電機製作所	27,28	123,122	105,106	廣瀬教授	白山市旭丘1丁目10番地
20	高松機械工業株式会社	29	121	107		白山市旭丘1丁目8番地
21	株式会社あさがおテレビ	30	120	—		白山市西新町235番地1
22	株式会社グランドホテル白山	31	119	108		白山市西新町152番地7
23	株式会社六星	32,33	118,117	109,110		白山市橋爪町104番地
24	社会福祉法人佛子園	34,35	116,115	111,112,113		白山市北安田町548番地2
25	白山市	36,37	114,113	117,118		白山市倉光二丁目1番地
26	白山商工会	38,39	112,111	114,115,116		白山市上野町ヤ74番地
27	白山商工会議所	40,41	110,109	119,120		白山市西新町159-2
28	株式会社シ・ピ・エル	42,43	108,107	121,122	廣澤准教授	白山市村井町1675-5
29	株式会社トスマク・アイ	44	106,105	123,124		白山市村井町330番地
30	石川県信用農業協同組合連合会	45,46	—	—		金沢市古府1丁目220番地
31	石川県農業協同組合中央会	47	—	125		金沢市古府1丁目220番地
32	全国共済農業協同組合連合会石川県本部	—	104	126		金沢市古府1丁目220番地
33	金沢信用金庫	48,49	103,102	—		金沢市南町1-1
34	株式会社北陸銀行	50,51	101,100	127,128,129		金沢市南町5-2 8
35	野村証券株式会社金沢支店	52,53	99,98	—		金沢市上堤町3-21
36	株式会社エクスペッションズ	54	97	130		金沢市入江2-54 中村ビル3F
37	株式会社フラワーガーデン	55,56	96,95	131,132	平子准教授	金沢市藤江北4丁目210
38	株式会社エイム	57,58	94,93	133,134		金沢市戸水2丁目140番地
39	株式会社アドバンス北陸サービス	59	92,91	135,136		金沢市長田2丁目25番25号
40	北陸総合警備保障株式会社	60,61	90,89	137,138		金沢市松島1丁目41番地
41	株式会社アーバンホーム	62,63	88,87	139,140		金沢市泉本町6丁目81-1
42	株式会社アイ・オー・データ機器	64,65	86,85	141,142,143		金沢市桜田町3丁目10番地
43	株式会社金太	66	84,83	144,145		金沢市泉本町5丁目61番地
44	タマダ株式会社	67,68	82,81	146		金沢市無量寺町ハ61-1
45	株式会社辻鉄	69,70	80,79	147		金沢市湊2丁目10番地

No	施設名	学生配置 (1~150は学生の学籍番号を示す)			巡回 指導 担当 教員	所在地	
		インター シップⅠ	インター シップⅡ	連携企業PBL 実習			
46	東亜電機工業株式会社	71,72	78,77	148,149	高橋 講師	金沢市増泉2-18-15	
47	株式会社きんでん中部支社	73	76	150		金沢市西念1丁目1番3号 コンフィデンス金沢5F	
48	三谷産業株式会社	74,75	—	—		金沢市玉川町1-5	
49	株式会社北陸ソフト開発	76	75	—		金沢市米泉町4丁目81-3 HSKビル 3F	
50	株式会社ホライズン・ホテルズ(ANAクラウンプラザホテル金沢)	77,78	74,73	1,2,3		金沢市昭和町16番3号	
51	株式会社オークラニッコーホテルマネジメント金沢(ホテル日航金沢)	79,80	72,71	4,5,6		金沢市本町2丁目15-1	
52	株式会社金沢ニューグランドホテル	81	70	—		金沢市南町4番1号	
53	全国農業協同組合連合会石川県本部	82	69	7		金沢市古府1丁目220番地	
54	株式会社北國新聞社	83,84	68,67	—		金沢市南町2番1号	
55	ヨシダ印刷株式会社	85	66	8		宮本 助教	金沢市御影町19番1号
56	金剛株式会社	86	65	9	金沢市広岡3丁目1-1 金沢パークビル8F		
57	株式会社双星設計	87	64	10	金沢市広岡1丁目5番23号 金沢第一ビル		
58	黒崎産業株式会社	88,89	63	11,12	金沢市湊3丁目62番地		
59	兼六建設株式会社	90	62,61	13,14	金沢市松島2丁目20番地		
60	島屋建設株式会社	91	60,59	15,16	金沢市増泉3丁目16番18号		
61	高田舗装株式会社	92	58,57	17,18	金沢市東力4丁目83番1		
62	岸建販株式会社	93	56,55	19,20	金沢市西念2丁目29番地17号		
63	北川瀝青工業株式会社	94,95	54	—	金沢市千日町8番30号		
64	オリジナルサポート株式会社	96,97	53,52	21,22	荒木 助教		金沢市額谷3-49
65	株式会社スパーテル	98,99	51,50	23,24		金沢市古府2丁目50	
66	株式会社宗重商店	100,101	49	25,26		金沢市畝田西1丁目112番地	
67	セコム北陸株式会社	102	—	—		金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ6F	
68	小松市農業協同組合	103,104	48,47	27,28		小松市上小松町丙252	
69	ヨシダ自動車株式会社	105,106	46,45	29,30		小松市上小松町丙72番地1	
70	コマニー株式会社	107,108	44,43	31,32,33		小松市工業団地1丁目93番地	
71	ライオンパワー株式会社	109	42	34		小松市月津町ツ5番地	
72	小松プラント株式会社	110,111	41,40	35,36		小松市長崎町3丁目41番地	
73	小松鋼機株式会社	112,113	39,38	—		齋藤 助教	小松市光町20番地
74	株式会社丸西組	114,115	37,36	40,41	小松市白江町ト121番地1		
75	萩野塗装株式会社	116,117	35,34	39	小松市泉町14番地		
76	医療法人社団田谷会	118,119	33,32	37,38	小松市園町ニ29-1		
77	株式会社ビルカン	120,121	31,30	42,43	小松市白江町口72番地1		
78	小松市	122,123	29,28	44,45,46	小松市小馬出町91番地		
79	小松商工会議所	124,125	27,26	47,48	小松市園町ニ1番地		
80	株式会社コムレイド	126,127	25,24	49,50	小松市白江町口105-6		
81	株式会社アース	128,129	23,22	51,52	高木 助教		野々市市横宮町14-30 河端ビル2F
82	株式会社絹川商事	130	21	53			野々市市住吉町9番32号
83	ウエルド株式会社	131,132	20	54,55		野々市市二日市1丁目110	
84	前田製菓株式会社	133	19	56		能美市中ノ江町ほ50番地	
85	加賀商工会議所	134	18	57		加賀市大聖寺菅生口17-3	
86	野々市市	135,136	17,16	58,59,60		野々市市三納1丁目1番地	
87	株式会社スギヨ	—	15	—		七尾市西三階町10号4-1	
88	株式会社加賀屋	137,138	14,13	—		七尾市和倉町ヨ部80番地	

No	施設名	学生配置 (1~150は学生の学籍番号を示す)			巡回 指導 担当 教員	所在地
		インター シップⅠ	インター シップⅡ	連携企業PBL 実習		
89	珠洲市	139,140	12,11	61,62	村上 助教	珠洲市上戸町北方一字6番地の2
90	珠洲商工会議所	141	—	—		珠洲市飯田町1丁目1番地9
91	七尾市	142,143	10,9	63,64,65		七尾市袖ヶ江町イ部25番地
92	輪島市	144,145	8,7	66,67		輪島市二ツ屋町2字29番地
93	輪島商工会議所	146,147	6,5	68,69		輪島市河井町20部1番地1
94	コクヨ北陸新潟販売株式会社	148	—	—		富山市黒瀬北町2丁目17番地2
95	石友ホーム株式会社	149	4,3	70,71		高岡市下牧野36-2
96	株式会社トップシーン	150	2,1	72,73		東京都渋谷区渋谷2-14-17 渋谷SSビル9F

金城大学 総合経済学部総合経済学科

「インターンシップ I」

## 実習評価票

(ご記入いただいた内容は学生にフィードバックさせていただきます。)

実習生氏名	
-------	--

実習 機 関 等	機 関 名			
	住 所			
	電 話		E-mail	
	ご担当 部署名		ご担当者 氏名	

## 1 実習状況

実習期間	年 月 日 から 年 月 日						
実習日数	日	欠席日数	日	遅刻	回	早退	回

## 2 実習評価 (該当する評価に○を付してください)

評価項目		秀でて いる	優れて いる	良好 である	普通 である	不 足
実習 態度	遅刻・欠席・早退等の状況 連絡、協力等の実習参加度	S	A	B	C	D
主体性	物事に進んで取り組む力	S	A	B	C	D
発信力	自分の意見を伝える力	S	A	B	C	D
傾聴力	相手の意見を聴く力	S	A	B	C	D
柔軟性	意見の違いや立場の違いを 理解する力	S	A	B	C	D
状況 把握力	自分と周囲の人々や物事との 関係性を理解する力	S	A	B	C	D
規律性	社会のルールや人との約束を 守る力	S	A	B	C	D
課題 発見力	現状を分析し目的や課題を 明らかにする力	S	A	B	C	D
総 合 評 価		S	A	B	C	D



# 実習評価票

(ご記入いただいた内容は学生にフィードバックさせていただきます。)

実習生氏名	
-------	--

実習 機 関 等	機 関 名			
	住 所			
	電 話		E-mail	
	ご担当 部署名		ご担当者 氏名	

## 1 実習状況

実習期間	年 月 日 から 年 月 日						
実習日数	日	欠席日数	日	遅 刻	回	早 退	回

## 2 実習評価 (該当する評価に○を付してください)

評価項目		秀でて いる	優れて いる	良好 である	普通 である	不 足
実習 態度	遅刻・欠席・早退等の状況 連絡、協力等の実習参加度	S	A	B	C	D
主体性	物事に進んで取り組む力	S	A	B	C	D
発信力	自分の意見を伝える力	S	A	B	C	D
傾聴力	相手の意見を聴く力	S	A	B	C	D
柔軟性	意見の違いや立場の違いを 理解する力	S	A	B	C	D
状況 把握力	自分と周囲の人々や物事との 関係性を理解する力	S	A	B	C	D
規律性	社会のルールや人との約束を 守る力	S	A	B	C	D
課題 発見力	現状を分析し目的や課題を 明らかにする力	S	A	B	C	D
計画力	課題を分析し、解決に向けた仮 説を設定する力	S	A	B	C	D
<b>総 合 評 価</b>		<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>



# 実習評価票

(ご記入いただいた内容は学生にフィードバックさせていただきます。)

実習生氏名	
-------	--

実習 機 関 等	機 関 名			
	住 所			
	電 話		E-mail	
	ご担当 部署名		ご担当者 氏名	

## 1 実習状況

実習期間	年 月 日 から 年 月 日						
実習日数	日	欠席日数	日	遅 刻	回	早 退	回

## 2 実習評価 (該当する評価に○を付してください)

評価項目		秀でて いる	優れて いる	良好 である	普通 である	不 足
実習 態度	遅刻・欠席・早退等の状況 連絡、協力等の実習参加度	S	A	B	C	D
主体性	物事に進んで取り組む力	S	A	B	C	D
発信力	自分の意見を伝える力	S	A	B	C	D
傾聴力	相手の意見を聴く力	S	A	B	C	D
柔軟性	意見の違いや立場の違いを 理解する力	S	A	B	C	D
状況 把握力	自分と周囲の人々や物事との 関係性を理解する力	S	A	B	C	D
規律性	社会のルールや人との約束を 守る力	S	A	B	C	D
課題 発見力	現状を分析し目的や課題を 明らかにする力	S	A	B	C	D
計画力	課題を分析し、解決に向けた仮 説を設定する力	S	A	B	C	D
提案力	課題について解決策を立案す るする力	S	A	B	C	D
実行力	課題の解決策を実行し、更なる 改善に向けた振り返りを行う 力	S	A	B	C	D
総 合 評 価		S	A	B	C	D



## アドミッション・ポリシーと入学者選抜方法との対応表

選抜区分	学校推薦型選抜				
	書類審査			面接	小論文
選抜方法	活動報告書	学校長推薦書	調査書		
AP①		○	○		○
AP②	○			○	○
AP③	○				○
AP④				○	
AP⑤	○			○	

選抜区分	総合型選抜／マッチング型					
	書類審査				面接	小論文
選抜方法	学修計画書	活動報告書	志望理由書	調査書		
AP①				○		○
AP②	○	○			○	○
AP③	○	○				○
AP④	○		○		○	
AP⑤		○			○	

選抜区分	総合型選抜／自己アピール型				
	書類審査			面接	小論文
選抜方法	活動報告書	志望理由書	調査書		
AP①			○		○
AP②	○			○	○
AP③	○				○
AP④		○		○	
AP⑤	○			○	

## 【総合経済学部総合経済学科のアドミッション・ポリシー】

- ①経済・経営・環境・健康に加え情報リテラシー及び社会調査の手法を学修するために必要な基礎的学力を有する人。
- ②現代社会や地域社会に対する関心と他者に対する思いやりを有する人。
- ③日々の活動の中から課題を見つけ、その原因や改善策を考えることができる人。
- ④明確な目標を持ち、その実現に向け主体的かつ継続的に学ぼうとする意欲のある人。
- ⑤多様な人々と適切なコミュニケーションを取れ、周りの人々がよりよく生きるための支えとなるべく地域社会に貢献したいと思う人。

## アドミッション・ポリシーと入学者選抜方法との対応表

選抜区分	社会人選抜				
選抜方法	書類審査			面接	小論文
	活動報告書	志望理由書	履歴書		
AP①					○
AP②	○			○	○
AP③	○				○
AP④		○	○	○	
AP⑤	○			○	

選抜区分	一般選抜		
選抜方法	書類審査		学科試験
	活動報告書	調査書	
AP①		○	○
AP②	○		
AP③	○		
AP④			○
AP⑤	○		

選抜区分	共通テスト利用選抜		
選抜方法	書類審査		大学入学共通テストの結果
	活動報告書	調査書	
AP①		○	○
AP②	○		
AP③	○		
AP④			○
AP⑤	○		

### 【総合経済学部総合経済学科のアドミッション・ポリシー】

- ①経済・経営・環境・健康に加え情報リテラシー及び社会調査の手法を学修するために必要な基礎的学力を有する人。
- ②現代社会や地域社会に対する関心と他者に対する思いやりを有する人。
- ③日々の活動の中から課題を見つけ、その原因や改善策を考えることができる人。
- ④明確な目標を持ち、その実現に向け主体的かつ継続的に学ぼうとする意欲のある人。
- ⑤多様な人々と適切なコミュニケーションを取れ、周りの人々がよりよく生きるための支えとなるべく地域社会に貢献したいと思う人。

## 金城大学入学者選抜規程

## (目的)

第1条 この規程は、金城大学学則第22条の規定に基づき、本学の入学者選抜に関する事項を定めることを目的とする。

## (選抜の方法)

第2条 入学者の選抜は、一般選抜のほか、総合型選抜及び学校推薦型選抜の方法による。

- 2 一般選抜として、大学入学共通テストを利用した選抜を実施することができる。
- 3 入学試験制度の詳細については、別に定める。

## (出願資格)

第3条 本学に入学を出願できる者は、次の各号の一に該当するものとする。ただし、当年度卒業又は修了見込みの者等を含む。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格したものを含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業したと者と同等以上の学力があると認められた者

## (出願手続)

第4条 入学志願者は、所定の出願期間内に、入学願書の提出等入学志願に必要な本学所定の手続を取らなければならない。

- 2 前項により本学が受理した書類等は、返還しないものとする。

## (入学試験)

第5条 入学試験は、次に定めるところにより実施する。

- (1) 学校推薦型選抜は、主として、高等学校長又は中等教育学校長の推薦書、高等学校又は中等教育学校の調査書等の提出を求め、面接、小論文試験等を実施する。

- (2) 一般選抜は、主として、高等学校の調査書等の提出を求め、学科試験、書類審査等を実施する。
  - (3) 総合型選抜は、主として、高等学校の調査書等の提出を求め、面接、小論文試験、書類審査等を実施する。
- 2 入学試験の実施内容の詳細については、別に定める。

(入学試験の合否判定)

- 第6条 入学試験の合否判定は、入学試験判定委員会において、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定するものとし、教授会の議を経て、学長が決定し理事長が承認する。
- 2 入学試験判定委員会の構成及び運営については、別に定める。

(合否通知、入学手続)

- 第7条 入学試験の合否結果については、所定の期日までに、本人宛に通知するものとする。
- 2 入学試験の合格者は、本学が指定する期日までに、本学所定の入学手続を取らなければならない。
- 3 前項の手続を取らない者には入学を許可しない。

(担当委員会)

- 第8条 入学者選抜方法の基本方針及び入学試験制度に関する重要事項は、大学運営委員会で審議する。
- 2 入学者選抜方法の改善等に関する事項を審議し、入学試験を公正かつ円滑に実施するため、入試実施委員会及び次の各号に掲げる小委員会を設置する。
- (1) 書類評価基準小委員会
  - (2) 面接試験検討・実施小委員会
  - (3) 試験問題検討小委員会
  - (4) 編入学試験検討・実施小委員会
  - (5) 試験問題作成小委員会
  - (6) 障がい者受入れ検討小委員会
- 3 前項の委員会の委員は、学長が任命する。
- 4 第2項の委員会は、審議した事項を入試実施委員会及び大学運営委員会に提案、報告し、承認を受けなければならない。
- 5 学長は、第1項及び前項に規定する事項を教授会に提案または報告しなければならない。
- 6 入学試験に関する事務は、第2項の委員会の委員及び入試事務局が実施するものとする。

(補則)

- 第9条 この規程に定めるもののほか、入学者選抜に関し必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学運営委員会及び教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成12年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成19年5月15日より施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

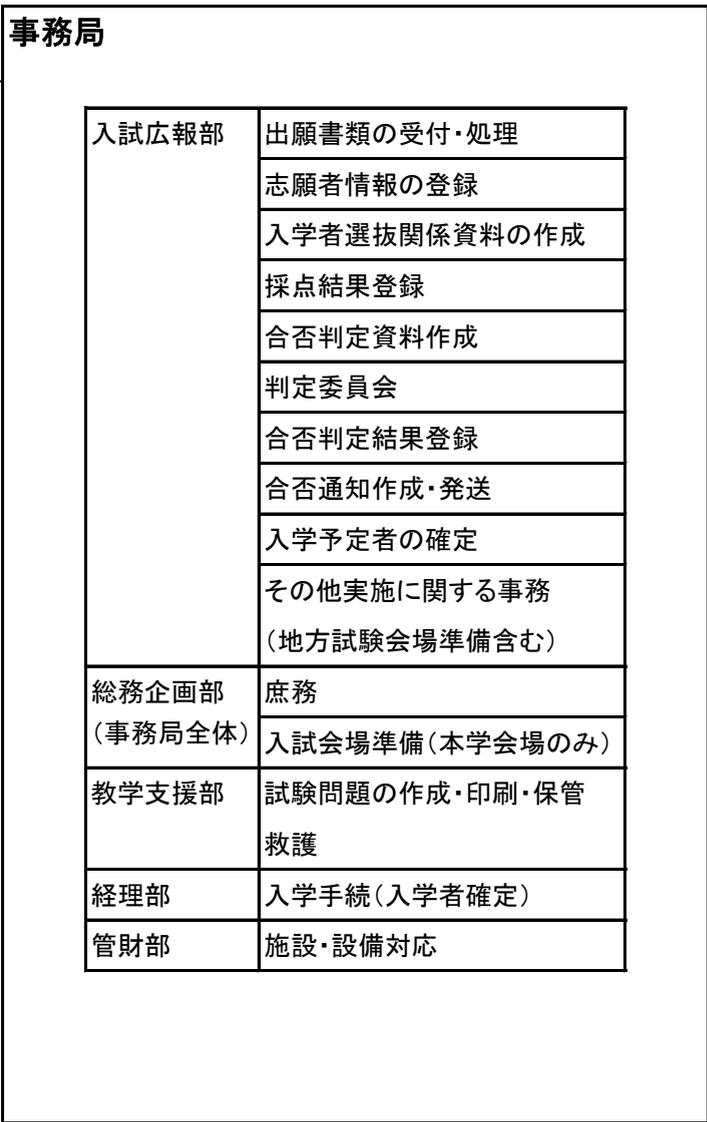
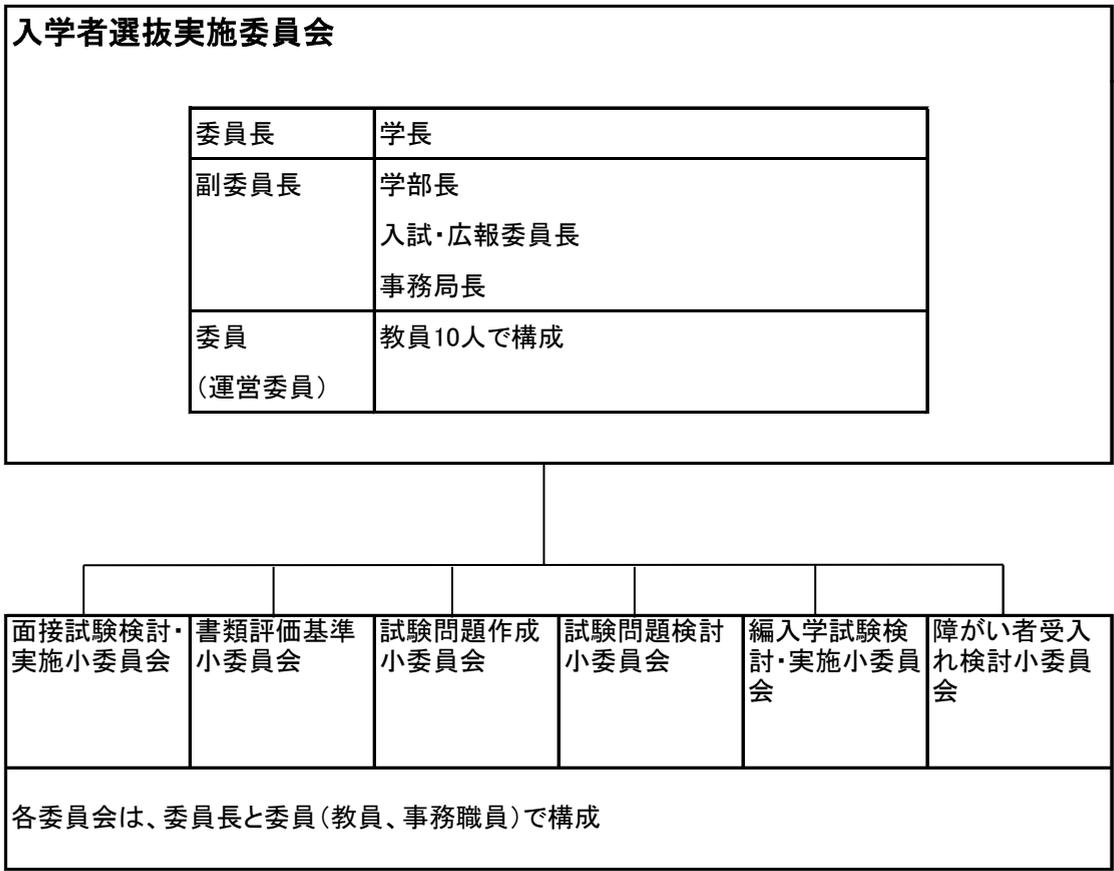
附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年7月27日から施行する。

金城大学入学者選抜実施組織



## 金城大学科目等履修生規程

## (総則)

第1条 金城大学学則第52条に規定する科目等履修生の取扱については、この規程の定めるところによる。

## (履修資格)

第2条 科目等履修生として入学できる者は、下記の通りとする。

- (1) 高等学校卒業生
- (2) 高等学校卒業生と同等以上の学力があると認められた者

## (履修の出願)

第3条 本学の開講する科目を履修しようとする者は、検定料を添えて次の書類を所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 科目等履修請願書
- (2) 科目等履修生志望理由書
- (3) 履歴書
- (4) 健康診断書
- (5) 最終学校の卒業証明書

- 2 前項の提出書類は、学長が不要と認めるときは提出を要しない。
- 3 学長が必要と認めるとき、面接等の審査を行うことがある。
- 4 検定料については別に定める。
- 5 既納の検定料は、理由の如何を問わず返還しない。

## (履修許可)

第4条 学長は履修しようとする者が科目等履修生として適当と認めるとき、教授会の議を経て履修を許可する。

- 2 許可を受けた者には、科目等履修生証を発行する。
- 3 科目履修の期間は、原則として前期、若しくは後期の半年間とする。ただし、許可を得て更新することができる。

## (履修科目の範囲)

第5条 履修を許可する科目は、本学において認められた科目とする。

- 2 履修を許可する単位数は、学期につき16単位を限度とする。
- 3 第1項にかかわらず、授業運営上支障が出る恐れのある場合には科目等履修を認めないことがある。
- 4 実習・演習科目は、原則として履修を認めない。

## (学費の納入)

第6条 科目履修を許可された者は、所定の期間内に授業料を納入しなければならない。

- 2 科目等履修生の授業料については別に定める。
- 3 既納の授業料は、理由の如何を問わず返還しない。

(試験、単位認定等)

第7条 科目等履修生は当該科目の試験を受けることができる。当該科目の単位認定に際し、試験以外の方法を取る場合も同様とする。

- 2 試験その他の方法により合格とされた場合は、所定の単位を認定する。
- 3 認定された単位については、本人の請求に基づき、単位修得証明書、成績証明書を交付する。
- 4 試験、単位認定等を含む履修の取り扱いについては、別の本学規程に準じて行う。

(施設設備の利用)

第8条 科目等履修生は原則として正規学生と同様に学内施設を利用することができる。ただし、図書館及び情報処理室の利用については別に定める。

(履修許可の取消)

第9条 科目等履修生が本学の受講生としてふさわしくないと認められる場合、あるいは、所定の期間内に授業料を納入しない場合、学長は、教授会の議を経て履修許可を取り消すことができる。

(聴講生)

第9条の2 本学において開設する科目のうち、1科目または数科目を選んで聴講を希望し、かつ、単位取得を希望しないものがあるときは、当該科目の授業に支障がない限りにおいて聴講を許可することがある。

- 2 前項の聴講生については、原則として科目等履修生の規定を準用する。ただし、詳細については別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成13年9月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年3月2日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 金城大学科目等履修生に関する細則

- 1 検定料は、1万円とする。
- 2 授業料は、1単位につき1万円とする。
- 3 金城大学卒業生、金城大学短期大学部卒業生及び在在学生については、検定料を免除する。
- 4 金城大学短期大学部在在学生については、授業料を免除する場合がある。
- 5 他大学及び短期大学の学生が単位互換協定などにより履修する場合は、検定料を免除する場合がある。
- 6 規程第3条の出願書類の提出の「所定期日」は、原則として、前期については2月末日まで、後期については8月末日までとする。
- 7 規程第6条及び第8条の授業料納入の「所定の期間」は、科目等履修の入学許可日から、当該履修科目を受講する当初までとする。
- 8 外国人の科目等履修生志願者については、日本語能力について審査を行う場合がある。
- 8の2 外国人の科目等履修生の検定料及び授業料等学納金は募集要項に定める。
- 8の3 外国人の科目等履修生については、規程第5条4項にかかわらず、実習・演習科目の履修を認めることがある。
- 9 規程第5条の「履修を許可する科目」については、教学支援部が各学期開始前に科目担当者の承諾を得るものとする。

### 附 則

この細則は、平成13年9月25日から施行する。

### 附 則

この細則は、平成15年1月21日から施行する。

金城大学定年規程

(目的)

第1条 この規程は、金城大学就業規則第11条の規程に基づいて、専任職員の定年に関する事項を定めることを目的とする。

(定年)

第2条 教育職員の定年は65歳とする。

2. 事務職員、技術職員及び用務職員の定年は60歳とする。
3. 職員は定年に達した年の学年度末に退職するものとする。

(再雇用)

第2条の2 定年退職した者を、再雇用することがある。

- 2 再雇用に関する事項については別に定める。

(定年の特例)

第3条 理事会が必要と認めた場合は定年を超えた者を、職員として採用又は雇用を継続することがある。

2. 前項による採用者は1年以内の期間を定めて任用するものとし、更に引き続き契約する必要があると認めた場合は、契約を更新することがある。
3. 前項による契約更新者は、原則として70歳を限度とする。

(定年の適用除外)

第4条 次の各号に掲げる職員については、この規程を適用しない。ただし、その雇用契約の延長期間は理事会において定める。

- (1) 学長
- (2) 理事たる職員
- (3) 理事会が、大学の運営上特に必要と認める者

附 則

1. この規程は平成12年4月1日から施行する。
2. 金城大学創設にかかわる職員については、この規程にかかわらず、理事会が個別に配慮する。

附 則

1. この規程は平成25年3月1日から施行する。

定年を超える教育職員の採用に関する特例を適用する教員一覧

(略)

## 金城大学定年退職者の再雇用に関する規程

## (目的)

第1条 この規程は、金城大学定年規程に基づき、職員の定年退職後の再雇用に関する基本的事項を定めることを目的とする。

## (適用範囲)

第2条 この規程は、専任職員に適用する。

## (再雇用の期間)

第3条 定年退職後に継続して勤務を望む専任の事務職員、技術職員及び用務職員が、就業規則で定める解雇事由又は退職事由（年齢に係るものを除く。）に該当しない者であって、高年齢者雇用安定法に基づく労使協定の定めるところにより、本条第4項の基準（以下「基準」という）を満たす者については、満65歳に達した日の属する学年度の末日まで再雇用するものとする。ただし、理事長が特に必要と認めた場合は、原則として70歳を限度として再雇用期間を更に延長することができる。

2 本条第1項で再雇用される者について、基準のいずれかを満たさない者については、第4条に定める基準の適用年齢に達した日の属する学年度の末日まで再雇用するものとする。

3 再雇用の契約期間は原則として1年とし、1年毎に更新するものとする。

4 満65歳まで再雇用する者の対象者は、次の各号の基準をすべて満たした者とする。

- (1) 健康診断又は産業医の所見により、就業上支障がないと判断される者。
- (2) 定年退職後も勤務について意欲があり、引き続き本学の建学の精神・教育方針を理解し実践できる者。
- (3) 過去3年間の勤務状況について、著しく悪い評価でない者。

## (基準の適用)

第4条 前条第4項に定める基準の適用については、次の表の左欄に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる年齢以上の者を対象に行うものとし、右欄に掲げる年齢未満の者には基準を適用しない。

平成25年4月1日から平成28年3月31日まで	61歳
平成28年4月1日から平成31年3月31日まで	62歳
平成31年4月1日から平成34年3月31日まで	63歳
平成34年4月1日から平成37年3月31日まで	64歳

## (教育職員の再雇用期間)

第5条 定年退職後に継続して勤務を望む専任の教育職員については、1年以内の期間を定めて再雇用契約を締結することができるものとし、さらに引き続き契約する必要があると認めた場合は、契約を更新することができる。

2 前項による契約更新者は、原則として70歳を限度とする。

(再雇用手続)

第6条 再雇用手続の対象となる職員には、定年退職年度又はその前年度の適当な時期に意向調査を行う。

- 2 再雇用を希望する職員の雇用形態その他の勤務条件は、この規程又は他の規程等に定めるものを除き、本人の希望、経歴、適性、健康状態等を総合的に勘案して決定する。

(勤務形態)

第7条 勤務形態は、原則として、就業規則に定める所定時間の勤務とする。ただし、業務内容や業務量等に応じて変更することがある。この場合は、個別に勤務形態を定める。

- 2 前項にかかわらず、理事長が特に認めた場合はこの限りではない。

(雇用契約の更新)

第8条 再雇用された職員（以下「再雇用者」という。）が雇用契約の更新を行う場合には、原則として第3条、第4条、第5条、第6条及び前条を準用する。

(給与及び昇給)

第9条 再雇用者の給与及び昇給については別に定める。

(退職金)

第10条 再雇用者には退職金を支給しない。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会又は常勤理事会が定める。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、理事会の議により行う。

附 則

この規程は、平成25年3月1日から施行する。

定年を超える教育職員の採用（総合経済学部総合経済学科）に関する特例

（趣旨）

第1条 この特例は、金城大学総合経済学部総合経済学科（以下「総合経済学部」という。）の設置に際し、就任時満65歳以上の教育職員（以下「特例教員」という。）又は令和8年度末までに満65歳に達する教育職員（以下「特例予定教員」という。）の採用及び雇用期間等に関し必要な事項を定めるものとする。

（採用等）

第2条 理事長は、総合経済学部の運営上又は教育研究上必要と認める場合、特例教員又は特例予定教員を専任教育職員（以下「専任教員」という。）として採用することができる。

2 前項に規定する採用について、理事長は、理事会又は常勤理事会の承認を得るものとする。

（雇用期間等）

第3条 前条第1項の専任教員は、原則として令和9年度末に退職するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、理事長は、前条第1項の専任教員が令和10年度以降も教育職員として勤務することを適当と認める場合、専任又は専任でない教育職員として雇用することができる。

（改廃）

第4条 この特例の改廃は、理事会の議に基づき理事長が行う。

附 則

この特例は、令和5年4月1日から施行する。

## 令和9年度金城大学時間割 前期(総合経済学部)(ページ1/3)

	科目名	月曜日			科目名	火曜日				
		学年	受講者	担当教員		学年	受講者	担当教員	教室	
1 講時 9:00 ~ 10:30	日本語 I 1	1	社経	呂	S107	ボランティア入門e	1	経	内	S110
	商法・会社法	2	経	岡野	E102	地域共創論	2	経	平子	E102
	ベンチャービジネス論	3	経	高木	E101	公共交通政策と健康 言葉と文化(日本語) II	3	経	西村 呂	E101 S107
2 講時 10:40 ~ 12:10	心理学 I e	1	経	渡邊	E101	基礎数学	1	経	木村	E101
	ミクロ経済学 II (不完全競争市場)	2	経	田中隆	E102	インターンシップ I	2	経	廣瀬, 松村, 松下, 平子, 廣澤, 高橋, 宮本, 栗原, 高木, 村上	E102
	自然再生論 アンチエイジングとストリートダンス	3 3	経 経	廣澤 廣瀬	E201 Aリズム室	都市環境計画  ネイチャーアクティビティ	3 4	経 経	小林 竹野	H211 E201
3 講時 13:00 ~ 14:30	英語 I ea 英語 I eb 英語 I ec 言葉と文化(中国語) I a	1 1 1 1	経a 経b 経c 社生経def	竹腰 小原 山口 呂	E201 E202 H101 S110	総合経済学入門	1	経	田中隆	E101
	食と農の経済学	2	経	松村	E102	消費者行動論 言葉と文化(中国語) III	2 2	経 社生経	王 呂	S110 S104
	環境経済論	3	経	小林	E101	連携企業PBL実習	3	経	廣瀬, 松村, 松下, 平子, 廣澤, 高橋, 宮本, 栗原, 高木, 村上	E102
4 講時 14:40 ~ 16:10	英語 I ed 英語 I ee 英語 I ef 言葉と文化(中国語) I b	1 1 1 1	経d 経e 経f 社生経abc	竹腰 小原 山口 呂	E201 E202 H101 S104	産業組織論 環境マネジメント 日本文学 日本語 III 1	2 2 2 2	経 経 理作看経 社経	王 楠部 和田 呂	E201 E102 H211 S107
	健康経営概論	3	経	竹野	E101	経済政策論	3	経	迫田	E101
	地域循環共生圏	4	経	廣澤	H211					
5 講時 16:20 ~ 17:50	社会福祉概論	1	社生子理作看経	荻原	S110	法学 I 財政学 健康と栄養	2 2 2	経 経 経	岡野 武田 任田	E101 E202 E102
	言葉と文化(英語) I ファイナンシャルプランニング実務演習	2 2	社生子理作看経 経	竹腰 北川	H206 E102					
	エコライフ論	3	経	小林	E101	データ表現演習	3	経	木村	E201

# 令和9年度金城大学時間割 前期(総合経済学部)(ページ2/3)

		水曜日				木曜日							
		科目名	学年	受講者	担当教員	教室	科目名	学年	受講者	担当教員	教室		
1 講時 9:00 ~ 10:30		健康科学e	1	経	中口	H104	スポーツec	1	経C	竹野	B101		
							学習方法演習 I ea	1	経a	木村	E201		
							学習方法演習 I eb	1	経b	齊藤	E202		
							学習方法演習 I ec	1	経c	村上	S101		
		地域経済論	2	経	平子、荒木	E102	経営組織論	2	経		E102		
		経済開発論	3	経	田中隆	E101	地域共創プロジェクト	3	経	平子、荒木、寒河江	E101		
		地域企業論Ⅱ(事業承継)	4	経	古賀、高木	E201							
2 講時 10:40 ~ 12:10							スポーツed	1	経D	竹野	B101		
							学習方法演習 I ed	1	経d	宮本	E201		
							学習方法演習 I ee	1	経e	荒木	E202		
							学習方法演習 I ef	1	経f	高木	S104		
				基礎演習 I ea	2	経a	木村	E102	企業の社会的責任	2	経	古賀	E102
				基礎演習 I eb	2	経b	齊藤	E201					
				基礎演習 I ec	2	経c	村上	E202					
				基礎演習 I ed	2	経d	宮本	S101					
				基礎演習 I ee	2	経e	荒木	S104					
				基礎演習 I ef	2	経f	高木	S201					
		健康づくりと地域発展	3	経	竹野	S207	生物多様性保全論	3	経	廣澤	E101		
		税務会計論	4	経	藪下	H202	卒業研究ゼミ I ef	4	経	廣瀬	E301		
							卒業研究ゼミ I eh	4	経	田中隆	E302		
3 講時 13:00 ~ 14:30		スポーツea	1	経A	村上	B101	経営学概論	1	経	藪下	E101		
		コンピュータ・リテラシーb	1	経B	廣瀬	E201							
		コンピュータ・リテラシーc	1	経C	木村	E202							
		金融論	2	経	迫田	E102	連携企業PBL演習Ⅰ(課題発見)	2	経	廣瀬、松村、平子、高橋、田中隆、宮本、齊藤、高木、村上	E102		
		マーケティングリサーチ	3	経	高木	E101	行政学 介護福祉論	3 経 3 子理作看経	西村 秋山	H206 S106			
4 講時 14:40 ~ 16:10		スポーツeb	1	経B	村上	B101	統計学	1	経	木村	E101		
		コンピュータ・リテラシーa	1	経A	廣瀬	E201							
		コンピュータ・リテラシーd	1	経D	木村	E202							
		マクロ経済学Ⅱ(開放経済体系と長期モデル)	2	経	田中隆	E102	メディア論	2	経	越後	H104		
		基礎ゼミ I ea	3	経	古賀	E301	連携企業PBL演習Ⅲ(解決策の実践)	3	経	廣瀬、松村、平子、高橋、田中隆、宮本、齊藤、高木、村上	E102		
		基礎ゼミ I eb	3	経	西村	E302							
		基礎ゼミ I ec	3	経	松村	E303							
		基礎ゼミ I ed	3	経	藪下	E304							
		基礎ゼミ I ee	3	経	竹野	E305							
		卒業研究ゼミ I eg	4	経	平子	E203	ファイナンシャル・マネジメント	4	経	古賀	S106		
卒業研究ゼミ I ei	4	経	廣澤	E204									
卒業研究ゼミ I ej	4	経	高橋	E205									
5 講時 16:20 ~ 17:50		経済統計学	2	経	齊藤	E102	データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)	2	経	木村	E102		
		基礎ゼミ I ef	3	経	廣瀬	E306	言葉と文化(英語)Ⅲ	3	社生子経	竹腰	S104		
		基礎ゼミ I eg	3	経	平子	E203	ITパスポートⅠ(ストラテジ系)	3	経	川邊弘	E201		
		基礎ゼミ I eh	3	経	田中隆	E307	医療経済学	3	経	中島	E101		
		基礎ゼミ I ei	3	経	廣澤	E204							
		基礎ゼミ I ej	3	経	高橋	E205							
		卒業研究ゼミ I ea	4	経	古賀	E301							
		卒業研究ゼミ I eb	4	経	西村	E302							
		卒業研究ゼミ I ec	4	経	松村	E303							
		卒業研究ゼミ I ed	4	経	藪下	E304							
卒業研究ゼミ I ee	4	経	竹野	E305									

# 令和9年度金城大学時間割 前期(総合経済学部)(ページ3/3)

		金曜日				
		科目名	学年	受講者	担当教員	教室
1 講時	9:00 ~ 10:30	環境学	2	経	宮本	E102
		民法 公共経済論	3 3	経 経	岡野 大熊	E201 E101
2 講時	10:40 ~ 12:10	社会学概論	1	経	高橋	E101
		財務会計論	2	経	古賀	E102
		計量経済学	3	経	寒河江	S207
		地域づくり論Ⅱ(コミュニティビジネス)	4	経	藪下	E201
3 講時	13:00 ~ 14:30	簿記会計	1	経	藪下	E101
		英語Ⅲa	2	経a	竹腰	E201
		英語Ⅲb	2	経b	小原	E202
		英語Ⅲc	2	経c	山口	S101
		日本語Ⅲ2	2	社経	呂	S107
リーダーシップ論	3	経	小西	E102		
健康とメンタルコンディショニング	4	経	村上	S201		
4 講時	14:40 ~ 16:10	日本語Ⅰ2	1	社経	呂	S107
		英語Ⅲd	2	経d	竹腰	E201
		英語Ⅲe	2	経e	小原	E202
		英語Ⅲf	2	経f	山口	S104
		廃棄物・再生資源論	3	経	宮本	E102
労働経済論	3	経	田中裕	E101		
5 講時	16:20 ~ 17:50	社会調査演習	2	経	高橋	E102
		保健医療データマイニング	3	経	板谷	E101

総合経済学部 卒業論文				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
卒業論文ea	4	経	古賀	
卒業論文eb	4	経	西村	
卒業論文ec	4	経	松村	
卒業論文ed	4	経	藪下	
卒業論文ee	4	経	竹野	
卒業論文ef	4	経	廣瀬	
卒業論文eg	4	経	平子	
卒業論文eh	4	経	田中隆	
卒業論文ei	4	経	廣澤	
卒業論文ej	4	経	高橋	

実習				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
ボランティア活動Ⅰ	1	経	荒木、齊藤	
ボランティア活動Ⅱ	2	経	荒木	
インターンシップⅠ	2	経	廣瀬、松村、藪下、平子、廣澤、高橋、宮本、荒木、齋藤、高木、村上	
連携企業PBL実習	3	経	廣瀬、松村、藪下、平子、廣澤、高橋、宮本、荒木、齋藤、高木、村上	

集中講義				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
英語Ⅰ(再履修)	2	社生	竹腰	1科目のみ履修 登録可
英語Ⅱ(再履修)	2	社生	竹腰	
英語Ⅲ(再履修)	3	社生	竹腰	
英語Ⅳ(再履修)	3	社生	竹腰	

いしかわシティカレッジ(*15)				
科目名	学年	担当教員	開講曜日	時間
社会学(シティカレッジ)	-	高島	水	19:10-20:40

# 令和9年度金城大学時間割 後期(総合経済学部)(ページ1/3)

	月曜日				火曜日					
	科目名	学年	受講者	担当教員	教室	科目名	学年	受講者	担当教員	教室
1 講時 9:00 ~ 10:30	ミクロ経済学 I (完全競争市場)	1	経	田中隆	E101	マーケティング論	1	経	高木	E101
	スポーツビジネス論	2	経	鈴木	E102	白山市の自然と文化	2	経	廣澤	E102
	地産地消とブランディング	3	経	松村	E201	ヘルスプロモーション演習	3	経	竹野、村上	E201
2 講時 10:40 ~ 12:10	心理学 II e	1	経	渡邊	E101	マクロ経済学 I (ケインズ経済学と経済政策)	1	経	田中隆	E101
	デジタルパフォーミング演習 言葉と文化(中国語) IV	2	経	廣瀬	E201	インターンシップ II	2	経	廣瀬、松村、松下、平子、廣澤、高橋、宮本、荒木、齋藤、高木、村上	E102
		2	社生経	呂	S203					
生態系観察演習	3	経	廣澤	E102	グリーンビジネス論	3	経	小林	E201	
3 講時 13:00 ~ 14:30	英語 II ea	1	経a	竹腰	E201	哲学	1	経	土佐	E101
	英語 II eb	1	経b	小原	E202					
	英語 II ec	1	経c	山口	S101					
言葉と文化(中国語) II a	1	社生経def	呂	S110						
自然科学	2	経	廣澤	E102	企業論	2	経	古賀	S110	
環境技術論(前半8回) 企業と環境法(後半8回)	3	経	小林	E101	連携企業PBL実習	3	経	廣瀬、松村、松下、平子、廣澤、高橋、宮本、荒木、齋藤、高木、村上	E102	
	3	経	小林	E101						
4 講時 14:40 ~ 16:10	英語 II ed	1	経d	竹腰	E201	美術	1	理作看経	山下	H211
	英語 II ee	1	経e	小原	E202	日本語 II 1	1	社経	呂	S107
	英語 II ef	1	経f	山口	S101					
言葉と文化(中国語) II b	1	社生経abc	呂	S110	国際経済論	2	経	迫田	E102	
法学 II	2	経	岡野	E102	eスポーツ論	3	経	竹田	E101	
スポーツとからだのしくみ	3	経	竹野	E101						
5 講時 16:20 ~ 17:50	言葉と文化(英語) II	2	社生子理作看経	竹腰	H207	経営戦略論	2	経		E102
	健康デザイン論	2	経	北川	E102					
	言葉と文化(日本語) I	2	社経	呂	S107					
エコライフ論	3	経	小林	E101	言葉と文化(英語) III	3	社生子経	竹腰	S104	



# 令和9年度金城大学時間割 後期(総合経済学部)(ページ3/3)

		金曜日				
		科目名	学年	受講者	担当教員	教室
1 講 時	9:00 ~ 10:30	持続可能な開発とSDGs論	1	経	宮本	E101
		経済情報論	2	経	寒河江	E102
		ユニバーサルデザインと暮らし	3	経	鳥本	E201
2 講 時	10:40 ~ 12:10	社会調査法	1	経	高橋	E101
		中小企業経営論	2	経	古賀	E102
		行政法	3	経	岡野	E201
3 講 時	13:00 ~ 14:30	北陸の経済産業史	1	経	北潟	E101
		地域共創実践論	2	経	平子、寒河江	E102
		国際環境保全論	3	経	宮本	E201
4 講 時	14:40 ~ 16:10	日本語Ⅱ2	1	社経	呂	S107
		英語Ⅳ 管理会計論	2	経	竹腰	E201
			2	経	藪下	E102
5 講 時	16:20 ~ 17:50	AI戦略論	3	経	川邊弘	E101
		ジェンダー論	2	経	高橋	E102
		言葉と文化(英語)Ⅳ	3	経	竹腰	E201
		東洋史	4	経	呂	E101

総合経済学部 卒業論文				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
卒業論文ea	4	経	古賀	
卒業論文eb	4	経	西村	
卒業論文ec	4	経	松村	
卒業論文ed	4	経	藪下	
卒業論文ee	4	経	竹野	
卒業論文ef	4	経	廣瀬	
卒業論文eg	4	経	平子	
卒業論文eh	4	経	田中隆	
卒業論文ei	4	経	廣澤	
卒業論文ej	4	経	高橋	

実習				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
ボランティア活動Ⅰ	1	経	荒木、齊藤	
ボランティア活動Ⅱ	2	経	荒木	
インターンシップⅡ	2	経	廣瀬、松村、藪下、平子、廣澤、高橋、宮本、荒木、齋藤、高木、村上	

集中講義				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
英語Ⅰ(再履修)	2	社生	理作看	竹腰
英語Ⅱ(再履修)	2	社生	理作看	竹腰
英語Ⅲ(再履修)	3	社生	理作看	竹腰
英語Ⅳ(再履修)	3	社生	理作看	竹腰

いしかわシティカレッジ(*15)				
科目名	学年	担当教員	開講曜日	時間
社会学(シティカレッジ)	-	高島	水	19:10-20:40

令和9年度金城大学時間割 前期(既設学部)(ページ1/3)

	科目名	月曜日				火曜日				
		学年	受講者	担当教員	教室	学年	受講者	担当教員	教室	
1 講時 9:00 ~ 10:30	美術	1	社生	永坂	H205	学習方法演習 I a	1	社生子	高島、川邊(音)	S104,206
	幼児教育者論	1	子	斎藤(修)	S207	学習方法演習 I e	1	社生子	岡野	H101
	ボランティア入門rn	1	理作看	内	S110	学習方法演習 I f	1	社生子	木谷	S202
	地域福祉論 I	2	社生	西	H104	スポーツna	1	社生子	松下	B101
	保育内容(環境)指導法	2	子	村上(知)	H211	理学療法概論	1	理	木林、丸尾	H207
	基礎看護学方法論演習 II(診療の援助技術)a1	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	N202,303	作業療法概論	1	作	河野(光)	H210
	基礎看護学方法論演習 II(診療の援助技術)b1	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	N202,303	英語 II nc	1	看c	守屋	H201
	アクティビティ援助特別演習(通年・隔週)	3	生	伊藤	S106	生活支援技術 I b1	2	生	伊藤、秋山	S101,2,3,C101,4,5
	地域福祉論 I	3	子	西	H104	老年学	2	理作	鬼頭	H211
	理学療法治療学Ⅲ(中枢2)	3	理	丸尾	H206,303,4,5,6	基礎看護学方法論 II(診療の援助技術)	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	N303,202
地域福祉論	3	理作	丸尾	H104	ソーシャルワーク実習指導 I	3	社生子	(*12)	(*14)	
看護教育論(8回)	3	看	舞谷	N203	運動療法実習1	3	理	小島、佐々木、永井、神谷	H206,301,3,4,5,6	
特別支援教育概論	4	社生子	三宅	H207	地域作業療法	3	作	吉武	H209	
					母性看護論	3	看	田村、浦山	N203,301	
					会計学 I	4	社生	北湯	H202	
					西洋史	4	社生子	田中(俊)	S201	
2 講時 10:40 ~ 12:10	ソーシャルワーク論 I	1	社生子	杉山	S110	学習方法演習 I b	1	社生子	松田(淳)	S104,206
	心理学 I r	1	理作	奥田	H207	学習方法演習 I c	1	社生子	野村(智)	S201
	情報処理演習na	1	看A	川邊(弘)	S206	学習方法演習 I d	1	社生子	荻原	S203
	スポーツnb	1	看B	松下	B101	スポーツhb	1	社生子	松下	B101
	法学(憲法) I	2	社生理作看	岡野	H104	解剖学 I	1	理作	佐藤	H104
	子どもの健康と安全	2	子	奥村(澄)	S106,102,3	英語 I na	1	看a	守屋	H201
	基礎看護学方法論演習 II(診療の援助技術)a2(*6)	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	C101,2,3,4,5	英語 I nc	1	看c	茶谷	H101
	基礎看護学方法論演習 II(診療の援助技術)b2(*6)	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	N202,303	英語 II nb	1	看b	竹腰	S202
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3	社生子	竹腰	S104	生活支援技術 I b2	2	生	伊藤、秋山	S101,2,3,C101,4,5
	法学(憲法) I	3	子	岡野	H104	保育実習指導 I-B	2	子	側垣、永坂、木谷、三谷、枝村、三宅	S207
理学療法研究法	3	理	野口	H211	診断治療学 II(外科系)(8回)(*7)	2	看	村上(健)	N202	
作業科学と運動・動作分析	3	作	酒野、吉武	H310	基礎ゼミ I sa	3	社生	岡村	S108	
ソーシャルワーク論 I	3	理作看	杉山	S110	基礎ゼミ I sb	3	社生	柴田	S109	
高齢者看護論	3	看	舞谷、磯、二本柳	N203,304	基礎ゼミ I sd	3	社生	三輪	S329	
					基礎ゼミ I ce	3	子	岡部	S106	
					運動療法実習2	3	理	小島、佐々木、永井、神谷	H206,301,3,4,5,6	
					作業療法治療学Ⅷ(発達)	3	作	猪狩	H209	
					母性看護学演習1	3	看	田村、浦山、梶井	N203,301	
					就労支援	4	社生情子	岡森	S110	
					更生保護	4	社生情子	岡森	S110	
					手話	4	社生情子	新田	H202	
3 講時 13:00 ~ 14:30	医学一般	1	社生	佐久間	H104	基礎演習 I pa	1	理A	小島	H209
	幼児と人間関係	1	子	川邊(音)	S207	基礎演習 I pb	1	理B	山本(拓)	H205
	スポーツna	1	看A	松下	B101	基礎演習 I oa	1	作A	吉武	H211
	情報処理演習pb	1	理B	木村	S206	基礎演習 I ob	1	作B	酒野	H210
	コミュニケーション技術	2	生	伊藤	S106	英語 I nb	1	看b	茶谷	H101
	医学一般	2	子	佐久間	H104	言葉と文化(中国語)Ⅲ	2	社生	呂	S104
	言葉と文化(中国語) I a	2	子理作看	呂	S110	介護総合演習 I(2年)	2	生	秋山、新口、三輪、伊藤	S106
	成人看護論 I(慢性期・終末期)	2	看	道券、山瀬	N202	幼児教育心理学	2	子	奥田	H206
	教職入門	2	教職	松田(淳)	S101	整形外科学 I	2	理作	野村(忠)	H104
	基礎ゼミ I sc	3	社生	新口	S108	臨床薬理学	2	看	高澤	N202
基礎ゼミ I sf	3	社生	内	S331	インターンシップ	3	社生	北湯	S202	
基礎ゼミ I sg	3	社生	西	S327	言葉と文化(中国語)Ⅲ	3	子	呂	S104	
基礎ゼミ I cb	3	子	斎藤(修)	S109	基礎ゼミ I pe	3	理	佐藤	H434	
基礎ゼミ I cd	3	子	三宅	S333	基礎ゼミ I pi	3	理	野口	H430	
理学療法治療学Ⅴ(小児)	3	理	小島	H206	基礎ゼミ I ob	3	作	猪狩	H435	
高齢者看護学演習1	3	看	二本柳、舞谷、磯、今田	N203,304	基礎ゼミ I oa	3	作	河野(光)、森島	H437	
福祉科教育法 I	3	教職	永原	S202	基礎ゼミ I oe	3	作	川口	H432	
卒業研究ゼミ I ca	4	子	永坂	S203	母性看護学演習2	3	看	田村、浦山、梶井	N203,301	
卒業研究ゼミ I sa	4	社生	岡村	S104	介護総合演習 I(教職3年)	3	社	秋山	S106	
人間の尊厳と自立	1	社生	新口	S207	幼児教育実習指導	4	子	斎藤(修)、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部、川邊(音)	S207	
言葉と文化(中国語) I c	1	社生	呂	S104	レクリエーション活動 I	1	社生理作看	下川	S106,B101	
解剖学実習a1	1	理A作A	佐藤、小島、森島	H307	日本文学	1	社生	和田	H211	
情報処理演習nb	1	看B	木村	S206	社会的養護 I	1	子	北川	S110	
ソーシャルワーク論Ⅲ	2	社生子	柴田	S110	日本語Ⅲ1	2	社	呂	S107	
人間発達学	2	理作	奥田	H207	健康論 I	2	社生	山根	S207	
感染防御(前半8回)	2	看	嶋田	N202	日本文学 I	2	理作看	和田	H211	
理学療法治療学Ⅱ(中枢1)	3	理	永井	H206,303,4,5	災害看護論(後半8回)	2	看	大月	N202	
義肢装具学o	3	作	猪狩	H209	ソーシャルワーク演習Ⅱc	3	社生子	川上	S101	
高齢者看護学演習2	3	看	二本柳、舞谷、磯、今田	N203,304	子どもの食と栄養 I	3	子	井上	H104	
ソーシャルワーク演習Ⅳc	4	社生子	杉山	S203	レクリエーション活動 I	3	子	下川	S106,B101	
ソーシャルワーク演習Ⅳd	4	社生子	西	S201	災害看護論(前半8回)	3	看	大月	N202	
社会福祉概論 I	1	社生子理作看	荻原	S110	見学実習(実習指導)p	1	理	(*8)	H104	
解剖学実習b1	1	理B作B	佐藤、小島、森島	H307	見学実習(実習指導)o	1	作	(*9)	H309	
言葉と文化(英語) I a	2	社生子理作看	竹腰	H206	医学概論(8回)	1	看	打出	H211	
スポーツ理論r	2	理作	松下	H207	保健医療概論(8回)	1	看	打出	H211	
安全管理(前半8回)	2	看	安間	N202	保育内容(健康)指導法 I	2	子	任田	S207	
社会調査	3	社生子	高島	H104	客観的臨床能力評価p	2	理	(*8)	H301,305,306	
義肢装具学p	3	理	丸尾	H211	基礎実習 I(2年実習指導)	2	作	(*9)	H310	
作業療法治療学Ⅵ(老年期)	3	作	酒野	H209	基礎看護過程論	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	N202	
					基礎ゼミ I ca	3	子	永坂	S329	
					基礎ゼミ I cc	3	子	枝村	S331	
					地域リハビリテーション学	3	理作	野村(忠)	H206	
					福祉総合学習	4	社生子	岡村、柴田、内、杉山、西、岡野、荻原	S106	

令和9年度金城大学時間割 前期(既設学部)(ページ2/3)

	科目名	水曜日				科目名	木曜日			
		学年	受講者	担当教員	教室		学年	受講者	担当教員	教室
1 講時 9:00 ~ 10:30	スポーツhc	1	社生子	松下	B101	教養ゼミ I	1	社生子	野村(智)	H201
	言葉と文化(中国語) I d	1	社生	呂	S104	英語 I rc	1	理c作c	茶谷	H101
	自然科学概論	1	理作看	川邊(弘)	H207	解剖生理学 I (総論、運動器、体液・血液)	1	看	鬼頭	N201
	情報処理演習pa	1	理A	木村	S206					
	英語Ⅲsa	2	社生	山口	H201	臨床心理学 I h	2	社生	渡邊	H104
	自然科学	2	社生	川邊(弘)	H207	認知症の理解 I	2	社生	新口	H206
	障害児保育c	2	子	岡森	H211	保育内容(音楽表現)指導法 I	2	子	枝村	S207
	運動学 I	2	理作	木林、河野	H206	検査・測定実習 I p1	2	理	永井、神谷、野口、山本(拓)	H211,301,3,4,5,6
	臨床心理学 I (8回)	2	看	高橋、三好、西坂	N202	日常生活活動学o	2	作	川口	H207
	教育概論 I	2	教職	中村	S203	国際看護論(前半8回)	2	看	一ノ山	N202、(N203)
	介護総合演習Ⅱ(3年)	3	生	伊藤、三輪、秋山、新口	S106	ソーシャルワーク論 V	3	社生子	内	S110
	介護総合演習Ⅲ(3年)	3	生	伊藤、三輪、秋山、新口	S106	臨床心理学 I h	3	子	渡邊	H104
	障害児保育s	3	社生	大塚	S207	基礎ゼミ I oc	3	作	鈴木、吉武	H435
	ソーシャルワーク演習Ⅱa	3	社生子	清水	S108	看護情報論(後半8回)	3	看	田中(克)	N203
自然科学	3	子	川邊(弘)	H207	国際看護論(前半8回)	3	看	一ノ山	N203、(N202)	
基礎ゼミ I pj	3	理	山本(拓)	H431						
基礎ゼミ I pb	3	理	永井	H434,305						
基礎ゼミ I pa	3	理	奥田	C棟研究室						
チーム医療演習	3	看	舞谷、北山、調整中、磯、山瀬	N203(N201)	統計学	4	社生子	齊藤(実)	S206	
教育相談の基礎	4	教職	平口	S201						
2 講時 10:40 ~ 12:10	健康科学	1	社生理作	中口	H104	高齢者福祉論h	1	社生	野村(智)	S110
	スポーツhd	1	社生子	松下	B101	教育課程論	1	子	斎藤(修)	S106
	言葉と文化(中国語) I e	1	社生	呂	H101	英語Ⅱrb	1	理b作b	熊田	H201
	心理学 I n	1	看	渡邊	H207	英語 I rd	1	理d作d	茶谷	H101
	英語Ⅲsb	2	社生	山口	H201	栄養代謝学(8回)	1	看	鬼頭	N201
	発達心理学 I	2	社子	奥田	S110					
	日常生活活動学p	2	理	木林	H206	生活支援	2	生	秋山、伊藤	S101,2,3,G101,4,5
						情報処理演習Ⅱc	2	子	齊藤(実)	S206
						検査・測定実習 I p2	2	理	永井、神谷、野口、山本(拓)	H211,301,3,4,5,6
						検査・測定論 I o	2	作	川口、森島	H205,310
	ソーシャルワーク演習Ⅱb	3	社生子	清水	S108					
	経済学Ⅱ	3	社生	田中(隆)	H209					
	幼児教育実習指導	3	子	森藤(修)、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部、川邊(啓)	S106					
	健康科学	3	子	中口	H104	総合的な学習の時間の指導法	3	教職	中條	H102
理学療法治療学 I (運動器)	3	理	小島、佐々木、寺尾	H211,301,3,4,5,6	高齢者福祉論h	3	子	野村(智)	S202	
作業療法治療学 V (内部疾患)	3	作	河野(光)	H210	基礎ゼミ I pc	3	理	丸尾	S110	
精神看護論	3	看	一ノ山、境	N203,302	基礎ゼミ I pg	3	理	小島	H434,209	
					作業療法研究法	3	作	河野(光)	H432	
					小児看護論	3	看	金谷、長村	H309	
点字	4	社生子	古本	S202						
経済学Ⅱ	4	子	田中(隆)	H209	チームマネジメントⅡ	4	生	山根、三輪、新口	N203,301	
特別活動の指導法	4	教職	今井	H102	卒業研究ゼミ I cd	4	子	枝村	S201	
3 講時 13:00 ~ 14:30	心理学 I h	1	社生子	渡邊	H104	英語 I h	1	社生子	竹腰	S110
	自然科学Ⅲ(数学系)	1	理作看	沖	H202	自然科学 I (生物系)r	1	理作	沖	H207
	高齢者福祉論rn	1	理作看	野村(智)	S110	基礎演習 I (スタディスキル)	1	看	北山、舞谷、野上(睦)、釜谷	N202
	情報処理演習Ⅱs	2	社生	齊藤(実)	S206	教養ゼミⅢ(海外文化)	2	社生子	ウエスタハウト	H102
	保育者論	2	子	岡田	H207	健康論Ⅱ	2	社生	三輪	H211
	基礎理学療法治療学	2	理	山本(拓)	H206	介護福祉論 I b	2	社	磯貝	S106
	検査・測定実習 I ol	2	作	川口、森島	H210,310	英語Ⅲca	2	子	熊田	S101
						器楽Ⅱa	2	子	(*10-①)	H201,2,8
						内科学 I	2	理作	佐久間	H104
	保育方法論	3	子	三谷、川邊(弘)	S207					
	理学療法治療学実習 I 1	3	理	小島、佐々木、寺尾、野口	H211,301,3,4,5,6	生活支援技術Ⅲ	3	生	山根	S207
	基礎ゼミ I od	3	作	酒野	H436	介護福祉論 I b	3	子理作看	磯貝	S106
	精神看護学演習1	3	看	一ノ山、境	N203,302	作業療法治療学実習Ⅲ(精神)1	3	作	猪狩	H209,309
						小児看護学演習1	3	看	金谷、長村	N203,301
介護総合演習Ⅳ(4年)(*6)	4	生	新口	S101						
卒業研究ゼミ I cc	4	子	側垣	S331	卒業研究ゼミ I sf	4	社生	内	S201	
					卒業研究ゼミ I sb	4	社生	柴田	S203	
					卒業研究ゼミ I sg	4	社生	西	S327	
					卒業研究ゼミ I cb	4	子	斎藤(修)	S109	
4 講時 14:40 ~ 16:10	生理学	1	社生	鬼頭	S110	介護福祉論 I a	1	社生	秋山	S207
	リハビリテーション概論	1	理作看	木林、河野(光)	H104	幼児教育原理	1	子	斎藤(修)	S110
	教育課程総論	1	子	岡田	H207	英語 I ra	1	理a作a	宮本	H101
	アクティビティ・サービス I	2	生	伊藤	S207	解剖学実習b2(*6)	1	理B作B	佐藤、小島、森島	H307
	保育実習指導 I -A	2	子	森藤(修)、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部、川邊(啓)	S106	公衆衛生学	1	看	安間	N202
	運動療法学 I	2	理	神谷	H206	器楽Ⅱb	2	子	(*10-②)	H201,2,8
	検査・測定実習 I o2	2	作	川口、森島	H210,310	検査・測定論 I p	2	理	神谷、永井、野口、山本(拓)	H211,301,3,4,5,6
	診断治療学 I (内科系)	2	看	安間	N202	作業療法治療学 I (身体)	2	作	鈴木	H210
	生活支援技術 I a1	3	子・教職	磯貝	C101,3,4,5	作業療法治療学実習Ⅲ(精神)2	3	作	猪狩	H209,309
	理学療法治療学実習 I 2	3	理	小島、佐々木、寺尾、野口	H211,301,3,4,5,6	小児看護学演習2	3	看	金谷、長村	N203,301
	生活環境学o	3	作	鈴木	H209					
	精神看護学演習2	3	看	一ノ山、境	N203,302	ソーシャルワーク実習指導Ⅲa	4	社生子	西	S203
	ソーシャルワーク演習Ⅳa	4	社生子	岡村	S203	ソーシャルワーク実習指導Ⅲb	4	社生子	杉山	S201
	ソーシャルワーク演習Ⅳb	4	社生子	柴田	S202	ソーシャルワーク実習指導Ⅲc	4	社生子	岡村	S202
生理学	4	子	鬼頭	S110	ソーシャルワーク実習指導Ⅲd	4	社生子	内	S329	
					ソーシャルワーク実習指導Ⅲe	4	社生子	柴田	S104	
					ソーシャルワーク実習指導Ⅲf	4	社生子	荻原	S331	
5 講時 16:20 ~ 17:50	解剖学Ⅱ	1	理作	佐藤	H104	幼児と言葉	1	子	岡部	S207
	基礎演習 I hb	2	社生子	野村(智)	S203	解剖学実習a2	1	理A作A	佐藤、小島、森島	H307
	基礎演習 I hc	2	社生子	荻原	S104	英語Ⅱrd	1	理d作d	宮本	H101
	基礎演習 I hd	2	社生子	岡野	H101	自然科学 I (生物系)n	1	看	沖	N202
	基礎演習 I he	2	社生子	木谷	S101					
	基礎演習 I hf	2	社生子	岡部、川邊(音)	H206	作業療法治療学Ⅱ(整形系)	2	作	吉武	H210
	基礎演習 I ha	2	社生子	高島、渡邊	H102					
	介護過程演習Ⅱ	3	生	新口	S201	人文地理	3	社生子理作	柴田	H104
	生活支援技術 I a2	3	子・教職	磯貝	C101,3,4,5	ソーシャルワーク演習Ⅱd	3	社生子	荻原	S203
	理学療法治療学Ⅳ(内部疾患)	3	理	佐々木、野口	H211,301,3,4,5,6	地域理学療法	3	理	木林、山本(拓)	H211
	基礎実習Ⅱ	3	作	(*9)	H310	卒業研究ゼミ I nb	3	看	調整中	N428
	卒業研究ゼミ I nf	3	看	舞谷	N429	卒業研究ゼミ I ne	3	看	北山	N431
	卒業研究ゼミ I ng	3	看	二本柳	N430	卒業研究ゼミ I nd	3	看	田中(克)	N426
	卒業研究ゼミ I nn	3	看	磯	N428	卒業研究ゼミ I nh	3	看	金谷	N424
卒業研究ゼミ I nm	3	看	田村	N431	卒業研究ゼミ I nj	3	看	道券	N425	
卒業研究ゼミ I no	3	看			卒業研究ゼミ I ni	3	看	山瀬	N429	
国際福祉政策	4	社生子	岡村	S202						

令和9年度金城大学時間割 前期(既設学部)(ページ3/3)

	科目名	金曜日			教室
		学年	受講者	担当教員	
1 講時	経営学概論	1	社生	北潟	S106
	英語Ⅱra	1	理a作a	竹腰	S203
	英語Ⅰrb	1	理b作b	宮本	H201
	社会保障論Ⅰ	2	社生	沖	S110
	保育内容(言葉)指導法Ⅱ	2	子	岡部	H207
	神経内科学Ⅰ	2	理作	鬼頭	H104
	介護福祉論Ⅲ	3	生	秋山	S207
	社会保障論Ⅰ	3	子	沖	S110
	理学療法画像評価学	3	理	寺尾	H211
	看護管理論(8回)	3	看	野上(悦)	N203
2 講時	自然地理	4	社生子	青木	H202
	医療的ケアⅡ1	4	生	三輪、山根、奥村(澄)、新川	S101,2,3
	ボランティア入門h	1	社生子	内	S110
	英語Ⅱrc	1	理c作c	宮本	H201
	情報処理演習o	1	作	川邊(弘)	S206
	英語Ⅱna	1	看a	小原	N202
	言葉と文化(英語)Ⅰb	2	社生子理作看	竹腰	S201
	言葉と文化(中国語)Ⅰb	2	子	蘇	S106
	小児科学	2	理作	野村(忠)	H206
	スポーツ理論n	2	看	竹野	H207
3 講時	公的扶助論	3	社生子	岡野	H104
	基礎ゼミⅠph	3	理	神谷	H430
	在宅看護論	3	看	彦、子吉、南	N203,304
	医療的ケアⅡ2	4	生	三輪、山根、奥村(澄)、新川	S101,2,3
	乳児保育Ⅰ	1	子	山本(真)	S106
	看護概論	1	看	田中(克)	N202
	公衆衛生学hr	1	理作	打出	H104
	英語Ⅲsc	2	社生	熊田	H101
	保育内容(人間関係)指導法Ⅰ	2	子	川邊(音)	H206
	臨床心理学Ⅰr	2	理作	長尾	H207
解剖生理学Ⅲ(泌尿生殖器、神経系)	2	看	鬼頭	H211	
リハビリテーション論	2	社生	木林	H210	
日本語Ⅲ2	2	社	呂	S107	
4 講時	認知症の理解Ⅱ	3	生	中野(裕)、新川、吉岡(夏)	S207
	リハビリテーション論	3	子	木林	H210
	器楽Ⅳ	3	子	(*10-③)	H201,2,8
	在宅看護学演習1	3	看	子吉、彦、南	N203,304
	公衆衛生学hr	4	社生子	打出	H104
	言葉と文化(中国語)Ⅰf	1	社生	呂	S207
	保育原理Ⅰ	1	子	石倉	H201
	生理学Ⅰ	1	理作	鬼頭	H104
	言葉と文化(英語)Ⅰb	2	社生子理作看	竹腰	S201
	保育内容(造形表現)指導法Ⅰ	2	子	永坂	S106,H107
物理療法	2	理	寺尾	H206	
5 講時	幼児理解と教育相談	3	子	長尾	H207
	病態運動学	3	理	神谷	H211
	作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)	3	作	鈴木	H310
	在宅看護学演習2	3	看	子吉、彦、南	N203,304
	介護マネジメント	4	生	秋山、岩尾、中野(朋)、福田、綿谷	S101
	社会学a	1	社生子	高島	H104
	権利擁護と成年後見	2	社生	岡野	S110
	英語Ⅲcb	2	子	熊田	H201
	精神医学	2	理作	松原、坂井	H211
	宗教学	3	社生子	内	S110
基礎ゼミⅠpd	3	理	佐々木	H102	
基礎ゼミⅠpf	3	理	寺尾	H434	
卒業研究ゼミⅠna	3	看	境	N424	
卒業研究ゼミⅠnc	3	看	彦	N430	
卒業研究ゼミⅠni	3	看	野上(悦)	N428	
卒業研究ゼミⅠnl	3	看	子吉	N425	
卒業研究ゼミⅠnk	3	看	野上(睦)	N429	
権利擁護と成年後見	4	子	岡野	H206	
教育実習指導(通年・隔週)	4	教職	川邊(弘)、松田(淳)	S101	

人間社会科学部 卒業論文・事例研究				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
卒業論文sa	4	社生	岡村	
卒業論文sb	4	社生	柴田	
卒業論文sd	4	社生	内	
卒業論文se	4	社生	西	
卒業論文sf/事例研究b	4	社生	新口	
卒業論文ca	4	子	永坂	
卒業論文cb	4	子	斎藤(修)	
卒業論文cc	4	子	側垣	
卒業論文cd	4	子	枝村	

医療健康学部 卒業論文				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
卒業論文23pa~pk	4	理		
卒業論文23oa~od	4	作		

看護学部 卒業論文				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
卒業論文na	4	看	境	
卒業論文nb	4	看	調整中	
卒業論文nc	4	看	彦	
卒業論文nd	4	看	田中(克)	
卒業論文ne	4	看	北山	
卒業論文nf	4	看	舞谷	
卒業論文ng	4	看	二本柳	
卒業論文nh	4	看	金谷	
卒業論文ni	4	看	野上(悦)	
卒業論文nj	4	看	道券	
卒業論文nk	4	看	野上(睦)	
卒業論文nl	4	看	子吉	
卒業論文nm	4	看	田村	
卒業論文nn	4	看	磯	
卒業論文no	4	看	山瀬	

実習				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
ボランティア活動Ⅰ	1	社生子理作看	(*11)	
ボランティア活動Ⅱ	2	社生子理作看	内、小島、酒野、道券、長村	
ソーシャルワーク実習Ⅰ	3	社生子	(*12)	
ソーシャルワーク実習Ⅲ	3	社生子	(*12)	
ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ	4	社生子	(*12)	
インターンシップ	3	社生	北潟、平子	
介護実習Ⅰ(2年)	2	生	秋山、山根、三輪、新口、伊藤	
介護実習Ⅱ(2年)	2	生	秋山、山根、三輪、新口、伊藤	
介護実習Ⅲ(3年)	2	生	伊藤、秋山、山根、三輪、新口	
介護実習Ⅳ(4年)	2	生	新口、秋山、山根、三輪、伊藤	
介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	3	生		
介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	4	生		
保育実習Ⅰ-A	2	子	斎藤(修)、永坂、木谷、松下、三谷、枝村、岡部、川邊(音)	
保育実習Ⅰ-B	2	子	側垣、永坂、木谷、三谷、枝村、三宅	
保育実習Ⅱ	2	子	斎藤、枝村、岡部、木谷、永坂、松下、三谷	
保育実習Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ	3	子		
幼児教育実習Ⅰ	3	子	斎藤、枝村、岡部、木谷、永坂、松下、三谷	
幼児教育実習Ⅱ	3	子	斎藤、枝村、岡部、木谷、永坂、松下、三谷	
幼児教育実習Ⅰ・Ⅱ	4	子		
地域支援実習	1	理作	(*8)(*9)	
見学実習p	1	理	(*8)	
総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)p	2	理	(*8)	
総合臨床実習Ⅲp	4	理	(*8)	
見学実習o	1	作	(*9)	
基礎実習Ⅰ	2	作	(*9)	
基礎実習Ⅲ(学外)	2	作	(*9)	
総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)o	2	作	(*9)	
基礎実習Ⅱ	3	作	(*9)	
総合臨床実習Ⅲo	4	作	(*9)	
基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	
基礎看護学実習Ⅱ(療養生活援助実習)	2	看	田中(克)、野上(睦)、野上(悦)、釜谷	
小児看護学実習	4	看	金谷、長村	
母性看護学実習	4	看	田村、浦山、梶井	
精神看護学実習	4	看	一ノ山、境	
在宅看護学実習	4	看	彦、子吉、南	
統合実習	4	看	(*16)	
介護実習Ⅰ(教職3年)	3	社	秋山	
教育実習Ⅰ(通年)	4	教職	川邊(弘)、松田(淳)	
教育実習Ⅱ(通年)	4	教職	川邊(弘)、松田(淳)	

集中講義				
科目名	学年	受講者	担当教員	備考
英語Ⅰ(再履修)	2	社生子理作看	竹腰	
英語Ⅱ(再履修)	2	社生子理作看	竹腰	1科目のみ履修登録可
英語Ⅲ(再履修)	3	社生子理作看	竹腰	
英語Ⅳ(再履修)	3	社生子理作看	竹腰	
教養ゼミⅢ	2	社生子	岡野	
教養ゼミⅢ(課題解決学修)	2	社生子	川邊(弘)	
海外文化・福祉事情	2	社生子	高島、竹腰、蘇	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	社生子	(*12)	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	社生子	(*12)	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ	4	社生子	(*12)	
介護総合演習Ⅱ(2年)	2	生	秋山	
介護総合演習Ⅲ(2年)	2	生	秋山	
介護総合演習Ⅳ(2年)	2	生	秋山	
介護総合演習Ⅰ・Ⅳ	3	生		
介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	生		
保育実習指導Ⅱ	2	子	斎藤(修)、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部、川邊(音)	
保育実習指導Ⅰ-A・Ⅰ-B	3	子		
解剖学Ⅳ	2	理作	佐藤	
リハビリテーション・マネジメント演習	3	理	佐々木、野口	
客観的臨床能力評価o	2	作	(*9)	
客観的臨床能力評価o	3・4	作	(*9)	
卒業研究ゼミⅡna~no	4	看		

いしかわシティカレッジ(*15)				
科目名	学年	担当教員	開講曜日	時間
社会学(シティカレッジ)b	-	高島	水	19:10-20:40

時間割上の建物および教室表記について  
 校舎を表すアルファベットを先頭に教室番号を組み合わせて表示しています。  
 詳しくは、学生便覧を参照のこと。  
 人間社会科学部棟「S」、医療健康学部棟「H」、看護学部棟「N」  
 福祉専攻棟「C」、体育館(日光アリーナ)「B」  
 例: S101→S棟101教室、B101→体育館

令和9年度金城大学時間割 後期（既設学部）（ページ1/3）

	月曜日					火曜日					
	科目名	学年	受講者	担当教員	教室	科目名	学年	受講者	担当教員	教室	
1 講時 9:00~10:30	言葉と文化(中国語)Ⅱa	1	社生	蘇	S201	障害者福祉論s	1	社生	野村(智)、岡森	S110	
	自然科学Ⅳ(化学系)	1	理作看	川邊(弘)	S101	情報処理演習Ⅰc	1	子	川邊(弘)	S206	
	白山市の自然と文化	1	看	松田	H211	生命と医療の倫理	1	理作	打出	H104	
	英語Ⅳna	1	看a	竹腰	S104	解剖生理学Ⅱ(血液循環、呼吸、消化吸収、内分泌)	1	看	曾我	H207	
	教育制度論	2	社生	岡野	S207	英語Ⅳsc	2	社生子	竹腰	S202	
	教育制度論	2	子	岡野	S207	臨床心理学Ⅱsc	2	社生	渡邊	S106	
	言葉と文化(中国語)Ⅱa	2	子看	蘇	S201	障害者福祉論s	2	子	野村(智)、岡森	S110	
	病理学	2	理作	市丸	H206	運動学実習1	2	理作	野口、寺尾、犬丸、酒野	H211,301,3,4,5,9,10	
	カウンセリング演習n	2	看	渡邊	N203	在宅看護学概論(前半8回)	2	看	彦	N203	
	聴覚障害者教育論(前半8回)	3	社生	出和	S108	介護過程演習Ⅲ1	3	生	秋山	S101	
	高齢者の心理	3	社生	奥田	H207	臨床心理学Ⅱsc	3	子	渡邊	S106	
	白山市の自然と文化	3	社生子	松田	H211	教育心理学	4	社生	奥田	H101	
	統計学r1	3	理作	木村	S206,H104	保育・教職実践演習(幼稚園)a	4	子A	齋藤、永坂、木谷、枝村、岡部、三谷	S201	
	福祉行財政と福祉計画	4	社生子	西	S110	保育・教職実践演習(幼稚園)b	4	子B	齋藤、永坂、木谷、枝村、岡部、三谷	S207	
	高齢者の心理	4	理作看	奥田	H207						
	2 講時 10:40~12:10	スポーツ理論s	1	社生子	松下	S110	学習方法演習Ⅱa	1	社生子	高島	H209
		リハビリテーション医学	1	理作	染矢	H207	学習方法演習Ⅱb	1	社生子	松田	S110
ソーシャルワーク演習Ⅰa		2	社子	杉山	S101	学習方法演習Ⅱc	1	社生子	野村(智)	H202	
ソーシャルワーク演習Ⅰb		2	社子	側垣	S201	学習方法演習Ⅱd	1	社生子	荻原	H210	
ソーシャルワーク演習Ⅰc		2	社子	荻原	S202	学習方法演習Ⅱe	1	社生子	岡部	S101	
アクティビティ・サービスⅡ		2	生	伊藤	S207	学習方法演習Ⅱf	1	社生子	岡野	S202	
小児看護学概論(前半8回)		2	看	矢野	N203	学習方法演習Ⅱg	1	社生子	木谷	S203	
チーム医療論(後半8回)		2	看	一ノ山、彦	N203	心理学Ⅱr	1	理作	奥田	S207	
言葉と文化(中国語)Ⅳ		3	子	呂	S203	英語Ⅲnc	1	看c	茶谷	H201	
ソーシャルワーク論Ⅵ		3	社生子	内	S106	言葉と文化(中国語)Ⅳ	2	社生	蘇	S104	
統計学r2		3	理作	木村	S206,H104	介護総合演習Ⅰ(2年)	2	生	伊藤、三輪、山根、秋山、新口	S106	
社会保障Ⅰ		4	社生	岡野	S104	介護総合演習Ⅱ(2年)	2	生	伊藤、三輪、山根、秋山、新口	S106	
卒業研究ゼミⅡca		4	作	永坂	S333	運動学実習2	2	理作	野口、寺尾、犬丸、酒野	H211,301,3,4,5,9,10	
卒業研究ゼミⅡob		4	作	犬丸	H434	診断治療学Ⅴ(精神)(前半8回)	2	看	細川	N203	
卒業研究ゼミⅡoa		4	作	猪狩	H435	地域と看護(後半8回)	2	看	曾根	N203	
卒業研究ゼミⅡod		4	作	酒野	H437	政治学	3	社生	大西	H104	
						介護総合演習Ⅰ(教職3年)	3	社	伊藤	S106	
						基礎ゼミⅡ×4	3	子	欄外別記	欄外別記	
					総合臨床実習Ⅱ(評価)p1	3	理	(*10)	H206		
					政治学	4	子	大西	H104		
3 講時 13:00~14:30	情報処理演習Ⅰsb	1	社生	木村	S206	英語Ⅱsa	1	社生	茶谷	H201	
	幼児と造形表現	1	子	永坂	H107,S106	乳児保育Ⅱ	1	子	山本(真)	H107	
	安全管理r(後半8回)	1	理作	佐久間	H104	基礎演習Ⅱpa	1	理A	小島	H209	
	感染防御r(前半8回)	1	理作	佐久間	H104	基礎演習Ⅱpb	1	理B	山本(拓)	H210	
	社会保障制度論(後半8回)	1	看	岡野	H209	基礎演習Ⅱoa	1	作A	犬丸	H211	
	データサイエンスscrm(後半8回)	2	社生子理作看	川邊(弘)	H101	基礎演習Ⅱob	1	作B	酒野	H436	
	教育概論Ⅱ	2	社生	永原	S333	保健医療制度論(前半8回)	1	看	岡森	H104	
	ソーシャルワーク演習Ⅰe	2	生B	内	S201	石川県・白山市の保健医療事情(後半8回)	1	看	曾根、堀田	H104	
	障害児保育演習Ⅰ	2	子	岡森	H207	基礎演習Ⅱa	2	社生子	高島	S201	
	解剖学Ⅲ(再履修)	2	理作	佐藤	H201	基礎演習Ⅱb	2	社生子	松田	S202	
	母性看護学概論(前半8回)	2	看	田村、浦山	N203	基礎演習Ⅱc	2	社生子	野村(智)	S110	
	アクティビティ援助特別演習(通年・隔週)	3	生	伊藤	S202	基礎演習Ⅱd	2	社生子	荻原	S101	
	子ども家庭支援の心理学	3	子	上野	S207	基礎演習Ⅱe	2	社生子	岡部	S203	
	義肢装具実習p1	3	理	丸尾、吉田	H211,302,3,4,5,6	基礎演習Ⅱf	2	社生子	岡野	S104	
	東洋史	3	理作	蘇	H206	基礎演習Ⅱg	2	社生子	佐伯	H202	
	東洋史	4	社生子	蘇	H206	基礎演習Ⅱh	2	社生子	木谷	S109	
	卒業研究ゼミⅡpk	4	理	山本(拓)	H202	整形外科Ⅱ	2	理作	野村(忠)	H206	
	卒業研究ゼミⅡpa	4	理	奥田	奥田研究室:H210	成人看護学演習Ⅱ1	2	看	岩城、山瀬	N203	
卒業研究ゼミⅡpg	4	理	小島	H430	基礎ゼミⅡ×6	3	社生	欄外別記	欄外別記		
					卒業研究ゼミⅠpa	3	理	奥田	奥田研究室		
					卒業研究ゼミⅠpd	3	理	佐々木	H430		
					卒業研究ゼミⅠoc	3	作	河野(光)	H437		
					卒業研究ゼミⅠoa	3	作	猪狩	H435		
					介護総合演習Ⅳ(4年)	4	生	秋山	S106		
4 講時 14:40~16:10	日本語表現	1	社生子	三浦	H207	言葉と文化(中国語)Ⅱd	1	社生	蘇	S202	
	社会的養護Ⅱ	1	子	北川	S106	幼児と健康	1	子	任田	S207	
	生理学実習a1	1	理A作A	西本、市丸、吉武	H307	美術	1	理作看	山下	H211	
	言葉と文化(英語)Ⅱa	2	社生子理作看	竹腰	S104	社会福祉施設経営論	2	社生子	堂田	H104	
	教育方法論	2	社生	川邊(弘)、永原	S201	日本文学Ⅱ	2	理作看	和田	H202	
	保育内容(人間関係)指導法Ⅱ	2	子	上野	S207	成人看護学演習Ⅱ2	2	看	岩城、山瀬	N203	
	作業療法治療学実習Ⅰ(身体)1	2	作	犬丸	H309,310	哲学	3	社生子	土佐	H206	
	社会学	2	理作看	高島	S202	子どもの食と栄養Ⅱ	3	子	井上	S106	
	成人看護学演習Ⅰ1	2	看	道券、北山、岩城、山瀬	N203	日本語Ⅱ1	1	社	寺崎、桜井、長田、田中、鹿野	S107	
	チームマネジメントⅠ	3	生	新口	S101						
	義肢装具実習p2	3	理	丸尾、吉田	H211,302,3,4,5,6						
	作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)1	3	作	酒野	H310						
	卒業研究ゼミⅡcb	4	子	三谷	S331						
	卒業研究ゼミⅡce	4	子	側垣	S203						
	卒業研究ゼミⅡpe	4	理	佐藤	H210						
	5 講時 16:20~17:50	生理学実習a2	1	理A作A	西本、市丸、吉武	H307	児童・家庭福祉論	1	子	三宅	S110
スポーツpb		1	理B	松下	B101	見学実習(実習指導)p	1	理	(*10)	H104	
自然科学Ⅱ(物理系)		1	理作看	木村	S101	見学実習(実習指導)o	1	作	(*11)	H309	
言葉と文化(英語)Ⅱa		2	社生子理作看	竹腰	H207	病理病態学2(20回)	1	看	曾我	H211	
作業療法治療学実習Ⅰ(身体)2		2	作	犬丸	H309,310	児童・家庭福祉論	2	社生	三宅	S110	
成人看護学演習Ⅰ2		2	看	道券、北山、岩城、山瀬	N203	保育内容(健康)指導法Ⅱ	2	子	任田	S207	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱa		3	社生子	西	S331	客観的臨床能力評価p	2	理	(*10)	H305,306	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱb		3	社生子	杉山	S201	基礎実習Ⅰ(2年実習指導)	2	作	(*11)	H310	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱc		3	社生子	岡村	S202	看護学研究法	2	看	一ノ山、二本柳、彦、田中	N203	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱd		3	社生子	内	S203	医療福祉論	3	社生子	岡村	S106	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱe		3	社生子	柴田	S104	日本文学	3	子	和田	H202	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱf		3	社生子	荻原	H202						
義肢装具実習p3		3	理	丸尾、吉田	H211,302,3,4,5,6						
作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)2		3	作	酒野	H310						
卒業研究ゼミⅡnm		4	看	田村	N431						
卒業研究ゼミⅡnn		4	看	道券	N429						
卒業研究ゼミⅡnj		4	看	矢野	N428						
卒業研究ゼミⅡnh		4	看	二本柳	N426						

令和9年度金城大学時間割 後期（既設学部）（ページ2/3）

	水曜日					木曜日				
	科目名	学年	受講者	担当教員	教室	科目名	学年	受講者	担当教員	教室
1 講時 9:00~10:30	英語Ⅱsb	1	社生	山口	H202	ソーシャルワーク論Ⅱ	1	社生子	杉山	S110
	幼児体育	1	子	松下	B101	英語Ⅳra	1	理a作a	竹腰	S104
	英語Ⅳrc	1	理c作c	David Abe	H210	成人看護学概論(前半8回)(*5)	1	看	岩城、北山	N203
	障害者福祉論rn	1	理作看	野村(智)	S110	カウンセリングⅠ	2	社生	渡邊	S106
	医療英語a	1	看a	ウェスリー	H101	ソーシャルワーク演習Ⅰd(*2)	2	生A	岡村	S202
	英語Ⅳnb	1	看b	小原	H201	保育内容(音楽表現)指導法Ⅱ	2	子	枝村	S207
	生活支援技術Ⅱ1	2	生	伊藤、山根	S101,2,3	物理療法実習1	2	理	寺尾、神谷	H211,301,3,4,5,6
	保育実習指導Ⅱ	2	子	高藤、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部	S106	検査・測定実習Ⅱo1	2	作	川口、吉武	H310
	内科学Ⅱ	2	理作	大戸	H104	統計学n1	2	看	沖	S206,H207
	感染防御n(前半8回)	2	看	嶋田	N203	家事支援技術1	3	生	秋山	C101,3,4,5
	臨床心理学Ⅱn(後半8回)	2	看	高橋(ひ)、三好、西坂	N203	カウンセリングⅠ	3	子	渡邊	S106
	生命科学	3	社生子	川邊(弘)	S203	卒業研究ゼミⅠpj	3	理	山本(拓)	H201
	ソーシャルワーク演習Ⅲa	3	社生子	清水	S202	卒業研究ゼミⅠpb	3	理	永井	H202
	理学療法治療学実習Ⅱ1	3	理	寺尾、永井、神谷、丸尾	H211,301,3,4,5,6	作業療法管理学1	3	作	河野(光)	H209
	基礎実習Ⅱ(3年実習指導)	3	作	(*11)	H310	人的資源管理論	4	社生	北湯	H101
	卒業研究ゼミⅡsa	4	社生	岡村	S331	ソーシャルワーク論Ⅱ	4	理作看	杉山	S110
	卒業研究ゼミⅡsd	4	社生	新口	S104					
	総合学習p1	4	理	奥田	H206					
2 講時 10:40~12:10	英語Ⅱsc	1	社生	山口	H202	幼児と環境	1	子	村上	H207
	情報処理演習Ⅰsa	1	社生	沖	S206	英語Ⅲrd	1	理d作d	熊田	S201
	スポーツpa	1	理A	松下	B101	英語Ⅳrb	1	理b作b	竹腰	S104
	英語Ⅳrd	1	理d作d	David Abe	H210	日本史Ⅰb	1	理作看	加納	S110
	日本史Ⅰa	1	理作看	加納	S203	基礎演習Ⅱ(プロフェッショナルスキル)	1	看	二本柳、矢野、境、釜谷、子吉	N203
	英語Ⅲna	1	看a	茶谷	H209	日本史Ⅰb	2	社生	加納	S110
	医療英語b	1	看b	ウェスリー	H101	カウンセリングⅡ	2	社生	渡邊	S106
	英語Ⅳnc	1	看c	小原	H201	発達と老化の理解	2	生	山根	S207
	日本史Ⅰa	2	社生	加納	S203	器楽Ⅲc	2	子c	(*13-2)	H201,2,8
	生活支援技術Ⅱ2	2	生	伊藤、山根	S101,2,3	物理療法実習2	2	理	寺尾、神谷	H211,301,3,4,5,6
	子ども家庭支援論	2	子	側垣	S207	検査・測定実習Ⅱo2	2	作	川口、吉武	H310
	検査・測定論Ⅱo	2	作	川口、吉武	H310	免疫学(前半8回)	2	看	曾我	H206
	看護関係法規(後半8回)	2	看	野上(悦)	N203	家事支援技術2	3	生	秋山	C101,3,4,5
	疫学・保健統計入門(前半8回)	2	看	横山	N203	カウンセリングⅡ	3	子	渡邊	S106
	ソーシャルワーク演習Ⅲb	3	社生子	清水	S202	日本史Ⅰb	3	子	加納	S110
	幼児教育実習指導	3	子	高藤、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部	S106	卒業研究ゼミⅠpc	3	理	丸尾	H430
	日本史Ⅰa	3	子	加納	S203	卒業研究ゼミⅠpe	3	理	佐藤	H431
	理学療法治療学実習Ⅱ2	3	理	寺尾、永井、神谷、丸尾	H211,301,3,4,5,6	卒業研究ゼミⅠpg	3	理	小島	H432
卒業研究ゼミⅠob	3	作	犬丸	H436	卒業研究ゼミⅠpi	3	理	野口	H434	
卒業研究ゼミⅠod	3	作	酒野	H437	作業療法管理学2(5回)	3	作	河野(光)	H209	
福祉総合演習a	4	社生情子	柴田	S201	卒業研究ゼミⅡsg	4	社生	西	S333	
福祉総合演習d	4	社生情子	岡村	S333	卒業研究ゼミⅡsb	4	社生	柴田	S331	
総合学習p2	4	理	奥田	H206						
3 講時 13:00~14:30	教養ゼミⅡ(キャリア教育)	1	社生子	浅井	S201	社会福祉史	1	社生	荻原	S110
	早期現場体験指導	1	子	高藤、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部	S207	保育内容(言葉)指導法Ⅰ	1	子	岡部	S207
	解剖学Ⅲ	1	理作	佐藤	H104	理学療法評価概論	1	理	野口	H206
	データサイエンスrn(後半8回)(*5)	1	理作看	川邊(弘)	S104	作業療法評価概論	1	作	犬丸	H310
	日本史Ⅱa	1	理作看	加納	S203	臨床栄養学(前半8回)	1	看	室塚、長東	N203
	英語Ⅲnb	1	看b	茶谷	H209	生活とリハビリテーション	2	生	木林	H101
	医療英語c	1	看c	ウェスリー	H101	器楽Ⅲa	2	子a	(*12)	H201,2,8
	日本史Ⅱa	2	社生	加納	S203	検査・測定論Ⅱp	2	理	山本(拓)、佐々木、永井	H104,301,3,4,5,6
	発達心理学Ⅱ	2	社子	奥田	S110	基礎作業療法	2	作	猪狩	H209,H309
	介護過程演習Ⅰ	2	生	新口	S101	介護総合演習Ⅲ(3年)	3	生	新口、伊藤、三輪、山根、秋山	S106
	日常生活活動実習p1	2	理	木林、小島、丸尾	H211,301,3,4,5,6	子どもと文化	3	子	木谷	H107
	日常生活活動実習o1	2	作	河野(光)、川口	H202,301,310	カウンセリング演習r	3	理作	渡邊	H102
	高齢者看護学概論(前半8回)(*5)	2	看	舞谷、二本柳	N203	ソーシャルワーク演習Ⅴa	4	社生子	岡村	S201
	認知症ケア(後半8回)(*5)	2	看	舞谷、磯	N203	ソーシャルワーク演習Ⅴb	4	社生子	三和	S202
	日本史Ⅱa	3	子	加納	S203	ソーシャルワーク演習Ⅴc	4	社生子	杉山	S101
	生活環境学Ⅰ	3	理	山本(拓)、木林	H206	ソーシャルワーク演習Ⅴd	4	社生子	西	S104
	義肢装具実習o1	3	作	猪狩	H302	社会福祉史	4	子	荻原	S110
	社会保障法Ⅱ	4	社生情	沖	S108	卒業研究ゼミⅡcc	4	子	斎藤	S329
卒業研究ゼミⅡpb	4	理	永井	H210	卒業研究ゼミⅡpf	4	理	寺尾	H210	
リハビリテーション関連機器(旧カリ)1	4	理	山本(拓)、木林	H206						
4 講時 14:40~16:10	レクリエーション活動Ⅱ	1	社生理作看	下川	S106	介護福祉論Ⅱa	1	社生	伊藤	S207
	心理学Ⅱsn	1	社生子	渡邊	H104	英語Ⅲrc	1	理c作c	熊田	S201
	保育原理Ⅱ	1	子	石倉	S106	日本史Ⅱb	1	理作看	加納	S106
	生理学実習b1	1	理B作B	西本、市丸、吉武	H307,309	基礎看護学方法論演習Ⅰ(生活の援助技術)a	1	看A	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、大村	N203,303
	心理学Ⅱsn	1	看	渡邊	H104	日本史Ⅱb	2	社生	加納	S106
	法学Ⅱ	2	社生理作看	岡野	S110	介護福祉論Ⅱb	2	社	磯貝	S202
	保育実習指導Ⅰ-B	2	子	側垣、永坂、木谷、三谷、枝村	S207	介護過程	2	生	新口	S101
	日常生活活動実習p2	2	理	木林、小島、丸尾	H211,301,3,4,5,6	器楽Ⅲb	2	子b	(*13-1)	H201,2,8
	日常生活活動実習o2	2	作	河野(光)、川口	H202,301,310	検査・測定実習Ⅱp1	2	理	山本(拓)、佐々木、永井	H104,301,3,4,5,6
	安全管理n(前半8回)	2	看	安間	N203	作業療法治療学Ⅳ(精神)	2	作	猪狩	H209
	精神看護学概論(後半8回)	2	看	一ノ山	N203	統計学n2	2	看	木村	S206,H207
	生活支援技術Ⅰ1	3	社子	磯貝	S101,2,3	日本史Ⅱb	3	子	加納	S106
	介護過程演習Ⅲ2	3	生	秋山、山根、新口、伊藤、三輪	S201	介護福祉論Ⅱb	3	子	磯貝	S202
	レクリエーション活動Ⅱ	3	子	下川	S106	理学療法管理学	3	理	木林	H206
	法学Ⅱ	3	子	岡野	S110	作業学1	3	作	川口	H309
	生活環境学2	3	理	山本(拓)、木林	H206	卒業研究ゼミⅡsf	4	社生	内	S331
	義肢装具実習o2	3	作	猪狩	H302	卒業研究ゼミⅡsc	4	社生	山根	S333
	卒業研究ゼミⅡpd	4	理	佐々木	H201	卒業研究ゼミⅡpc	4	理	丸尾	H430
リハビリテーション関連機器(旧カリ)2	4	理	山本(拓)、木林	H206	卒業研究ゼミⅡpj	4	理	野口	H210	
5 講時 16:20~17:50	社会福祉概論Ⅱ	1	社生理作看	荻原	S110	ケアマネージメント	4	理作看	磯貝	S202
	生理学実習b2	1	理B作B	西本、市丸、吉武	H307,309	介護福祉論Ⅱb	4	理作看	磯貝	S202
	病理病態学1(20回)	1	看	曾我	H211	卒業研究ゼミⅡnb	4	看	岩城	N431
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2	社生子	柴田	H206	卒業研究ゼミⅡnc	4	看	北山	N429
	言葉と文化(中国語)Ⅱb	2	子	蘇	S106	卒業研究ゼミⅡnf	4	看	舞谷	N428
	スポーツリハビリテーション	2	理作	片田、永井	H104,305	卒業研究ゼミⅡnk	4	看	磯	N426
	障害者の心理	3	社生	奥田	H101	地域福祉論Ⅱ	2	社生	西	S110
	生活支援技術Ⅰ2	3	社子	磯貝	S101,2,3	検査・測定実習Ⅱp2	2	理	山本(拓)、佐々木、永井	H104,301,3,4,5,6
	統計学r3	3	理作	沖	S206	生徒・進路指導論	3	社生	松田	S104
	卒業研究ゼミⅡph	4	理	神谷	H201	地域福祉論Ⅱ	3	子	西	S110
	障害者の心理	4	理作看	奥田	H101	介護福祉論Ⅱb	3	子	磯貝	S202
	卒業研究ゼミⅡnd	4	看	田中	N431	総合臨床実習Ⅱ(評価)p2	3	理	(*10)	H206
	卒業研究ゼミⅡnp	4	看	野上(睦)	N429	作業学2	3	作	川口	H309
	卒業研究ゼミⅡni	4	看	野上(悦)	N428	ケアマネージメント	4	理作	磯貝	S202
	卒業研究ゼミⅡno	4	看	子吉	N426	介護福祉論Ⅱb	4	理作看	磯貝	S202

		金曜日						
		科目名	学年	受講者	担当教員	教室		
1 講時 9:00 ~ 10:30		音楽	1	社生	川邊(美)	S207		
		言葉と文化(中国語)Ⅱe	1	社生	蘇	S202		
		子どもの保健	1	子	奥村(澄)	H207		
		医学概論	1	理作	打出	H104		
		地域・在宅看護学概論Ⅰ(健康・生活支援)(前半8回)(※5)	1	看	子吉	N203		
		社会保障論Ⅱ	2	社生	岡野	S110		
		スポーツ理論r	2	理作	松下	S106		
		社会保障論Ⅱ	3	子	岡野	S110		
		理学療法治療学実習Ⅱ3	3	理	寺尾、永井、神谷、丸尾	H211,301,3,4,5,6		
		地誌	4	社生子	青木	H201		
		会計学Ⅱ	4	社生	北潟	S201		
		卒業研究ゼミⅡoc	4	作	河野(光)	H209		
		2 講時 10:40 ~ 12:10		言葉と文化(中国語)Ⅱc	1	社生子	蘇	S202
				人間関係とコミュニケーション	1	社生	秋山	S106
				幼児と音楽表現	1	子	枝村	S207
生理学Ⅱ	1			理作	曾我	H207		
看護理論(前半8回)	1			看	一ノ山	N203		
看護倫理(後半8回)	1			看	一ノ山	N203		
言葉と文化(英語)Ⅱb	2			社生子理作看	竹腰	S104		
障害の理解	2			生	小林	S201		
保育内容(造形表現)指導法Ⅱa	2			子a	永坂	H107,S110		
運動療法学Ⅱ	2			理	佐々木	H104		
作業療法治療学Ⅲ(中枢)	2			作	酒野	H310		
言葉と文化(中国語)Ⅱc	2			理作看	蘇	S202		
医療的ケアⅠ	3			生	山根、奥村(澄)	S101,S102,S103		
理学療法治療学実習Ⅱ4	3			理	寺尾、永井、神谷、丸尾	H211,301,3,4,5,6		
医療関係法1	3			理作	沖	H206		
福祉総合演習b	4	社生情子	内	S333				
医療関係法1	4	看	沖	H206				
日本語Ⅱ2	1	社	寺崎、桜井、長田、田中、鹿野	S107				
3 講時 13:00 ~ 14:30		生活とところからだ	1	社生	小林	S106		
		器楽Ⅰa	1	子a	(※13-1)	H201,2,8		
		英語Ⅲrb	1	理a理b	守屋	S201		
		スポーツo	1	作	松下	B101		
		基礎看護学方法論Ⅰ(生活の援助技術)(前半8回)(※5)	1	看	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、大村	N203		
		微生物学(後半8回)(※5)	1	看	塚谷、坂上	N203		
		母子保健	2	社生子	奥村(澄)	S207		
		保育内容(造形表現)指導法Ⅱb	2	子b	永坂	H107,S110		
		臨床心理学Ⅱr	2	理作	長尾	H209		
		診断治療学Ⅲ(周産期)(前半8回)	2	看	打出	H207		
		福祉科教育法Ⅱ	3	社生	永原	S202		
		言葉と文化(英語)Ⅳ	3	社生子	竹腰	S104		
		卒業研究ゼミⅠpf	3	理	寺尾	H430		
		卒業研究ゼミⅠph	3	理	神谷	H431		
		医療関係法2	3	理作	沖	H206		
就職実践演習(中・高)	4	社生	松田、北潟、川邊(弘)	S101				
卒業研究ゼミⅡcd	4	子	杉山	S327				
医療関係法2	4	看	沖	H206				
4 講時 14:40 ~ 16:10		ところからのしくみ	1	社生	三輪	S106		
		器楽Ⅰb	1	子b	(※13-1)	H201,2,8		
		英語Ⅱca	1	子A	熊田	S202		
		英語Ⅲra	1	作a作b	守屋	S201		
		基礎看護学方法論演習Ⅰ(生活の援助技術)b	1	看B	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、大村	N203,303		
		経済学Ⅰ	2	社生	北潟	S110		
		運動学Ⅱ	2	理作	寺尾、酒野	H206		
		診断治療学Ⅳ(小児)(前半11回)	2	看	河野(晃)	H104		
		ソーシャルワーク演習Ⅲc	3	社生	川上	S108		
		経済学Ⅰ	3	子	北潟	S110		
		栄養・薬理学1	3	理作	佐々木、高橋(達)	H207		
		福祉総合演習c	4	社生子	杉山	S104		
		福祉総合演習e	4	社生子	西	S331		
		福祉総合演習f	4	社生子	岡野	H210		
		5 講時 16:20 ~ 17:50		基礎看護学方法論演習Ⅰ(生活の援助技術)b	1	看B	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、大村	N203,303
神経内科学Ⅱ	2			理作	森	H104		
教育実習指導(1年半開講・隔週)	3			社生	松田、川邊(弘)、北潟	S101		
ジェンダー	3			社生子	高島	S106		
ソーシャルワーク演習Ⅲd	3			社生子	川上	S108		
栄養・薬理学2	3			理作	佐々木、高橋(達)	H207		
教育実習指導(通年・隔週)	4			社生	松田、川邊(弘)、北潟	S101		
卒業研究ゼミⅡpi	4			理	木林	H201		
卒業研究ゼミⅡna	4			看	境	N431		
卒業研究ゼミⅡne	4			看	彦	N429		
卒業研究ゼミⅡng	4			看	堅田	N428		
卒業研究ゼミⅡnl	4			看	竹内	N426		

人間社会科学部 基礎ゼミⅡ					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
基礎ゼミⅡca	3	子(*8)	枝村	火曜	S331
基礎ゼミⅡcb	3	子(*8)	齋藤	2 講時	S329
基礎ゼミⅡcc	3	子(*8)	側垣		S333
基礎ゼミⅡcd	3	子(*8)	永坂		S327
基礎ゼミⅡsa	3	社生	新口	火曜	S331
基礎ゼミⅡsb	3	社生	内		S107
基礎ゼミⅡsc	3	社生	岡村	3 講時	S327
基礎ゼミⅡse	3	社生	柴田		S333
基礎ゼミⅡsf	3	社生	西		H101

人間社会科学部 卒業論文・事例研究					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
卒業論文sa	4	社生	内		
卒業論文sb	4	社生	岡村		
卒業論文sd	4	社生	柴田		
卒業論文se	4	社生	西		
卒業論文ca	4	子	齋藤		
卒業論文cb	4	子	杉山		
卒業論文cc	4	子	側垣		
卒業論文cd	4	子	永坂		
卒業論文ce	4	子	三谷		
事例研究a	4	社生	新口		
事例研究b	4	社生	山根		

医療健康学部 卒業論文					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
卒業論文23pa	3	理	奥田		
卒業論文23pb	3	理	永井		
卒業論文23pc	3	理	丸尾		
卒業論文23pd	3	理	佐々木		
卒業論文23pe	3	理	佐藤		
卒業論文23pf	3	理	寺尾		
卒業論文23pg	3	理	小島		
卒業論文23ph	3	理	神谷		
卒業論文23pi	3	理	木林		
卒業論文23pj	3	理	野口		
卒業論文23pk	3	理	山本(拓)		
卒業論文23oa	3	作	猪狩		
卒業論文23ob	3	作	犬丸		
卒業論文23oc	3	作	河野(光)		
卒業論文23od	3	作	酒野		
卒業論文22oa~od	4	作	河野(光)		
卒業論文22pa~pk	4	理	山本(拓)		

看護学部 卒業論文					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
卒業論文na~np	4	看	卒論担当者		

実習					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
ボランティア活動Ⅰ	1	社生情子理作看	(※14)		
早期現場体験	1	子	齋藤、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部		
見学実習p	1	理	(※10)		
見学実習o	1	作	(※11)		
地域支援実習	1	理作	(※10)(※11)(奥田)		
基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1	看	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、井田、大村		
ボランティア活動Ⅱ	2	社生子理作看	(※15)		
介護実習Ⅱ(2年)	2	生	山根、三輪、新口、秋山、伊藤		
保育実習Ⅰ-B	2	子	側垣、永坂、木谷、三谷、枝村		
保育実習Ⅱ	2	子	齋藤、永坂、木谷、三谷、松下、枝村		
総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)p	2	理	(※10)		
総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)o	2	作	(※11)		
基礎実習Ⅰ	2	作	(※11)		
基礎実習Ⅲ(学外)	2	作	(※11)		
基礎看護学実習Ⅱ	2	看	田中、野上(悦)、野上(睦)、釜谷、井田、大村		
インターシップ	3	社生	北潟、川邊(弘)、木村、柴田、野村(智)、高島		
ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	社生子	(※16)		
幼児教育実習Ⅰ	3	子	齋藤、永坂、木谷、松下、三谷、枝村、岡部		
総合臨床実習Ⅱ(評価)p3	3	理	(※10)		
総合臨床実習Ⅱ(評価)o	3	作	(※11)		
基礎実習Ⅱ	3	作	(※11)		
基礎実習Ⅱ(3年実習指導)	3	作	(※11)		H310
成人看護学実習Ⅰ	3	看	北山、岩城、山瀬、道券		
成人看護学実習Ⅱ	3	看	岩城、北山、山瀬、道券		
高齢者看護学実習Ⅰ	3	看	舞谷、二本柳、磯、井田、飯田		
高齢者看護学実習Ⅱ	3	看	二本柳、舞谷、磯、飯田		
教育実習Ⅰ(通年)	4	社生	川邊(弘)、北潟、松田		
教育実習Ⅱ(通年)	4	社生	川邊(弘)、北潟、松田		

集中講義					
科目名	学年	受講者	担当教員	備考	
解剖学Ⅱ	1	理作	佐藤		
英語Ⅰ(再履修)	1	社生子理作看	竹腰		1科目のみ履修可
英語Ⅱ(再履修)	1	社生子理作看	竹腰		
英語Ⅲ(再履修)	2	社生子理作看	竹腰		
英語Ⅳ(再履修)	2	社生子理作看	竹腰		
保育実習指導Ⅰ-A	2	子	齋藤、永坂、木谷、三谷、枝村、岡部		
客観的臨床能力評価o	2	作	(※11)		
教育実習指導(1年半開講)	3	社生	松田、川邊(弘)、北潟		
リハビリテーション・マネジメント演習	3	理	佐々木、野口		
卒業研究ゼミⅠna~nq	3	看	卒論担当者		
総合学習p3	4	理	(※10)(奥田)		
総合学習o	4	作	(※11)		

いしかわシティカレッジ(※17)					
科目名	学年	担当教員	開講曜日	時間	
ジェンダー(シティカレッジ)	-	高島	水	19:10-20:40	

**時間割上の建物および教室表記について**  
 校舎を表すアルファベットを先頭に教室番号を組み合わせることで表示しています。  
 詳しくは、学生便覧を参照のこと。  
 人間社会科学部棟「S」、医療健康学部棟「H」、看護学部棟「N」  
 福祉専攻棟「C」、体育館(日光アリーナ)「B」  
 例：S101→S棟101教室、B101→体育館

## 令和9年度金城大学 前期体育館（アリーナ）使用時間割

講時／曜日	月	火	水	木	金
1講時 (9:00-10:30)		人間社会科学部 「スポーツ」	人間社会科学部 「スポーツ」	総合経済学部 「スポーツ」	
2講時 (10:40-12:10)	看護学部 「スポーツ」	人間社会科学部 「スポーツ」	人間社会科学部 「スポーツ」	総合経済学部 「スポーツ」	短期大学部 幼児教育学科 「スポーツ」
3講時 (13:00-14:30)	看護学部 「スポーツ」		総合経済学部 「スポーツ」	短期大学部 幼児教育学科 「スポーツ」	短期大学部 美術学科 「スポーツ」
4講時 (14:40-16:10)		金城大学 「レクリエーション活動 Ⅰ」	総合経済学部 「スポーツ」	短期大学部 幼児教育学科 「スポーツ」	短期大学部 美術学科 「スポーツ」
5講時 (16:20-17:50)					

## 総合経済学部総合経済学科 図書等整備計画

## 【総合経済学部関係既存蔵書内訳】

項目	蔵書冊数(冊)		項目合計
	内国書	外国書	
社会科学	920	28	948
政治	996	236	1,232
商法	160	20	180
経済	2,504	612	3,116
財政	56	6	62
統計	287	8	295
社会学	4,554	683	5,237
ごみ・環境	350	15	365
商業	1,062	93	1,155
合計	10,889	1,701	12,590

## 【総合経済学部関係既存雑誌・データベースリスト】

項目	区分	出版社
ビジネスガイド	雑誌	日本法令様式販賣所
地域開発	雑誌	日本地域開発センター
一橋ビジネスレビュー	雑誌	東洋経済新報社
法学セミナー	雑誌	日本評論社
企業実務	雑誌	日本実業出版社
月刊ホテル旅館	雑誌	柴田書店
企業会計	雑誌	中央経済社
経済セミナー	雑誌	日本評論社
日経NETWORK	雑誌	日経BP社
日経ビジネス	雑誌	日経BP社
朝日新聞クロスサーチ	データベース	朝日新聞のデータベース
D1-Law.com	データベース	法情報総合データベース(現行法規、判例体系など)

# 【総合経済学部関係新規購入図書内訳】

年度	区分		数量	金額
令和5年度	図書	内国書	180冊	945,000
		外国書	20冊	383,000
		計	200冊	1,328,000
	学術雑誌	内国誌	9種	136,648
		外国誌	3種	492,000
		計	12種	628,648
	データベース		2種	935,880
令和5年度計				2,892,528
令和6年度	図書	内国書	50冊	175,000
		外国書	0冊	0
		計	50冊	175,000
	学術雑誌	内国誌	9種	136,648
		外国誌	3種	506,000
		計	12種	642,648
	データベース		2種	935,880
令和6年度計				1,753,528
令和7年度	図書	内国書	50冊	175,000
		外国書	0冊	0
		計	50冊	175,000
	学術雑誌	内国誌	9種	136,648
		外国誌	3種	522,000
		計	12種	658,648
	データベース		2種	935,880
令和7年度計				1,769,528
令和8年度	図書	内国書	50冊	175,000
		外国書	0冊	0
		計	50冊	175,000
	学術雑誌	内国誌	9種	136,648
		外国誌	3種	537,000
		計	12種	673,648
	データベース		2種	935,880
令和8年度計				1,784,528
令和9年度	図書	内国書	50冊	175,000
		外国書	0冊	0
		計	50冊	175,000
	学術雑誌	内国誌	9種	136,648
		外国誌	3種	553,000
		計	12種	689,648
	データベース		2種	935,880
令和9年度計				1,800,528
総合計	図書	内国書	380冊	1,645,000
		外国書	20冊	383,000
		計	400冊	2,028,000
	学術雑誌	内国誌	9種	683,240
		外国誌	3種	2,610,000
		計	12種	3,293,240
データベース		2種	4,679,400	
総合計				10,000,640

令和5年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	「メイド・イン・イタリー」はなぜ強いのか？	晶文社	1,485
2	冊子	パナソニックのグローバル経営	ミネルヴァ書房	8,415
3	冊子	カナダにおける都市－農村共生システム	農林統計出版	3,465
4	冊子	民泊新法	信山社出版	4,455
5	冊子	職場のメンタルヘルスと法	法律文化社	5,742
6	冊子	パワハラ防止法	信山社出版	3,366
7	冊子	都市農村交流事業による地域づくり	筑波書房	1,782
8	冊子	なぜ、あそこの6次産業化はうまくいくのか？	大学教育出版	1,584
9	冊子	社会実験としての農村コミュニティづくり	筑波書房	3,267
10	冊子	農と食と地域をデザインする	新泉社	2,178
11	冊子	6次産業化による農山村の地域振興	農林統計出版	2,475
12	冊子	ブロックチェーン3.0	エヌ・ティー・エス	62,370
13	冊子	広告コミュニケーションの本質とは何か	ミネルヴァ書房	7,920
14	冊子	サービス・マーケティング	有斐閣	1,980
15	冊子	インバウンド観光のための観光土産マーケティング	同文館出版	2,871
16	冊子	ビジネスのためのマーケティング戦略論	同文館出版	2,277
17	冊子	管理会計	同文館出版	5,841
18	冊子	財務会計の理論と実証	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	6,237
19	冊子	会計処理ハンドブック	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	11,385
20	冊子	独立行政法人会計詳解ハンドブック	同文館出版	5,742
21	冊子	サステナブル経営とコーポレートガバナンスの進化	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	2,178
22	冊子	価値共創のサービスイノベーション実践論	生産性出版	2,178
23	冊子	組織間信頼の形成と維持	同文館出版	3,564
24	冊子	組織のディスコースとコミュニケーション	同文館出版	3,663
25	冊子	新経営戦略論	学文社	2,574
26	冊子	地域経営分析	晃洋書房	2,772
27	冊子	データ分析で読み解く日本のコーポレート・ガバナンス史	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,673
28	冊子	イノベーション	有斐閣	2,871
29	冊子	社会的企業者	千倉書房	3,465
30	冊子	SDGsの経営学	千倉書房	3,069
31	冊子	小売業の実践SDGs経営	慶應義塾大学出版会	1,980
32	冊子	わかりあえる経営力＝異文化マネジメントを学ぶ	同文館出版	2,475
33	冊子	DX時代をリードする新日本的経営のデザイン	文真堂	3,564
34	冊子	グローバル成長と発展への経営	文真堂	2,772
35	冊子	デザインマネジメント論のビジョン	新曜社	2,376
36	冊子	企業価値評価	ダイヤモンド社	4,455
37	冊子	企業価値評価	ダイヤモンド社	4,455
38	冊子	バリュエーションの理論と実務	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	3,564
39	冊子	MBAと日本的経営	学文社	2,772
40	冊子	地域創生マーケティング	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,574

令和5年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
41	冊子	〈善い〉ビジネスが成長を生む	慶應義塾大学出版会	2,178
42	冊子	国際ビジネス用語事典	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,267
43	冊子	コミュニティマネジメント	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,574
44	冊子	現代経営学の基本問題	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,564
45	冊子	SDGsの本質	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,772
46	冊子	地域中小製造業のサービス・イノベーション	ミネルヴァ書房	3,465
47	冊子	実践! 地方創生の地域経営	金融財政事情研究会(発売:きんざい)	2,673
48	冊子	非営利組織と営利組織のマネジメント	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,366
49	冊子	東アジア優位産業	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,366
50	冊子	株主指向か公益指向か	晃洋書房	2,376
51	冊子	コラーのソーシャル・マーケティング	ミネルヴァ書房	2,970
52	冊子	グローバル・ニッチトップ企業の国際比較	晃洋書房	2,772
53	冊子	日本における中堅・中小企業のオープンイノベーションとその支援組織の考察	専修大学出版局	2,277
54	冊子	地域・社会と共生する中小企業	ミネルヴァ書房	4,455
55	冊子	社会の中の企業	文真堂	1,683
56	冊子	企業戦略論 戦略経営と競争優位. 上 基本編	ダイヤモンド社	2,376
57	冊子	企業戦略論 戦略経営と競争優位. 中 事業戦略編	ダイヤモンド社	2,376
58	冊子	企業戦略論 戦略経営と競争優位. 下 全社戦略編	ダイヤモンド社	2,376
59	冊子	企業価値経営	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	4,158
60	冊子	協働の経営学	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,970
61	冊子	経営社会学その視座と現代	大学教育出版	2,178
62	冊子	日本的雇用の経営学	八千代出版	3,465
63	冊子	市場とイノベーションの企業論	中央経済社	2,772
64	冊子	価値創造経営	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,970
65	冊子	人的資源管理論	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,475
66	冊子	人材育成ハンドブック	ダイヤモンド社	3,762
67	冊子	現代税務会計論	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,970
68	冊子	法人税法要説	税務経理協会	9,801
69	冊子	国際金融論15講	新世社(渋谷区)(発売:サイエンス社)	2,376
70	冊子	中小企業金融の経済学	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	3,960
71	冊子	カーボンニュートラルの経済学	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,376
72	冊子	ゼミナールコーポレートファイナンス	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,970
73	冊子	EVの教科書: マイクロEVの造り方から学ぶ電動車の本質	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	2,673
74	冊子	貿易実務完全バイブル	かんき出版	2,574
75	冊子	Python実践データ分析100本ノック	秀和システム	2,376
76	冊子	START UP: 優れた起業家は何を考え、どう行動したか	ニューズビックス	2,376
77	冊子	世界「倒産」図鑑: 波乱万丈25社でわかる失敗の理由	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	1,782
78	冊子	サービスと消費者行動	千倉書房	3,861
79	冊子	財務諸表と企業分析入門	千倉書房	2,376
80	冊子	ESG投資の研究: 理論と実践の最前線	一灯舎	3,861

令和5年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
81	冊子	国際会計基準と日本の会計実務:比較分析/仕訳・計算例/決算処理	同文館出版	6,732
82	冊子	よくわかる企業論	ミネルヴァ書房	2,673
83	冊子	よくわかる経営管理	ミネルヴァ書房	2,772
84	冊子	企業成長のデザイン経営:知的資産の創造的利用、イノベーションと事業性評価	同文館出版	2,475
85	冊子	GREEN BUSINESS:環境をよくして稼ぐ。その発想とスキル。慶應義塾大学	木楽舎	1,980
86	冊子	地域ブランディングの論理:食文化資源を活用した地域多様性の創出	有斐閣	4,158
87	冊子	直販・通販で稼ぐ!年商1億円農家:お客様と直接つながる最強の農業経営	同文館出版	1,485
88	冊子	地球とつながる暮らしのデザイン	木楽舎	1,782
89	冊子	要点解説税務会計基礎講座	大蔵財務協会	2,658
90	冊子	管理会計基礎論	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,574
91	冊子	IoTのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書:IoT検定パワーユーザー対応版	技術評論社	1,960
92	冊子	イノベーションの競争戦略:優れたイノベーターは0→1か?横取りか?	東洋経済新報社	1,782
93	冊子	経営戦略概論:戦略理論の潮流と体系	産業能率大学出版部	2,376
94	冊子	消費者行動論:マーケティングとブランド構築への応用	有斐閣	2,178
95	冊子	組織行動のマネジメント:入門から実践へ	ダイヤモンド社	2,772
96	冊子	開発経済学入門	東洋経済新報社	2,772
97	冊子	開発経済学入門	新世社(渋谷区)(発売:サイエンス社)	2,574
98	冊子	テキストブック開発経済学	有斐閣	2,277
99	冊子	ストーリーで学ぶ開発経済学:途上国の暮らしを考える	有斐閣	1,782
100	冊子	現代開発経済入門	文真堂	2,277
101	冊子	きみのまちに未来はあるか?:「根っこ」から地域をつくる	岩波書店	851
102	冊子	よくわかる社会学	ミネルヴァ書房	2,475
103	冊子	入門ミクロ経済学	新世社(渋谷区)(発売:サイエンス社)	2,871
104	冊子	ミクロ経済学の第一歩	有斐閣	2,079
105	冊子	ミクロ・マクロ経済理論入門	文真堂	2,673
106	冊子	ザ・環境学:緑の頭のつくり方	勁草書房	2,277
107	冊子	苦海浄土:全三部	藤原書店	4,158
108	冊子	ナチュラル・ステップ:スウェーデンにおける人と企業の環境教育	新評論	2,475
109	冊子	初心者のための環境評価入門	勁草書房	2,970
110	冊子	未来をつくる資本主義:世界の難問をビジネスは解決できるか	英治出版	2,178
111	冊子	限界費用ゼロ社会:(モノのインターネット)と共有型経済の台頭	NHK出版	2,376
112	冊子	新国富論:新たな経済指標で地方創生	岩波書店	574
113	冊子	ESG情報の外部保証ガイドブック:SDGsの実現に向けた情報開示	税務経理協会	2,673
114	冊子	MMT現代貨幣理論入門	東洋経済新報社	3,366
115	冊子	サーキュラーエコミー実践:オランダに探るビジネスモデル	学芸出版社(京都)	2,376
116	冊子	経済成長理論入門:新古典派から内生的成長理論へ	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,376
117	冊子	コア・テキスト環境経済学	新世社(渋谷区)(発売:サイエンス社)	2,178
118	冊子	住まいの環境デザイン	放送大学教育振興会(発売:NHK出版)	3,267
119	冊子	地元学をはじめよう	岩波書店	831
120	冊子	LCCM住宅の設計手法:デモンストレーション棟を事例として	建築技術	2,772

令和5年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
121	冊子	世界でいちばん受けたい環境デザインの授業:70 KEYWORD OF ENVIRONMENT	エクスナレッジ	2,178
122	冊子	政策立案の技法:問題解決を「成果」に結び付ける8つのステップ	東洋経済新報社	2,574
123	冊子	意思決定理論入門	NTT出版	2,772
124	冊子	環境法 有斐閣ストウディア	有斐閣	1,782
125	冊子	カーボン・レジーム:地球温暖化と国際攻防	オルタナ(発売:メディアパル)	1,131
126	冊子	環境法	有斐閣	4,752
127	冊子	環境法BASIC	有斐閣	4,257
128	冊子	Pythonによるベイズ統計学入門	朝倉書店	3,366
129	冊子	Stataによるデータ分析入門:経済分析の基礎から因果推論まで	東京図書	2,970
130	冊子	ExcelとRではじめるやさしい経済データ分析入門	オーム社	2,584
131	電子	入門 サイバーセキュリティ 理論と実験	コロナ社	10,890
132	電子	情報セキュリティ 改訂2版	オーム社	9,075
133	電子	コンピューティング史	共立出版	11,979
134	電子	ジョイント・ベンチャー戦略大全 改訂版	東洋経済新報社	25,410
135	電子	コラーのマーケティング入門 原書14版	丸善出版	28,314
136	電子	基礎から学ぶ企業会計	中央経済社	7,260
137	電子	デザイン経営	有斐閣	9,075
138	電子	経営学入門	東洋経済新報社	7,986
139	電子	経済学のためのゲーム理論入門	岩波書店	11,616
140	電子	地域金融の経済学	慶應義塾大学出版会	9,196
141	電子	入門財政学 第2版	日本評論社	10,164
142	電子	国際貿易	文真堂	7,260
143	電子	都市計画 第4版	森北出版	8,470
144	電子	情報とデザイン	共立出版	10,890
145	電子	未来技術の倫理	勁草書房	12,342
146	電子	AIリテラシーの教科書	東京電機大学出版局	7,313
147	電子	防災リテラシー 第2版	森北出版	7,260
148	電子	まちづくり大全	中央経済社	8,167
149	電子	自治体環境行政の基礎	有斐閣	9,438
150	電子	テキストブック地方自治 第3版	東洋経済新報社	10,164
151	電子	憲法 第4版	勁草書房	10,527
152	電子	新・環境倫理学のすすめ 増補新版	丸善出版	7,260
153	電子	ごみ減量政策	丸善出版	10,164
154	電子	米国の再生エネルギー革命	日本経済評論社	7,623
155	電子	Excelではじめる調査データ分析	オーム社	8,772
156	電子	Excelで学ぶ 統計解析入門	オーム社	8,772
157	電子	わかりやすい統計学	丸善出版	7,260
158	電子	Excelによるやさしい統計解析	オーム社	7,260
159	電子	マルチエージェントによる金融市場のシミュレーション	コロナ社	9,438
160	電子	マーケティングデータ分析	朝倉書店	9,438

## 令和5年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
161	電子	数理情報学入門	共立出版	9,438
162	電子	データ科学の基礎	共立出版	9,075
163	電子	データサイエンス入門	朝倉書店	9,075
164	電子	データサイエンスの基礎	オーム社	8,228
165	電子	情報理論のエッセンス 改訂2版	オーム社	8,167
166	電子	入門 情報処理	オーム社	7,865
167	電子	はじめての情報理論 第2版	森北出版	7,260
168	電子	わかりやすい デジタル情報理論 改訂2版	オーム社	6,957
169	電子	よくわかるデータリテラシー	近代科学社	6,534
170	電子	社会の仕組みを信用から理解する	共立出版	7,260
171	電子	気候変動への「適応」を考える	丸善出版	8,712
172	電子	宇宙の研究開発利用の歴史	大阪大学出版会	22,869
173	電子	都市農業経営論	日本経済評論社	7,078
174	電子	食料経済 第6版	オーム社	8,228
175	電子	農村政策の変貌	農山漁村文化協会	8,712
176	電子	有機食品市場の構造分析	農山漁村文化協会	9,438
177	電子	地域人材を育てる手法	農山漁村文化協会	6,534
178	電子	計算経済学	日本評論社	16,335
179	電子	会社法の基礎 第2版	法律文化社	6,534
180	電子	労働経済	東洋経済新報社	6,918

金額計 945,000

## 令和5年度 外国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	Machine Learning Methods in the Environmental Sciences : Neural Networks and Kernels	Cambridge University Press	14,451
2	冊子	Boom and Bust : A Global History of Financial Bubbles	Cambridge University Press	4,970
3	冊子	Fully Grown : Why a Stagnant Economy Is a Sign of Success	University of Chicago Press	5,414
4	冊子	The World Turned Upside Down : America, China, and the Struggle for Global Leadership	Yale University Press	5,907
5	冊子	Sales Management That Works : How to Sell in a World that Never Stops Changing	Harvard Business Review Press	6,300
6	冊子	The Context Marketing Revolution : How to Motivate Buyers in the Age of Infinite Media	Harvard Business Review Press	6,300
7	冊子	Capitalism and the Environment : A Proposal to Save the Planet	Cambridge University Press	23,558
8	冊子	Global Energy Fundamentals : Economics, Politics, and Technology	Cambridge University Press	23,558
9	冊子	The Routledge Handbook of the Political Economy of the Environment (Routledge International Handbooks)	Routledge	37,306
10	冊子	Economics of Agricultural Development : World Food Systems and Resource Use (Routledge Textbooks in Environmental and Agricultural Economics)	Routledge	39,270
11	冊子	Introduction to Algorithms, fourth edition	MIT Press	26,581
12	冊子	Reinforcement Learning From Scratch : Understanding Current Approaches – with Examples in Java and Greenfoot	Springer	16,365
13	冊子	Tourism Paradoxes : Contradictions, Controversies and Challenges (Tourism and Cultural Change)	Channel View Publications	26,166
14	冊子	The Social Structure of Online Communities (Structural Analysis in the Social Sciences)	Cambridge University Press	10,468
15	冊子	The Routledge Handbook of Green Social Work (Routledge International Handbooks)	Routledge	8,386
16	電子	Fragile Futures : The Uncertain Economics of Disasters, Pandemics, and Climate Change	Cambridge University Press	26,712
17	電子	Blockchain Technology and Applications	CRC Press	20,988
18	電子	Defining Public Goods : An Institutional Approach to Community-Building and Negotiating Inter-Community Conflict	Edward Elgar Publishing Ltd	24,042
19	電子	Public Economics : A Concise Introduction	Routledge	34,345
20	電子	Data Science Ethics : Concepts, Techniques, and Cautionary Tales	Oxford University Press	21,913

金額計 383,000

No.	雑誌名	出版社	刊行頻度	税込価格
1	企業会計	(株)中央経済グループパブリッシング	月刊	35,187
2	月刊事業構想	先端教育機構	月刊	15,600
3	プレジデント	プレジデント社	隔週	12,000
4	経済セミナー	日本評論社	隔月刊	10,368
5	一橋ビジネスレビュー	東洋経済新報社	季刊	9,900
6	経済	新日本出版社	月刊	15,108
7	環境ビジネス	日本ビジネス出版	季刊	18,000
8	経済人	関西経済連合会	月刊	7,285
9	環境管理	産業環境管理協会	月刊	13,200

金額計 136,648

## 令和5年度 外国誌

No.	形態	タイトル	出版社	税込価格 (年間)
1	Print	Review of Economic Studies	Oxford University Press	167,000
2	Print	Journal of Political Economy	The University of Chicago Press	178,000
3	Print	Quarterly Journal of Economics	Oxford University Press	147,000

金額計 492,000

## 令和5年度 データベース

No.	提供形態	データベース名	提供元	税込価格 (年間)
1	Aプラン上限打ち切り型	日経BP記事検索サービス	日経BPマーケティング	660,000
2	同時アクセス1	ジャパナレッジLib.	ネットアドバンス	275,880

金額計 935,880

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	経済学で出る数学ワークブックでじっくり攻める	日本評論社	1,485
2	冊子	経済学で出る数学:高校数学からきちんと攻める	日本評論社	2,079
3	冊子	人的資本の会計	同文館出版	3,861
4	冊子	エッセンシャル財務会計	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,762
5	冊子	詳解収益認識会計基準	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,564
6	冊子	会計制度の論点	森山書店	3,465
7	冊子	ファイナンスへの無形資産価値評価モデル	日本評論社	5,247
8	冊子	監査の品質に関する研究	同文館出版	5,742
9	冊子	会計不正の予防・発見と内部監査	同文館出版	3,564
10	冊子	会計の国際化と制度設計	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	4,554
11	冊子	国際的会計基準論	森山書店	2,970
12	冊子	異文化対応の会計課題	同文館出版	3,564
13	冊子	IASBの概念フレームワーク	税務経理協会	2,475
14	冊子	詳細解説IFRS開示ガイドブック	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	8,613
15	冊子	IFRSの概念フレームワーク	税務経理協会	2,178
16	冊子	財務諸表分析	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,366
17	冊子	財務諸表分析	同文館出版	3,465
18	冊子	中小企業のSDGs	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,574
19	冊子	コーポレートガバナンス・コードの実践	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	2,772
20	冊子	「企業と社会」論とは何か	ミネルヴァ書房	3,465
21	冊子	ザ・トヨタウェイ サービス業のリーン改革. 上	日経BP社(発売:日経BPマーケティング)	2,574
22	冊子	ザ・トヨタウェイ サービス業のリーン改革. 下	日経BP社(発売:日経BPマーケティング)	2,574
23	冊子	サステナビリティ・ガバナンス改革	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,772
24	冊子	インターナル・ブランディングの理論と実践	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,574
25	冊子	戦略の教科書	ダイヤモンド社	1,782
26	冊子	MBAのためのケース分析	同文館出版	2,277
27	冊子	1からのマーケティング分析	碩学舎(発売:中央経済グループパブ)	2,376
28	冊子	知的資産の会計:マネジメントと測定・開示	千倉書房	3,564
29	冊子	統合報告革命:ベスト・プラクティス企業の事例分析	税務経理協会	3,663
30	冊子	グローバル財務会計	森山書店	3,762
31	冊子	持続可能性とWell-Being	日本評論社	5,544
32	冊子	キロワットアワー・イズ・マネー:エネルギー価値の創造で人口減少を生き抜く	いしずえ	871
33	冊子	地域分散型エネルギーシステム	日本評論社	2,970
34	冊子	DR・VPP・アグリゲーター入門:電力システム改革の突破口	オーム社	2,178
35	冊子	電力システム講義ノート:基本からわかる	オーム社	2,475
36	冊子	里地里山エネルギー:自立分散への挑戦	中央公論新社	772
37	冊子	環境論	武蔵野美術大学出版局	1,947
38	冊子	生命にぎわう青い星:生物の多様性と私たちの暮らし	化学同人	1,584
39	冊子	ぼくらの昆虫採集	デコ(発売:JRC)	2,772
40	冊子	保全生物学	東京大学出版会	3,168

No.	形態	書名	出版社	税込価格
41	冊子	生態学と社会科学の接点	共立出版	3,168
42	冊子	AI経営のリスクマネジメント	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,970
43	冊子	[環境・気候変動]情報開示ルールの潮流	経団連出版	1,980
44	冊子	グローバル研究開発人材の育成とマネジメント	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,267
45	冊子	ハイエンド型破壊的イノベーションの理論と事例検証	晃洋書房	1,980
46	冊子	戦略的IoTマネジメント	ミネルヴァ書房	2,178
47	冊子	なぜ特異な仕事は生まれるのか?	京都大学学術出版会	3,366
48	冊子	会計と財務の英和辞典	同文館出版	12,870
49	冊子	公法・会計の制度と理論	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	15,840
50	冊子	MBAが考えるヘルスケア経営	碩学舎(発売:中央経済グループパブ)	2,417

金額計 175,000

No.	雑誌名	出版社	刊行頻度	税込価格
1	企業会計	(株)中央経済グループパブリッシング	月刊	35,187
2	月刊事業構想	先端教育機構	月刊	15,600
3	プレジデント	プレジデント社	隔週	12,000
4	経済セミナー	日本評論社	隔月刊	10,368
5	一橋ビジネスレビュー	東洋経済新報社	季刊	9,900
6	経済	新日本出版社	月刊	15,108
7	環境ビジネス	日本ビジネス出版	季刊	18,000
8	経済人	関西経済連合会	月刊	7,285
9	環境管理	産業環境管理協会	月刊	13,200

金額計 136,648

## 令和6年度 外国誌

No.	形態	タイトル	出版社	税込価格 (年間)
1	Print	Review of Economic Studies	Oxford University Press	171,751
2	Print	Journal of Political Economy	The University of Chicago Press	183,064
3	Print	Quarterly Journal of Economics	Oxford University Press	151,185

金額計 506,000

## 令和6年度 データベース

No.	提供形態	データベース名	提供元	税込価格 (年間)
1	Aプラン上限打ち切り型	日経BP記事検索サービス	日経BPマーケティング	660,000
2	同時アクセス1	ジャパナレッジLib.	ネットアドバンス	275,880

金額計 935,880

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	例題で学ぶ初歩からの計量経済学	日本評論社	2,772
2	冊子	社会を変えるマーケティング	千倉書房	2,970
3	冊子	文化を競争力とするマーケティング	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,267
4	冊子	消費者行動論	白桃書房	2,673
5	冊子	アメリカ・マーケティング研究史15講	慶應義塾大学出版会	2,376
6	冊子	ブランディングの科学	朝日新聞出版	2,475
7	冊子	マーケティングの本質	産業能率大学出版部	1,584
8	冊子	マーケティングは進化する	同文館出版	2,475
9	冊子	地域流通とマーケティング	同文館出版	2,475
10	冊子	響創する日本型マーケティング	関西学院大学出版会	3,366
11	冊子	協働型プライベートブランド	専修大学出版局	2,574
12	冊子	図表でわかる!現代マーケティング論	白桃書房	2,699
13	冊子	グローバル・マーケティング論	文真堂	2,475
14	冊子	現代マーケティング論	同文館出版	2,673
15	冊子	ケースで学ぶ価値共創マーケティングの展開	同文館出版	2,277
16	冊子	コトラーのリテール4.0	朝日新聞出版	2,376
17	冊子	持続可能な社会のマーケティング	嵯峨野書院	2,376
18	冊子	サービス・マーケティング概論	ミネルヴァ書房	2,772
19	冊子	マーケティング戦略論	学文社	2,475
20	冊子	マーケティング・リサーチに従事する人のための調査法・分析法	学文社	2,970
21	冊子	市場志向のマーケティング	千倉書房	2,970
22	冊子	実務に活かす管理会計のエビデンス	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,663
23	冊子	プラクティカル原価計算	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,475
24	冊子	日本企業の利益マネジメント	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	4,356
25	冊子	簿記の思考と技法	森山書店	2,376
26	冊子	財務会計論	税務経理協会	4,653
27	冊子	会計法規集	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,376
28	冊子	企業変革の教科書	ダイヤモンド社	1,782
29	冊子	日本のビジネスシステム:その原理と革新	有斐閣	2,574
30	冊子	地域生態学からのまちづくり:共生環境のマネジメント	学芸出版社(京都)	2,970
31	冊子	日本のもの造り哲学	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	1,584
32	冊子	エントロピーの法則:地球の環境破壊を救う英知	祥伝社	1,782
33	冊子	生命潮流:来たるべきもの予感	工作舎	2,178
34	冊子	気候変動を理学する:古気候学が変える地球環境観	みずす書房	3,366
35	冊子	データ分析のための数理モデル入門:本質をとらえた分析のために	ソシム	2,574
36	冊子	実践行動経済学:健康、富、幸福への聡明な選択	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	2,178
37	冊子	日本の女性起業家のキャリア形成	明石書店	3,366
38	冊子	日本航空の破綻と再生	ミネルヴァ書房	3,762
39	冊子	ドラッカー研究	文真堂	3,564
40	冊子	スモールビジネスの経営力創成とアントレプレナーシップ	学文社	2,574

## 令和7年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
41	冊子	顧客の創造	晃洋書房	2,772
42	冊子	観光まちづくりリーダー論	法政大学出版局	3,366
43	冊子	インバウンド・ビジネス戦略	日本経済新聞出版社	1,980
44	冊子	制度経済学 上巻	ナカニシヤ出版	6,435
45	冊子	制度経済学 中巻	ナカニシヤ出版	6,435
46	冊子	制度経済学 下巻	ナカニシヤ出版	4,455
47	冊子	農業経済学事典	丸善出版	19,800
48	冊子	日本ボランティア・NPO・市民活動年表	明石書店	14,850
49	冊子	コーポレートガバナンスと社外取締役・社外監査役	三省堂	2,178
50	冊子	スーパーマーケットのブランド論	千倉書房	3,506

金額計 175,000

No.	雑誌名	出版社	刊行頻度	税込価格
1	企業会計	(株)中央経済グループパブリッシング	月刊	35,187
2	月刊事業構想	先端教育機構	月刊	15,600
3	プレジデント	プレジデント社	隔週	12,000
4	経済セミナー	日本評論社	隔月刊	10,368
5	一橋ビジネスレビュー	東洋経済新報社	季刊	9,900
6	経済	新日本出版社	月刊	15,108
7	環境ビジネス	日本ビジネス出版	季刊	18,000
8	経済人	関西経済連合会	月刊	7,285
9	環境管理	産業環境管理協会	月刊	13,200

金額計 136,648

## 令和7年度 外国誌

No.	形態	タイトル	出版社	税込価格 (年間)
1	Print	Review of Economic Studies	Oxford University Press	177,178
2	Print	Journal of Political Economy	The University of Chicago Press	188,848
3	Print	Quarterly Journal of Economics	Oxford University Press	155,974

金額計 522,000

## 令和7年度 データベース

No.	提供形態	データベース名	提供元	税込価格 (年間)
1	Aプラン上限打ち切り型	日経BP記事検索サービス	日経BPマーケティング	660,000
2	同時アクセス1	ジャパナレッジLib.	ネットアドバンス	275,880

金額計 935,880

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	次世代モビリティの経済学	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,673
2	冊子	航空・空港政策の展望	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,168
3	冊子	循環型地場産業の創造	社会評論社	1,980
4	冊子	地方に社会システム産業をつくる	工作舎	2,574
5	冊子	AIと人類	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	2,178
6	冊子	ビットコイン・スタンダード	ミネルヴァ書房	3,960
7	冊子	イノベーションは、万能ではない	日経BP社(発売:日経BPマーケティング)	2,475
8	冊子	データ資本主義	日本経済新聞出版社	1,584
9	冊子	新ベンチャービジネス論	税務経理協会	2,970
10	冊子	宝塚歌劇団の経営学	東洋経済新報社	1,584
11	冊子	企業論	学文社	2,871
12	冊子	eスポーツビジネス	秀和システム	1,782
13	冊子	化粧品業界のブランド戦略	大阪公立大学共同出版会	2,970
14	冊子	マーケティングのSONY	岩波書店	2,376
15	冊子	NOKIA 復活の軌跡	早川書房	1,980
16	冊子	日本サービス大賞受賞事例集〈第1回・第2回版〉	日本生産性本部サービス産業生産性協議会 (発売:生産性出版)	1,980
17	冊子	スポーツビジネスイノベーション	日経BP社(発売:日経BPマーケティング)	2,178
18	冊子	稲盛と永守	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	1,584
19	冊子	ロッテ創業者重光武雄の経営	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	1,980
20	冊子	実践版! グリーンインフラ	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	4,158
21	冊子	コーポレートガバナンス・コード講義	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,475
22	冊子	コーポレート・ガバナンスと監査	千倉書房	3,465
23	冊子	デザイン思考	日経BP(発売:日経BPマーケティング)	1,980
24	冊子	流通モード進化論	千倉書房	3,168
25	冊子	地域経営のための新しい流通・マーケティング	千倉書房	3,168
26	冊子	青山企業に学ぶコミュニティ型マーケティング	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,871
27	冊子	ポストコロナのマーケティング・ケーススタディ	碩学舎(発売:中央経済グループパブ)	2,376
28	冊子	文化とアートのマーケティング	美学出版	2,772
29	冊子	集客の教科書	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,376
30	冊子	ヘルスケア・サービスのマーケティング	千倉書房	3,564
31	冊子	プロフィットゴール・マーケティング	産業能率大学出版部	1,782
32	冊子	花王の経理パーソンになる	中央経済社	1,584
33	冊子	管理会計のエッセンス	同文館出版	3,663
34	冊子	動物の生存戦略:行動から探る生き物の不思議	左右社	1,696
35	冊子	協力と罰の生物学	岩波書店	1,188
36	冊子	成長の限界人類の選択	ダイヤモンド社	2,376
37	冊子	小さな地球の大きな世界:プラネタリー・バウンダリーと持続可能な開発	丸善出版	3,168
38	冊子	利己的な遺伝子:40周年記念版	紀伊國屋書店	2,673
39	冊子	ガイアの時代	工作舎	2,306
40	冊子	公害・環境研究のバイオニアたち:公害研究委員会の50年	岩波書店	2,673

No.	形態	書名	出版社	税込価格
41	冊子	政策科学の基礎とアプローチ	ミネルヴァ書房	3,168
42	冊子	脱炭素経営入門: 気候変動時代の競争力	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,178
43	冊子	これから経済学をまなぶ人のための数学基礎レッスン	日本経済評論社	1,485
44	冊子	回帰分析	朝倉書店	3,168
45	冊子	情報検索	森北出版	11,880
46	冊子	管理会計の挑戦	中央経済社(発売: 中央経済グループパブ)	6,435
47	冊子	市場整合的ソルベンシー評価	共立出版	11,880
48	冊子	日本人の情報行動2020	東京大学出版会	11,880
49	冊子	社会学の理論原理. Vol. 2 ミクロ・ダイナミクス	学文社	6,732
50	冊子	水環境の事典	朝倉書店	15,865

金額計 175,000

No.	雑誌名	出版社	刊行頻度	税込価格
1	企業会計	(株)中央経済グループパブリッシング	月刊	35,187
2	月刊事業構想	先端教育機構	月刊	15,600
3	プレジデント	プレジデント社	隔週	12,000
4	経済セミナー	日本評論社	隔月刊	10,368
5	一橋ビジネスレビュー	東洋経済新報社	季刊	9,900
6	経済	新日本出版社	月刊	15,108
7	環境ビジネス	日本ビジネス出版	季刊	18,000
8	経済人	関西経済連合会	月刊	7,285
9	環境管理	産業環境管理協会	月刊	13,200

金額計 136,648

## 令和8年度 外国誌

No.	形態	タイトル	出版社	税込価格 (年間)
1	Print	Review of Economic Studies	Oxford University Press	182,277
2	Print	Journal of Political Economy	The University of Chicago Press	194,283
3	Print	Quarterly Journal of Economics	Oxford University Press	160,440

金額計 537,000

令和8年度 データベース

No.	提供形態	データベース名	提供元	税込価格 (年間)
1	Aプラン上限打ち切り型	日経BP記事検索サービス	日経BPマーケティング	660,000
2	同時アクセス1	ジャパナレッジLib.	ネットアドバンス	275,880

金額計 935,880

No.	形態	書名	出版社	税込価格
1	冊子	地域モビリティの再構築	薫風社(千代田区)	1,683
2	冊子	地域おこし協力隊10年の挑戦	農山漁村文化協会	1,782
3	冊子	新幹線は地域をどう変えるのか	古今書院	2,178
4	冊子	ブロックチェーンの技術と革新	ニュートンプレス	2,519
5	冊子	ネクスト・ブロックチェーン	日本経済新聞出版社	2,376
6	冊子	資源争奪の世界史	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	2,475
7	冊子	小売経営論	有斐閣	2,574
8	冊子	流通と商業データブック	有斐閣	4,158
9	冊子	サステナビリティ sustainability × innovation	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	1,584
10	冊子	エコなお家が横につながる:エネルギー使いの主人公になる 1	海象社(中央区)	990
11	冊子	エコハウス私論:建てて住む。サステナブルに暮らす家	木楽舎	754
12	冊子	松井教授の東大駒場講義録:地球、生命、文明の普遍性を宇宙に探る	集英社	693
13	冊子	田園回帰がひらく未来:農山村再生の最前線	岩波書店	574
14	冊子	持続可能な開発目標とは何か:2030年へ向けた変革のアジェンダ	ミネルヴァ書房	3,465
15	冊子	スモール・イズ・ビューティフル:人間中心の経済学	講談社	1,366
16	冊子	IFRS会計基準の本質	税務経理協会	6,237
17	冊子	エッセンシャルIFRS	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	3,465
18	冊子	DX実行戦略	日本経済新聞出版社	1,980
19	冊子	テクノロジー経営の教科書	ダイヤモンド社	1,782
20	冊子	経営学概論	学文社	2,277
21	冊子	地域経営論	農林統計出版	6,435
22	冊子	“新常态”中国の生産管理と労使関係	ミネルヴァ書房	6,435
23	冊子	基本講義マクロ経済学	新世社(渋谷区)(発売:サイエンス社)	2,524
24	冊子	デジタル世界のスキル形成	明石書店	6,732
25	冊子	シュンペーター経済発展の理論	日経BPM(日本経済新聞出版本部)	4,158
26	冊子	地域活性化のための処方箋	九州大学出版会	5,742
27	冊子	グローバルリスクと世界経済	東京大学出版会	5,148
28	冊子	輪島漆器からみる伝統産業の衰退と発展	晃洋書房	3,465
29	冊子	歩いて読みとく地域デザイン	学芸出版社(京都)	1,980
30	冊子	健康格差の社会学	ミネルヴァ書房	5,940
31	冊子	アートプロジェクトの可能性	九州大学出版会	6,732
32	冊子	協働と参加	晃洋書房	2,772
33	冊子	環境問題の社会学	東信堂	3,564
34	冊子	地方における戦後都市計画	中央公論美術出版	6,732
35	冊子	エネルギー資源と日本外交	芙蓉書房出版	2,772
36	冊子	増税の合意形成	日本評論社	6,435
37	冊子	つながりと選択の環境政治学	晃洋書房	5,643
38	冊子	観光列車の経済学的研究	大阪公立大学共同出版会	2,772
39	冊子	消費者心理学のための統計学	誠信書房	2,772
40	冊子	近代中国財政史	東京大学出版会	6,732

## 令和9年度 内国書

No.	形態	書名	出版社	税込価格
41	冊子	グローバル化とローカル化のせめぎ合い	文眞堂	2,772
42	冊子	日台経済交流と国際法	成文堂	6,732
43	冊子	泉佐野市ふるさと納税訴訟	信山社出版	6,732
44	冊子	会社法の制度と機能	中央経済社(発売:中央経済グループパブ)	2,772
45	冊子	法学概説	弘文堂	2,772
46	冊子	SDGsを考える	ナカニシヤ出版	2,772
47	冊子	地球環境保全論	創元社	2,772
48	冊子	数式なしでわかるデータサイエンス	オーム社	2,376
49	冊子	ファイナンスを読みとく数学	培風館	2,772
50	冊子	地球環境学	古今書院	2,131

金額計 175,000

No.	雑誌名	出版社	刊行頻度	税込価格
1	企業会計	(株)中央経済グループパブリッシング	月刊	35,187
2	月刊事業構想	先端教育機構	月刊	15,600
3	プレジデント	プレジデント社	隔週	12,000
4	経済セミナー	日本評論社	隔月刊	10,368
5	一橋ビジネスレビュー	東洋経済新報社	季刊	9,900
6	経済	新日本出版社	月刊	15,108
7	環境ビジネス	日本ビジネス出版	季刊	18,000
8	経済人	関西経済連合会	月刊	7,285
9	環境管理	産業環境管理協会	月刊	13,200

金額計 136,648

## 令和9年度 外国誌

No.	形態	タイトル	出版社	税込価格 (年間)
1	Print	Review of Economic Studies	Oxford University Press	187,705
2	Print	Journal of Political Economy	The University of Chicago Press	200,068
3	Print	Quarterly Journal of Economics	Oxford University Press	165,227
金額計				553,000

## 令和9年度 データベース

No.	提供形態	データベース名	提供元	税込価格 (年間)
1	Aプラン上限打ち切り型	日経BP記事検索サービス	日経BPマーケティング	660,000
2	同時アクセス1	ジャパナレッジLib.	ネットアドバンス	275,880

金額計 935,880

## 学校法人金城学園管理運営規程

## 第1章 総則

## (目的)

第1条 この規程は、学校法人金城学園（以下「本法人」という。）及び本法人が設置する学校（以下「各学校」という。）の適正な管理運営の遂行を図るために必要な基本的事項について定めることを目的とする。

## (管理運営の根拠)

第2条 本法人及び各学校の管理運営は、法令、寄附行為、規則その他に定めがあるもののほかは、この規程による。

## (諸規程の管理)

第3条 本法人及び各学校の管理運営を適正かつ円滑に遂行するために諸規程を制定・改廃し、常にその管理に努めなければならない。  
2 諸規程の管理に関する事項については別に定める。

## 第2章 組織

## (組織区分)

第4条 本法人の組織は、別表のとおりとする。

## (事務組織)

第5条 前条に定める各組織の事務を遂行するために事務組織を置く。  
2 事務組織に関する事項については別に定める。

## (事務分掌)

第6条 前条に定める事務組織の事務分掌事項については別に定める。

## (プロジェクト)

第7条 本法人管理運営に関し必要があるときは、臨時にプロジェクトを設置することができる。  
2 プロジェクトに関する事項については別に定める。

## 第3章 職員及び職位

## (職員)

第8条 本法人の職員とは、学校法人金城学園の職員としての身分を取得した次に掲げる者をいう。  
(1) 教育職員  
(2) 事務職員

- (3) 技術職員
- (4) 用務職員、学務員
- 2 本法人は、業務及び事務の遂行上必要があるときは、次に掲げる職員を置くことができる。
  - (1) 特任教員、顧問教授、客員教授及び非常勤講師
  - (2) 顧問職員、嘱託職員及び臨時職員

(任用)

第9条 職員の任用に関する事項については別に定める。

(職位)

第10条 本法人及び各学校には、組織区分に従って次に掲げる職位を置く。

- (1) 法人本部
  - 法人本部長、企画室長、事務室長、インスティテューショナル・リサーチ室長
- (2) 大学
  - 学長、学部長、研究科長、部長、図書館長、委員長、センター長
- (3) 短期大学
  - 学長、学科長、部長、図書館長、室長、センター長、委員長、主任
- (4) 大学・短期大学事務局
  - 局長、部長、課長、主任
- (5) 高等学校
  - 1) 校長、教頭、部長、主任
  - 2) 事務室長、部長、課長、主事
- (6) 幼稚園
  - 園長、主任
- 2 本法人及び各学校には、組織区分に従って次に掲げる職位を置くことができる。
  - (1) 法人本部
    - 上席参与、法人本部長代理、部長、参与、次長、課長、課長補佐、参事、主幹、主査、主事
  - (2) 大学
    - 副学長、学長補佐、学長特別補佐、学部長補佐、部長補佐
  - (3) 短期大学
    - 副学長、学長補佐、学科長補佐、部長補佐
  - (4) 大学・短期大学事務局
    - 局次長、局長補佐、室長、副室長、部長代理、課長補佐、参事、主幹、主査、主事
  - (5) 高等学校
    - 1) 参与、副校長
    - 2) 統括事務長、参事、主査
  - (6) 幼稚園
    - 副園長、園長代理、園長補佐、主事

(事務取扱)

第11条 各職位が事故等により不在の場合に、その職務を代理する不在代理を置くことができる。不在代理は、直属次級者のうちからこれを任ずる。

(職務権限)

第12条 各職位の職務権限に関する事項については別に定める。

(服務)

第13条 職員の服務に関する事項については別に定める。

#### 第4章 会議

(法人本部)

第14条 法人本部に、学校法人金城学園経営企画委員会及び学校法人金城学園高等教育機関運営会議を置く。

2 前項に規定する会議に関する事項については、別に定める。

(大学)

第15条 大学に、教授会及び大学運営委員会を置く。

2 大学院に、大学院委員会及び研究科委員会を置く。

3 前2項に規定する会議に関する事項については、別に定める。

(短期大学)

第16条 短期大学に、教授会及び部長・学科長会議を置く。

2 前項に規定する会議に関する事項については、別に定める。

(高等学校)

第17条 高等学校に、職員会議及び企画会議を置く。

(幼稚園)

第18条 幼稚園に、職員会議を置く。

#### 第5章 委員会

(各種委員会)

第19条 本法人及び各学校の管理運営を適正かつ円滑に遂行するために各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する事項については別に定める。

(臨時の委員会)

第20条 各学校の管理運営に関し必要があるときは、臨時に委員会を設置することができる。

- 2 臨時の委員会は、各学校の長が設置する。
- 3 臨時の委員会に関する事項については別に定める。

## 第6章 改廃

(改廃)

第21条 この規程の改廃は、理事会の議に基づき理事長が行う。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年7月30日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

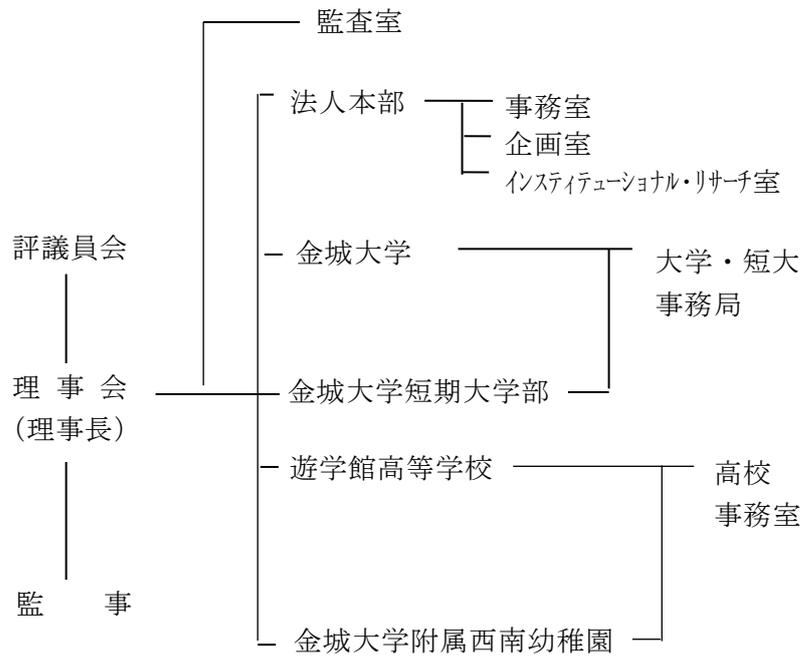
附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

別表



## 金城大学管理運営規程

### (目的)

第1条 この規程は、金城大学（以下「大学」という。）における適正な管理運営の遂行を図るために必要な基本的事項について定めることを目的とする。

### (基本方針)

第2条 大学は、次の各号に掲げる基本方針に基づき、管理運営機能の強化を恒常的に図るものとする。

- (1) 学長の指導性を明確にするとともに、大学における執行機能を統合的に強化すること
- (2) 大学の教育研究・管理運営課題を精査し、課題に対応しうるよう執行組織の再編を機動的に行うこと
- (3) 企画立案機能を分離確立し、主要な大学教育研究・管理運営課題の政策化における執行機能を強化すること
- (4) 教育職員大学行政管理職位と事務職員大学行政管理職位の任務と役割を明らかにし、業務執行上の責任の所在を明確化すること
- (5) 大学管理運営機関の総合調整機能を確立するとともに、管理運営事務の効率的統合化を図ること
- (6) 大学管理運営機関全体に対する政策評価機能を確立すること

### (構成)

第3条 大学における各管理運営機関は、学長の統轄の下に政策の企画立案を行うとともに、各管理運営機関相互間の適格調整を図る中で、その執行機能を遂行しうるよう構成するものとする。

- 2 前項及び前条の基本方針を実現するため、教授会のほかに大学運営委員会を設置する。
- 3 前項の大学運営委員会については、別に定める。
- 4 大学に、学長の職務執行を支援する学長室及び学長室長を置くことができる。学長室長の職務については、別に定める。

### (管理運営機関の設置)

第4条 大学管理運営機関の組織は、部、課及び委員会を基本に編成するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、附属機関として図書館及びセンターを置く。
- 3 第1項の管理運営機関については、別表第1-1、前項の附属機関については、別表第1-2にこれを掲げる。

### (プロジェクト及び臨時委員会の設置)

第5条 大学の管理運営又は教育研究に関し必要があるときは、臨時のプロジェクト又は臨時委員会を設置することができる。

- 2 プロジェクト及び臨時委員会に関する事項については、別に定める。

(所掌事務)

第6条 第4条に規定する事務組織の事務分掌事項については、別に定める。

(体制)

第7条 大学に事務局長を置く。

- 2 前項に加え、部、課及び附属機関には長を置き、管理運営事務を分担管理する。
- 3 前2項の長の任用については、別に定める。
- 4 委員長及び副委員長は、別に定めるもののほか学長が任命する。
- 5 第1項及び第2項の管理運営組織については、別表第2にこれを掲げる。

(任務)

第8条 委員長は、学長の命を受けその機関の政策の企画立案をつかさどり、機関所属教育職員の委員会業務についてこれを監督する。

- 2 附属機関の長は、学長の命を受けその機関の事務を統括し、政策の企画立案をつかさどり、機関所属教育職員の附属機関業務についてこれを監督する。
- 3 委員長及び附属機関の長は、その機関の基本的な政策について、学長に提案し大学運営委員会の承認を得なければならない。
- 4 事務局長は、学長の命を受け大学管理運営機関を統理し、大学行政の執行を統括するとともに大学業務の執行を調整し、事務職員全体の服務についてこれを統督する。
- 5 [削除]
- 6 事務部長は、事務局長の命を受け、その機関の事務を統括し、政策の企画立案をつかさどり、機関所属事務職員の服務についてこれを監督する。
- 7 第4項及び第6項以外の事務職員の職位については、別に定める。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学運営委員会及び教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則  
この規程は、平成27年9月18日から施行する。

附 則  
この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則  
この規程は、令和4年9月26日から施行する。

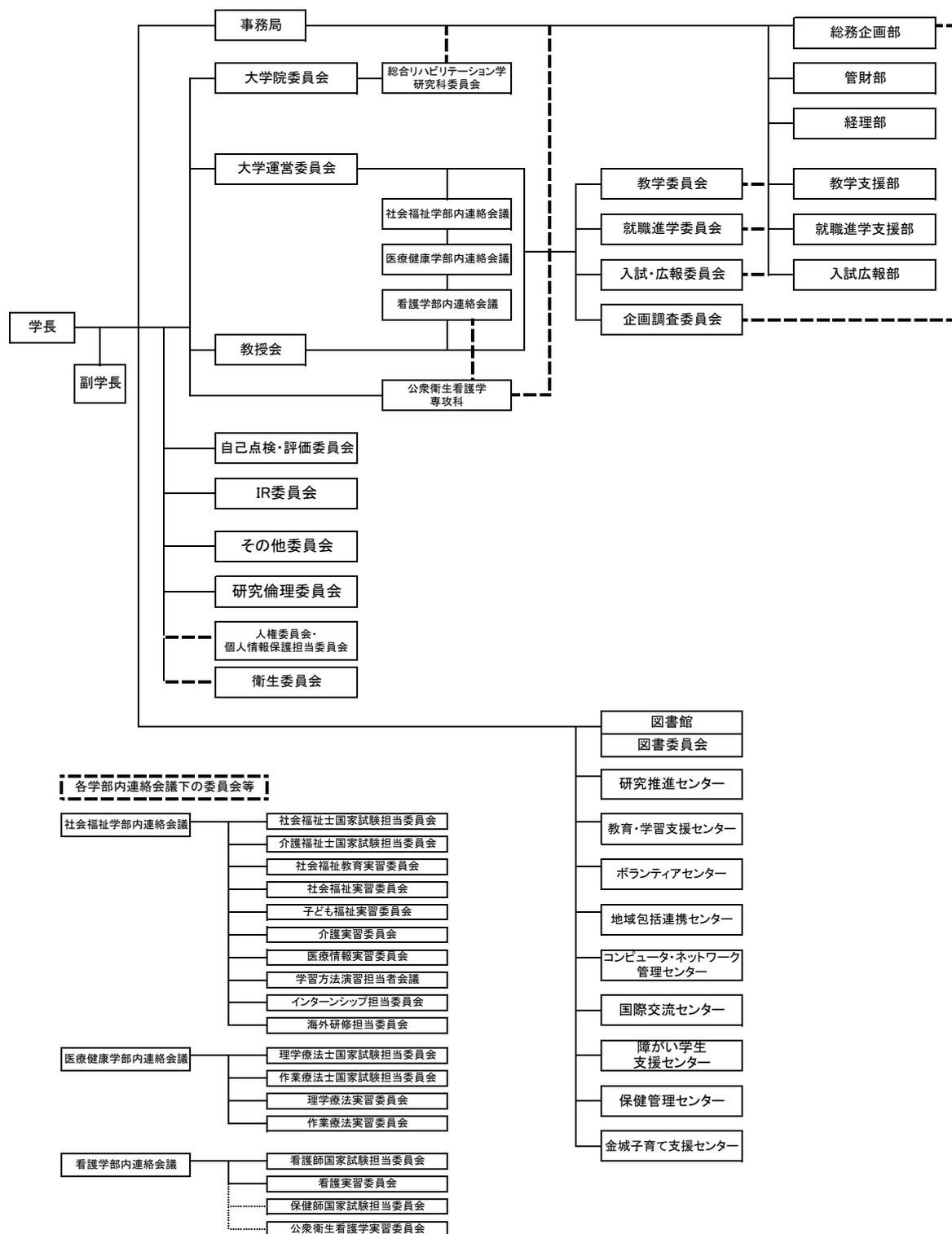
別表第1-1 大学管理運営機関（第4条関係）

機 関	事 務 局	所管委員会
総務企画部	総務企画部	学園高等教育機関運営会議 大学運営委員会 人権委員会・個人情報保護担当委員会 企画調査委員会 自己点検・評価委員会 I R 委員会
教学支援部	教学支援部	教学委員会 社会福祉教育実習委員会 社会福祉実習委員会 介護実習委員会 医療情報実習委員会 子ども福祉学科実習委員会 理学療法実習委員会 作業療法実習委員会 看護実習委員会 公衆衛生看護学実習委員会
経 理 部	経 理 部	
管 財 部	管 財 部	衛生委員会
就職進学支援部	就職進学支援部	就職進学委員会 社会福祉士国家試験担当委員会 介護福祉士国家試験担当委員会 理学療法士国家試験担当委員会 作業療法士国家試験担当委員会 看護師国家試験担当委員会 インターンシップ担当委員会 保健師国家試験担当委員会
入試広報部	入試広報部	入試・広報委員会

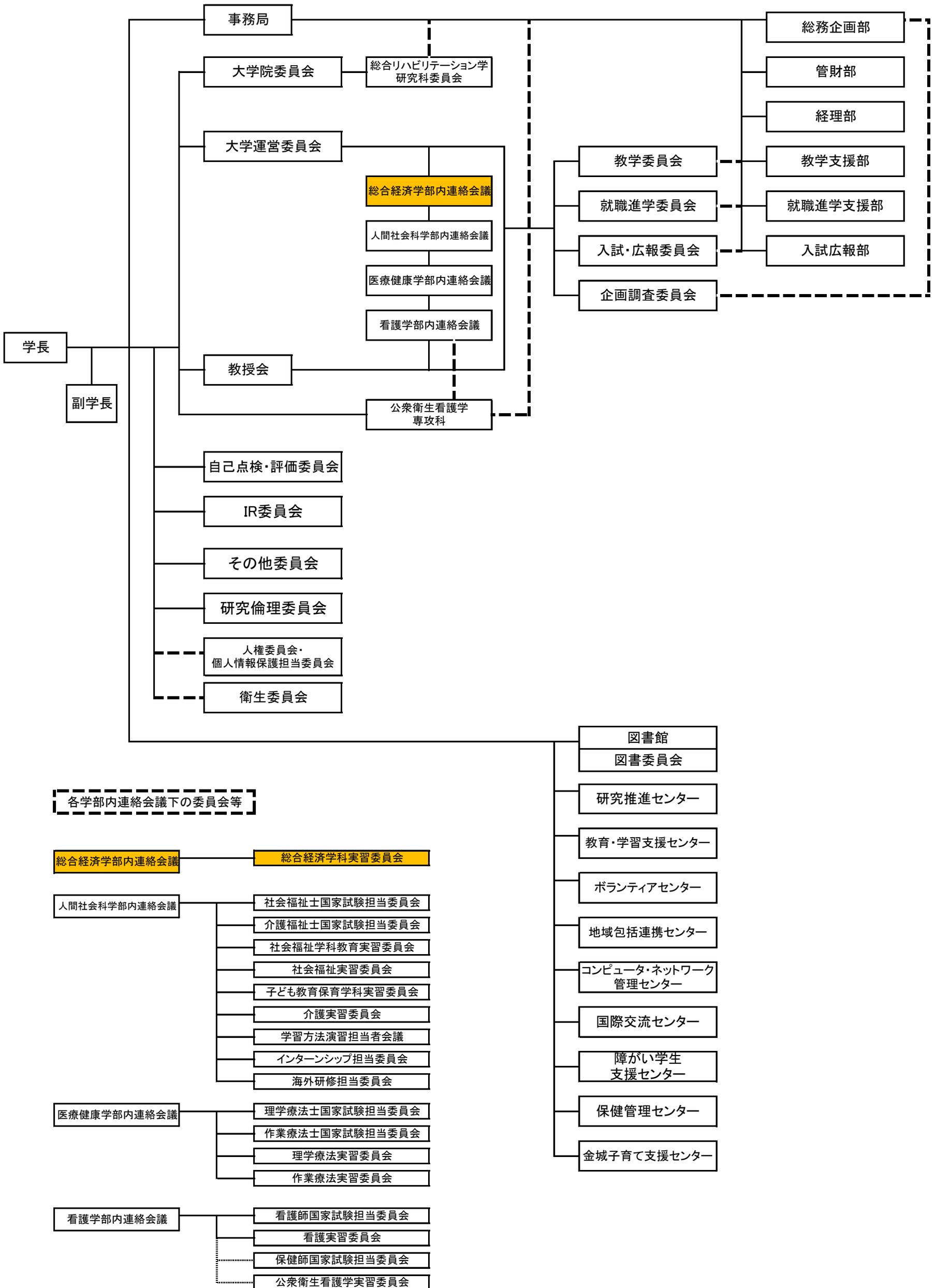
別表第1-2 大学付属機関（第4条関係）

機 関	事 務 局	所管委員会
図 書 館	事 務 課	図書委員会
研究推進センター	総務企画部	センター運営委員会 紀要編集委員会（事務は図書館が行 う。） 研究倫理委員会 動物実験委員会
教育・学習支援センター	教学支援部	センター運営委員会
ボランティアセンター	総務企画部	センター運営委員会
地域包括連携センター	総務企画部	センター運営委員会
コンピュータ・ネットワ ーク管理センター	教学支援部	センター運営委員会
国際交流センター		センター運営委員会
障がい学生支援センター	教学支援部	センター運営委員会
保健管理センター	教学支援部	センター運営委員会
金城子育て支援センター	総務企画部	センター運営委員会

別表第2 大学管理運営組織（第7条関係）



総合経済学部開設後の管理運営組織図



## 金城大学学部内連絡会議規程

## (目的)

第1条 この規程は、金城大学教授会規程第1条第3項に基づき、社会福祉学部内連絡会議、医療健康学部内連絡会議及び看護学部内連絡会議の組織及び運営について定める。

## (役割)

第2条 学部内連絡会議は、次の各号に掲げる教育研究に関する事項について、学部内の連絡調整を図り、必要に応じて協議する。

- (1) 学部の運営に関する事項
  - (2) 学部の教育、研究に関する事項
  - (3) 学部の学生の支援、指導に関する事項
  - (4) その他学部長が教育研究及びそれに係る運営に関し、必要と認めた事項
- 2 学部長又は学部長が指名する者は、全学教授会の審議結果及び報告事項を、学部内連絡会議で報告するものとする。
- 3 学部長は、第1項各号の事項又は学長、大学運営委員会、全学教授会若しくは拡大教授会から諮問された事項を学部内連絡会議で協議し、その結果を大学運営委員会及び全学教授会又は拡大教授会に提案又は報告するものとする。

## (構成)

第3条 学部内連絡会議は、各学部所属の専任教員をもって構成する。

- 2 学長、副学長及び事務局長は、学部内連絡会議に出席し発言することができる。
- 3 学部長は、必要に応じ、学校法人金城学園の専任職員の出席を求めることができる。

## (招集・議長)

第4条 学部内連絡会議は、原則として毎月1回開くものとする。

- 2 学部内連絡会議の議長は学部長がこれに当たる。ただし、必要あるときは、学部長の指名する構成員がこれを代行することができる。
- 3 学部長は、必要と認めるとき、臨時に学部内連絡会議を開くことができる。

## (所管)

第5条 学部内連絡会議の事務は、総務企画部が所管する。

## (改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学運営委員会及び全学教授会の議を経て、学長が行う。

## 附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

## 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

## 金城大学教授会規程

## (趣旨)

第1条 この規程は、金城大学学則（以下「学則」という。）第12条及び学校法人金城学園管理運営規程第15条第3項の規定に基づき、金城大学（以下「本学」という。）の教授会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

- 2 学部別の教授会は設置しないものとする。ただし、各学部に学部内連絡会議を置く。
- 3 前項の学部内連絡会議の組織及び運営については別に定める。

## (設置)

第1条の2 本学に、学校教育法（昭和22年法律第26号）第93条第1項に規定する教授会として、金城大学全学教授会（以下「全学教授会」という。）を置く。

- 2 全学教授会は、教育研究に関する事項について審議する。
- 3 全学教授会のほか、本学に、金城大学拡大教授会（以下「拡大教授会」という。）を置く。
- 4 拡大教授会の組織及び運営については別に定める。

## (代議員会)

第1条の3 学長は、全学教授会の議に基づき、全学教授会の構成員の一部の者をもって構成する代議員会を置くことができる。

- 2 全学教授会は、その定めるところにより、代議員会の決議をもって、全学教授会の決議とすることができる。
- 3 その他代議員会の組織及び運営については別に定める。

## (構成)

第2条 全学教授会は、学長、学部長及び専任の教授をもって構成する。

- 2 理事長、副理事長、法人本部長及び事務局長は、全学教授会に出席し発言することができる。また、学長は必要に応じ、全学教授会の議を経て、学校法人金城学園の専任職員を出席させることができる。
- 3 全学教授会は、必要と認めるとき、学校法人金城学園の専任職員を構成員に加えることができる。

## (招集)

第3条 全学教授会は、学長が招集する。

## (議長)

第4条 全学教授会の議長は学長がこれに当たる。ただし、必要あるときは、学長の指名する構成員がこれを代行することができる。

## (議案)

第5条 全学教授会の議案は、あらかじめ構成員に通知することを原則とする。

(開催)

第6条 全学教授会は、原則として毎月1回開くものとする。

2 学長は、必要と認めるとき、臨時に全学教授会を開くことができる。

3 学長は、構成員の3分の1以上の要請があったときは、速やかに全学教授会を招集しなければならない。

(成立要件)

第7条 全学教授会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

(審議事項)

第8条 全学教授会は、学長が次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり、それらについて審議し、学長に意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に定めるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、全学教授会又は拡大教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 全学教授会は、前項に規定するもののほか、次の各号に掲げる教育研究に関する事項を審議し、学長の求めに応じて意見を述べるものとする。ただし、拡大教授会において審議が終了した事項については、この限りでない。

(1) 学則その他教育研究に関する諸規程の制定及び改廃に関する事項

(2) 学長候補者選考委員会の委員に関する事項

(3) 学生の退学、転学、留学、休学、復学、編入学、再入学及び科目等履修生に関する事項

(4) 授業、研究及び指導に関する事項

(5) 学生の厚生補導に関する事項

(6) 大学行事、学生生活及び学生生活活動に関する事項

(7) 学生の試験及び単位認定に関する事項

(8) その他学長が教育研究及びそれに係る運営に関し、必要と認めた事項

(議決要件)

第9条 議事は、出席者の過半数によって決する。ただし、特に重要と認めた事項に関しては、出席者の3分の2以上の同意を得て決議する。

(議事録の作成・保管)

第10条 全学教授会の議事は議事録に記載され、記載は議長の指示した者がこれを行う。

2 議事録の保管は事務局がこれを行う。会議に欠席した者は、この議事録の閲覧により議事の内容を了知しなければならない。

(所管)

第11条 全学教授会の事務は、総務企画部が行う。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、金城大学運営委員会及び全学教授会の議を経た後、理事会の承認を得て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年6月27日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年6月1日から施行する。

## 金城大学拡大教授会規程

### (趣旨)

- 第1条 この規程は、金城大学教授会規程第1条の2第4項の規定に基づき、金城大学拡大教授会（以下「拡大教授会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。
- 2 拡大教授会は、教育研究に関する事項について審議する。

### (構成)

- 第2条 拡大教授会は、学長、学部長及び専任の教授、准教授、講師をもって構成する。ただし、助教及び助手は講師に準ずるものとする。
- 2 理事長、副理事長、法人本部長及び事務局長は、拡大教授会に出席し発言することができる。また、学長は必要に応じ、拡大教授会の議を経て、学校法人金城学園の専任職員を出席させることができる。
- 3 拡大教授会は、必要と認めるとき、学校法人金城学園の専任職員を構成員に加えることができる。

### (招集)

- 第3条 拡大教授会は、学長が招集する。

### (議長)

- 第4条 拡大教授会の議長は学長がこれにあたる。ただし、必要あるときは、学長の指名する構成員がこれを代行することができる。

### (議案)

- 第5条 拡大教授会の議案は、あらかじめ構成員に通知することを原則とする。

### (開催)

- 第6条 拡大教授会は、年2回以上開くものとし、3月及び9月に定例会を開くものとする。
- 2 学長は、必要と認めるとき、臨時に拡大教授会を開くことができる。
- 3 学長は、構成員の3分の1以上の要請があったときは、速やかに拡大教授会を招集しなければならない。

### (成立要件)

- 第7条 拡大教授会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

### (審議事項)

- 第8条 拡大教授会は、学長が次の各号に掲げる事項について決定を行うに当たり、そ

れらについて審議し、学長に意見を述べるものとする。ただし、全学教授会において審議が終了した事項については、この限りでない。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に定めるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、全学教授会又は拡大教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 拡大教授会は、前項に規定するもののほか、次の各号に掲げる教育研究に関する事項を審議し、学長の求めに応じて意見を述べるものとする。ただし、全学教授会において審議が終了した事項については、この限りでない。

(1) 金城大学学則及び教育研究に関する諸規程の制定及び改廃に関する事項

(2) 学長候補者選考委員会の委員に関する事項

(3) 学生の退学、転学、留学、休学、復学、編入学、再入学及び科目等履修生に関する事項

(4) 授業、研究及び指導に関する事項

(5) 学生の厚生補導に関する事項

(6) 大学行事、学生生活及び学生活動に関する事項

(7) 学生の試験及び単位認定に関する事項

(8) その他学長が教育研究及びそれに係る運営に関し、必要と認めた事項

(議決要件)

第9条 議事は、出席者の過半数によって決する。ただし、特に重要と認めた事項に関しては出席者の3分の2以上の同意を得て決議する。

(議事録の作成・保管)

第10条 拡大教授会の議事は議事録に記載され、記載は議長の指示したものがこれを行う。

2 議事録の保管は事務局がこれを行う。会議に欠席したものは、この議事録の閲覧により議事の内容を了知しなければならない。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学運営委員会及び拡大教授会の議を経た後、理事会の承認を得て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年6月1日から施行する。

## 金城大学代議員会規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、金城大学教授会規程（以下「教授会規程」という。）第1条の3第3項の規定に基づき、金城大学の全学教授会代議員会（以下「代議員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (構成)

第2条 代議員会は、学長、副学長、学部長、学科長、教学支援部長及び学長の推薦に基づき全学教授会から選出された教授3人以内をもって構成する。

- 2 全学教授会から選出された代議員については、任期を1年とし、再任を妨げない。
- 3 理事長、副理事長、法人本部長及び事務局長は、代議員会に出席し発言することができる。また、学長は、代議員会の議を経て、学校法人金城学園の専任職員を出席させることができる。

### (招集)

第3条 代議員会は、学長が必要に応じてこれを招集する。

### (議長)

第4条 代議員会の議長は学長がこれに当たる。ただし、必要があるときは、学長の指名する構成員がこれを代行することができる。

### (成立要件)

第5条 代議員会は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。

### (審議事項)

第6条 代議員会は、教授会規程第8条に規定の審議事項のうち、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 入学に関する事項
  - (2) 卒業延期者の卒業，課程の修了及び学位の授与に関する事項
  - (3) 教授、准教授、講師、助教及び助手の教育研究業績の審査に関する事項
  - (4) その他全学教授会から委任された事項
- 2 代議員会が前項に掲げる審議事項について、全学教授会での審議が必要と認めるときは、全学教授会に回付することができる。

### (議決要件)

第7条 議事は、出席者の過半数によって決する。ただし、特に重要と認めた事項に関しては、出席者の3分の2以上の同意を得て決議する。

(議事録の作成・保管)

第8条 代議員会の議事は議事録に記載され、記載は議長の指示した者がこれを行う。

2 議事録の保管は事務局がこれを行う。会議に欠席した者は、この議事録の閲覧により議事の内容を了知しなければならない。

(所管)

第9条 代議員会の事務は、総務企画部が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、全学教授会の議により行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年9月26日から施行する。

## 金城大学教授会の構成及び運営に関する細則

### (趣旨)

第1条 この細則は、金城大学教授会規程（以下「教授会規程」という。）に定める金城大学全学教授会（以下「全学教授会」という。）及び金城大学拡大教授会規程（以下「拡大教授会規程」という。）に定める金城大学拡大教授会（以下「拡大教授会」という。）の構成及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (構成)

第2条 学長は、全学教授会の学部学科ごとの構成員数について、各学部学科の学生の収容定員数の比率に配慮するよう努めるものとする。

### (議案)

第3条 全学教授会及び拡大教授会（以下「全学教授会等」という。）の議案は、原則として、あらかじめ大学運営委員会で審議するものとする。

### (開催)

第4条 教授会規程第6条第3項及び拡大教授会規程第6条第3項の規定に基づき全学教授会等の開催を要請する場合は、議案を示した書面に3分の1以上の構成員の連署を添えて、学長に提示しなければならない。

### (成立要件)

第5条 全学教授会等は、構成員の3分の2以上の出席をもって成立する。ただし、休職、海外渡航及び3か月以上にわたる長期欠勤中の者は構成員数に算入しない。

### (審議事項)

第6条 教授会規程第8条第1項第3号及び拡大教授会規程第8条第1項第3号の事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 教育課程の編成に関する事項
- (2) 学生の賞罰に関する事項
- (3) 教授、准教授、講師、助教及び助手の教育研究業績の審査に関する事項

### (改廃)

第7条 この細則の改廃は、学長が行う。

### 附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

令和4年度FD・SD研修会実施一覧

No	テーマ
1	成人年齢18歳に関する研修
2	学生募集に向けたSNSの活用について
3	eスポーツと作業療法に関わる研修会
4	障がいのある学生への支援「合理的配慮について」
5	PROGテストの活用や方法
6	高大連携研修会
7	入学時・在学时・卒業時調査報告
8	アサーションの視点から円滑なコミュニケーションを考える
9	情報セキュリティ研修会
10	オンデマンド配信 授業に関するFD研修会
11	シラバス作成 FD研修会
12	情報セキュリティに関するSD研修会
13	嘉悦大学×金城大学×金城大学短期大学部共同FD研修会

令和3年度FD・SD研修会実施一覧

No	テーマ
1	オンライン授業のアイデア
2	Zoomを使ったオンライン授業の可能性
3	卒業時における質保証の取組の強化
4	令和2年度卒業時・令和3年度入学時調査からの報告
5	3大学による中退防止に関するIR的な取り組み
6	学生の希望に沿った授業への取り組み「小テストの工夫」
7	シラバス作成のガイドライン
8	GIGAスクール構想について 石川県内の状況や今後の見通しについて

総合経済学部総合経済学科 就職支援体制

